

令和 8 年度
(公社) 砂防学会研究発表会「三重大会」

ご 案 内



令和 8 年 5 月

(公社) 砂防学会研究発表会
「三重大会」実行委員会

令和8年度（公社）砂防学会 研究発表会「三重大会」

ご案内

目次

I. 日程	1
II. 大会スケジュール	2
III. 会場について	3
IV. お知らせ	8
V. 企画・テーマ別セッション	10
VI. 特別講演	11
VII. 砂防学会賞受賞論文	12
VIII. セッションタイムテーブル	13
IX. 口頭・ポスター発表プログラム	15
X. 現地研修会	38
XI. 企業展示会場および出展リスト	42
XII. 協賛企業・団体	47
XIII. 企業広告（プログラム抄録 協賛企業）	48

I. 日程

1. 開催期間：令和8年5月13日（水）～15日（金）
2. 開催方法：現地開催（国際交流会のみオンライン併用）
3. 会場：
研究発表会：三重県総合文化センター（津市一身田上津部田 1234）
意見交換会：ホテルグリーンパーク津（津市羽所町 700）
4. 開会式・砂防学会賞授与式
会場：文化会館 中ホール
日時：5月13日（水）10時30分
5. 砂防学会賞受賞論文発表会
会場：文化会館 中ホール
日時：5月13日（水）11時30分～12時00分
6. 特別講演 ※一般の方も参加自由
会場：文化会館 中ホール
日時：5月13日（水）13時30分～14時20分
講師：立花 義裕 氏
講演内容：「二季化する日本で激増する『気候災害』」
7. 企画・テーマ別セッション
会場：文化会館 中ホール／男女共同参画センター「フレンテみえ」 多目的ホール／生涯学習センター 大研修室
日時：5月13日（水）14時30分～18時00分
詳しくは「V企画セッション, テーマ別セッション」をご覧ください。
8. 口頭発表
会場：文化会館：1会場、男女共同参画センター：3会場、生涯学習センター：3会場
詳しくは「II 大会スケジュール」「VIIセッションタイムテーブル」
「VIII口頭・ポスター発表プログラム」をご覧ください。
9. ポスター発表
会場：文化会館 小ホール、第1リハーサル室
日時：5月13日（水）10時30分～14日（木）15時30分
コアタイム：13日12時00分～13時30分、14日12時00分～13時30分
詳しくは「II 大会スケジュール」「VII口頭・ポスター発表プログラム」をご覧ください。
10. 現地研修会
（1）大台・伊勢コース（大規模崩壊の治山対策と伊勢神宮周辺の砂防施設）
（2）藤原コース（藤原岳周辺における土石流対策）
（3）越美コース（越美山系における直轄砂防事業）
11. 行政展示・企業展示
会場：文化会館 中ホールホワイエ、第2リハーサル室、エントランスホール
日時：5月13日（水）10時30分～14日（木）15時30分

II. 大会スケジュール

	5月13日(水)			5月14日(木)			5月15日(金)		
8:00									
9:00									
9:30	受付								
10:00	9:30～終日 小ホールホワイエ								
10:30	開会式 学会賞授与	ポスター セッション	企業展示 行政展示 中ホールホワイエと第2リハーサル室 10:30～18:00	第1会場～第7会場 9:30～12:00	ポスター セッション	企業展示 行政展示 中ホールホワイエと第2リハーサル室 9:30～15:30	現地研修会 (1)大台・伊勢コース 8:10～16:40 (2)藤原コース 8:50～17:00 (3)越美コース 8:00～18:00		
11:00	学会賞受賞講演 中ホール 10:30～12:00	小ホールと第1 リハーサル室			小ホールと第1 リハーサル室				
12:00	昼休憩 12:00～13:30	コアタイム (偶数) 小ホールと第1 リハーサル室 12:00～13:30		昼休憩 12:00～13:30	コアタイム (奇数) 小ホールと第1 リハーサル室 12:00～13:30				
13:00				国際交流会議 セミナー室B 12:00～13:30					
13:30	特別講演 中ホール 13:30～14:20								
14:00									
14:30									
15:00									
	口頭発表 企画セッション テーマ別セッション	ポスター セッション			ポスター セッション				
16:00	第1会場～第7会場 14:30～18:00	小ホールと第1 リハーサル室		第1会場～第7会場 13:30～16:15	小ホールと第1 リハーサル室				
17:00									
			閉会式 中ホール 16:30～17:00						
18:00									
19:00	意見交換会 ホテルグリーンパーク津 6F 19:00～21:00								

III. 会場について

会場は、三重県総合文化センター（津市一身田上津部田 1234）です。三重県総合文化センターは、文化会館、生涯学習センター、男女共同参画センターの3つの施設からなります。各施設のホールやセミナー室、研修室などを会場にしています（表 1、図 1）。

三重県総合文化センターには、大会会場で使用する施設以外にも多くの施設があります。会場以外の施設の利用は禁止です。図書館等もあり、他の利用者への配慮をお願いします。

また、中ホール、小ホール、多目的ホールでは、ホワイエ以外は飲食禁止です。

国際交流会議は、ランチタイムミーティング形式で行います。

表 1 大会会場一覧

大会会場	施設	部屋	階
受付	文化会館	小ホールエントランス	B1F
第1会場	文化会館	中ホール	1F
第2会場	男女共同参画センター	多目的ホール	1F
第3会場	男女共同参画センター	セミナー室A	2F
第4会場	男女共同参画センター	セミナー室C	3F
第5会場	生涯学習センター	視聴覚室	2F
第6会場	生涯学習センター	大研修室	4F
第7会場	生涯学習センター	中研修室	4F
ポスター会場	文化会館	小ホール	B1F
	文化会館	第1リハーサル室	B1F
企業展示	文化会館	中ホール	1F
	文化会館	第2リハーサル室	B1F
行政展示	文化会館	エントランスフロア	B1F
国際交流会議	男女共同参画センター	セミナー室B	2F
休憩室	生涯学習センター	4F小研修室1	4F
	文化会館	第2リハーサル室	B1F

三重県総合文化センター

(文化会館、生涯学習センター、男女共同参画センター)

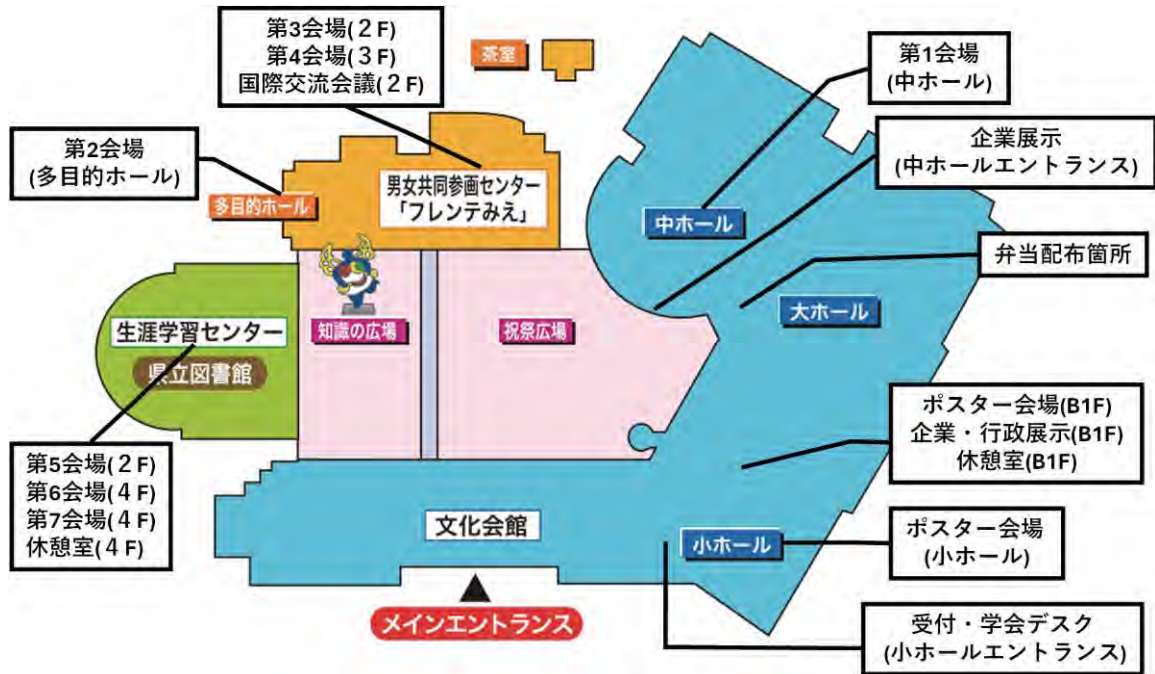


図 1 会場位置図 (三重県総合文化センターHP 資料に一部加筆)



図 2 会場詳細図 (三重県総合文化センターHP より)



喫煙場所案内

※1階文化情報コーナーテラスの灰皿を撤去いたしました。

A	B1階	ホール楽屋口	※状況に応じて撤去あり
B	1階	大ホール テラス	※大ホール利用者専用
C	1階	レスタウン テラス	※レスタウン利用者専用
D	2階	生涯学習センター 西側回廊 (生涯フレテ間)	
E	2階	生涯学習センター 東側回廊 (文化生涯間)	
F	2階	文化会館 祝祭広場回廊 (大ホール側)	

1階



B1階



2階



図3 喫煙所案内図 (三重県総合文化センターHPより)

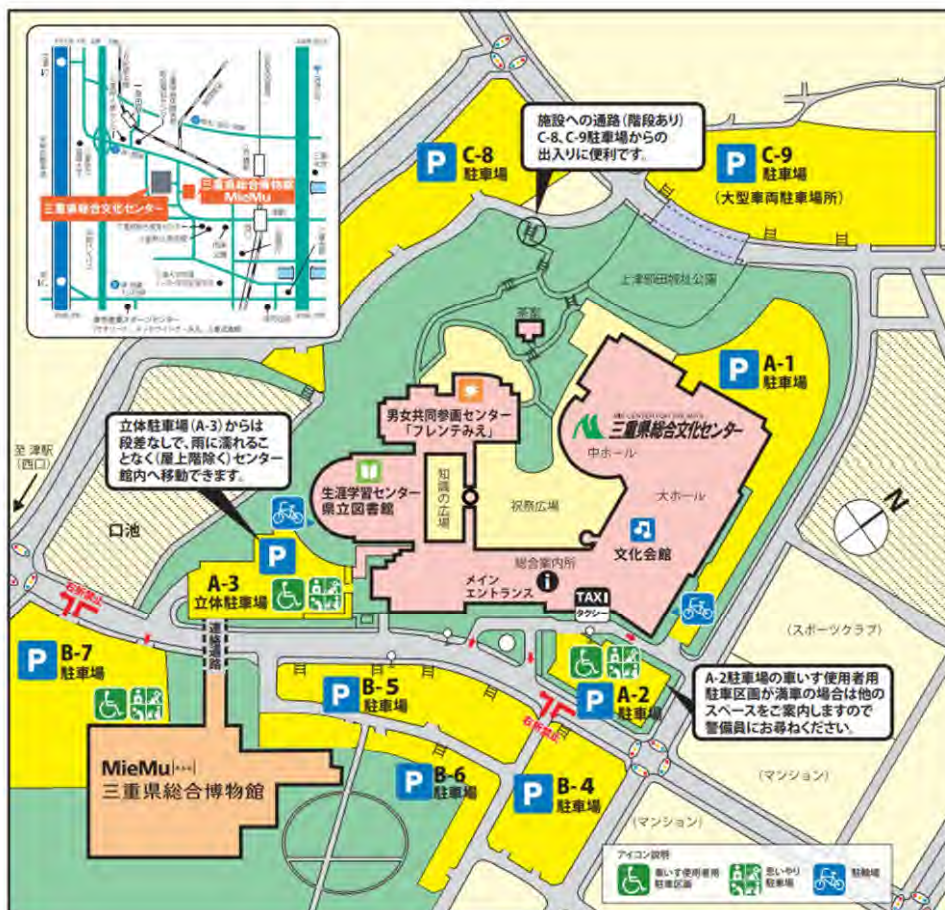


図4 駐車場案内図 (三重県総合文化センターHPより)

意見交換会場 ホテルグリーンパーク津 6階

開催日時：5月13日（水）19時～（受付開始 18時15分から）

フロア全体を借りており、メイン会場の反対側にもサブ会場があります。

注意事項：ネームホルダを身に付けて入場願います。

〔会場へのルート〕

JRおよび近鉄津駅より徒歩2分です。駅の東側にあります。



地図のQRコード：[ホテルグリーンパーク津 HP](#)より

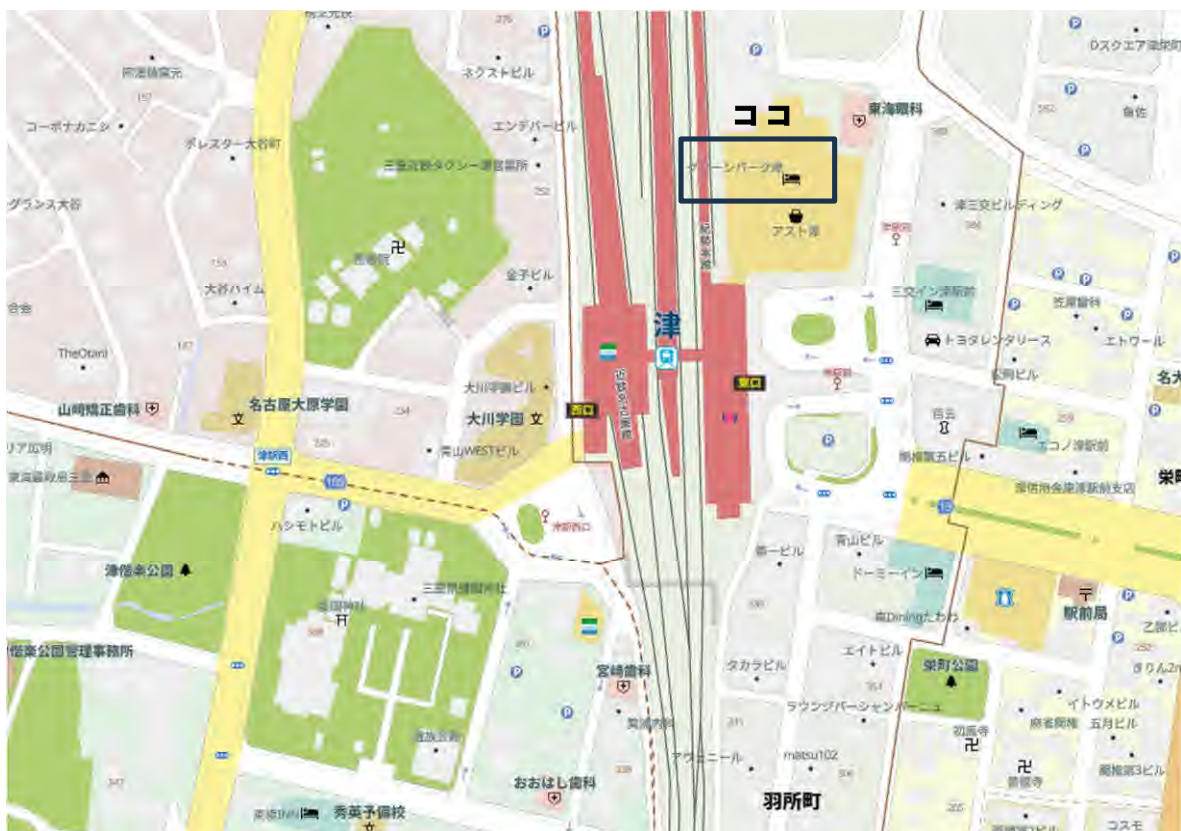


図5 意見交換会の会場の案内図

([地図マピオン](#)に一部加筆)

IV. お知らせ

1. 発表者の方

<口頭発表>

発表時間は12分、質疑は2分30秒です。発表開始10分後に予鈴、12分後に終鈴、14分30秒後に交代のベルを鳴らします。発表は、ご自身のPCをご使用ください。プロジェクタはHDMI端子のみ準備しています。開始時刻前に接続を確認して下さい。

※PCとHDMIケーブルの抜き差しは座長及び会場係の指示に従って行ってください。

※インターネットをご使用される場合は「2.インターネットの利用について」をご確認ください。

<ポスター発表>

パネルのサイズ W90cm×H210cm

ポスターのサイズ A0 (W84.1cm×H118.9cm) まで掲示可能 (A0ノビは不可)

掲示場所：文化会館 小ホールおよび第1リハーサル室

掲示期間：5月13日(水) 10:30～5月14日(木) 15:30

※すべてのポスターは5月13日(水) 10:30までに掲示くださいますようお願いいたします。

※ポスター発表者はご自身の発表番号が付けられた所定のパネルに掲示してください。

※貼付けには、画鋏などを各自で準備して実施してください。

コアタイム：5月13日(水) 12:00～13:30 (発表番号が偶数の方)

5月14日(木) 12:00～13:30 (発表番号が奇数の方)

※上記時間帯は自身のポスター前に待機いただき質疑応答をお願いします。

撤去：5月14日(木) 15:30～16:00

※ポスターの撤去は上記の時間内で各自の責任で行ってください。

※パネルの撤去作業に支障が出る場合は、主催者側で処分します。

2. インターネットの利用について

無線Wi-Fiによるインターネット接続サービスが利用できるようになっています。施設管理者からは、接続者数によっては通信速度が低下する可能性があることを注意喚起されています。

可能な限り携帯電話のテザリングをご利用願います。



3. 学会デスクの設置

小ホール入口手前に学会デスクを設置します。研究発表会及び意見交換会への当日参加について、学会デスクで対応します。マスク関係者からの問い合わせ、落とし物問い合わせ、拾得物の持ち込みなど学会デスクまでお願いします。

4. 意見交換会

意見交換会はホテルグリーンパーク津6階（会場図参照）で5月13日（水）19時から開催します。当日受付も行います。「3. 学会デスク」でお申込みいただくか、会場前の受付にお越してください。会場前の受付開始は18時15分です。

当日参加申し込みの場合の参加費は、正会員9,500円、非会員12,000円、学生会員2,000円です。釣銭の要らないようにお願いします。

5. 技術者継続教育（参加者へのCPD受講証明書配布方法）

特別講演・口頭発表・ポスター発表・現地研修会がCPD対象プログラムとなります。

受講証明書は、各会場で聴講した方にパスワードをお知らせし、大会HPから各自ダウンロードしていただきます。現地研修会に参加された方は、現地研修会終了時に配布します。詳細は大会HPでご案内いたします。

6. 会期中の呼び出し

館内放送による呼び出しは致しません。ご連絡等は各自で対応願います。また、受付に届いた落とし物は学会デスク横の掲示板で周知するとともに、砂防学会HPにてお知らせします。

7. 物販（書籍の販売）

参加者受付付近で書籍の販売をしています。この機会にぜひ手に取ってご覧ください。

「砂防の観測の現場を訪ねて（1～4巻）」（公益社団法人砂防学会）

特別講演の立花先生の書籍も中ホールのホワイエにて販売します（5/13）。

8. 昼食等について

（1）お弁当の配布場所

中ホールと大ホールの間にあるホワイエにて配布します。

弁当の有無が示されている参加証を提示してください。

（2）昼食可能な場所

中ホール、小ホール、多目的ホール以外で可能です。

上記3ホールは、飲食は常時不可です（ペットボトルを含む）。

（3）キッチンカーによる食事の販売を祝祭広場にて行います。

（4）文化会館内にあるレストラン「RIZ CAFE」は休業中ですが、5/14 11:30～13:30の臨時営業にてテイクアウト（弁当・菓子）販売がございます。

V. 企画・テーマ別セッション

企画セッション「火山活動に伴う土砂災害対策の現状と課題」

(第1会場：中ホール 5月13日(水) 14:30-18:00)

コーディネーター：堀田 紀文 氏(東京大学)

近年、火山防災協議会の設置とハザードマップの整備が進んだことで、一定の水準で火山防災の態勢が整ったと言えます。ただし、それぞれの活火山では、噴火様式とその後が生じる土砂移動現象に差異があり、火山周辺の状況も多様です。すなわち、一律の対策が適用できるわけではなく、対策の効果向上のために今後必要になってくる方策も火山によって異なる、という難しさが浮き彫りになってきました。本セッションでは、そのような見地から、火山活動に伴う土砂災害対策の現状と課題を整理したうえで、求められる技術・研究開発について議論します。

テーマ別セッション(1) 複合災害に対する減災対策

(第2会場：多目的ホール 5月13日(水) 14:30-16:15)

コーディネーター：堤 大三 氏(信州大学)

令和6年能登半島豪雨や、平成28年熊本地震とその後の豪雨による土砂災害など、豪雨や地震によって山地で多数の崩壊が発生し、流域の土砂移動が活発化した場合、流域内の不安定な土砂に加えて流木が大量に流出し、次期降雨イベントが甚大な災害へ発展する事例は少なくありません。こうした複合災害における土砂移動現象の特徴を踏まえ、調査・観測や応急・復旧対応のあり方を整理するとともに、被害の防止・軽減を図るための減災対策の考え方について議論します。

テーマ別セッション(2) 砂防分野における3次元データの活用と課題

(第6会場：大研修室 5月13日(水) 14:30-18:00)

コーディネーター：坂井 佑介 氏(土木研究所)

航空レーザやUAV、3Dハンディスキャナーの普及により、容易に3次元データが取得可能になっています。また近年、AIを活用したデータ解析技術の進展もみられます。一方で、人口減少や技術者不足が進む中、砂防に関する調査・設計・施工・維持管理等を持続的に行うためには、これらを活用した砂防分野の効率化や、活用のための技術のさらなる進展が必要です。本セッションでは、DX技術の活用の現状と、これらの技術を発展させ、砂防分野に幅広く浸透させるための課題について共有します。

VI. 特別講演

日 時 令和8年5月13日（水） 13時30分から14時20分まで

会 場 第1会場：文化会館 中ホール

演 者 立花 義裕 氏

プロフィール

三重大学大学院生物資源学研究所 地球環境学講座 気象・気候ダイナミクス研究室 教授。博士（理学）。1961年北海道生まれ。北海道大学低温科学研究所、ワシントン大学、海洋研究開発機構等を経て現職。日本気象学会理事、日本雪氷学会理事。専門は気象学、異常気象、気候力学。小学生のとき雪の少ない地域や豪雪地帯への引っ越しを経験し気象に興味を持つ。わかりやすい解説で「羽鳥慎一モーニングショー」、「報道ステーション」、「タモリステーション」、「ミヤネ屋」、「チコちゃんに叱られる」などニュース番組やバラエティーなど多数出演し、異常気象や気候危機の情報を精力的に発信。2025年の新語・流行語大賞で「二季」がトップテン受賞。2024年東海テレビ文化賞受賞。一般向けの著書「異常気象の未来予測」（ポプラ新書2025年）発行。

演 題 二季化する日本で激増する『気候災害』

講演概要

いち早く「二季」化を指摘し、2025年の新語・流行語大賞トップ10に選出され、表彰式に招かれた立花教授。日本の四季が失われ始め、夏と冬だけになるという見方「二季」が、昨年の新語・流行語大賞を受賞しました。この言葉を発し、テレビ番組での解説でお馴染みの立花教授が、異常気象がなぜ増えるのかについて、近著「異常気象の未来予測」（ポプラ新書2025年）のツボを深掘りしながら解説します。

地球温暖化に伴う災害のことを「気候災害」と呼びます。実は日本は世界有数の「スペシャル異常気象」地帯。気候災害は「沈みゆく熱帯の島の他人ごと」ではなく「日本のわがごと」。二季が流行語として認知された今こそ認識の転換点です。四季が美しい日本を取り戻し気候災害のない日本に戻すために、産学官で心がけることについても語ります。

* 講演内容となる著書について会場中ホールホワイエにて販売あり。



VII. 砂防学会賞受賞論文

論文賞

受賞者：後根裕樹・海原荘一・中谷洋明・木下篤彦・北本 楽・小杉 恵・鈴木素之

対象論文：後根裕樹・海原荘一・中谷洋明・木下篤彦・北本 楽・小杉 恵・鈴木素之

(2025)：大規模地震がその後の降雨による土砂災害発生に及ぼす影響，
砂防学会誌, Vol.77, No.6, p.22-33

論文奨励賞

受賞者：岩井智哉

対象論文：岩井智哉・宮田秀介・山野井一輝・藤田正治（2024）：溪床堆積物が土石流

化する場の条件に関する感度分析－改良版 SiMHIS の神通川水系ヒル谷への
適用－, Vol.77, No.1, p.17-24

技術賞

受賞者：坂井紀之・内田良始・宗近夏美・川本一樹・北野亮輔・引地 慶・海原荘一・

只熊典子・古江智博・小杉 恵

対象業績：坂井紀之・内田良始・宗近夏美・川本一樹・北野亮輔・引地 慶・海原荘一・

只熊典子・古江智博・小杉 恵（2024）：予測雨量のダウンスケーリングとタ
ンクモデルによる天然ダムの水位予測精度の向上, Vo.76, No.5, p.15-24

技術賞

受賞者：江口友章・梅村裕也・井之本信・岡本 敦・新井瑞穂・内田 太郎・大山 誠

対象業績：江口友章・梅村裕也・井之本信・岡本 敦・新井瑞穂・内田 太郎・大山 誠

(2025)：広島県で発生した同時多発型土石流における生産・侵食土砂量
と降雨量・地形量の関係分析, Vo.77, No.5, p.18-25

VIII. セッションタイムテーブル

5月13日（水）

	文化会館		男女共同参画センター「フレンテみえ」			生涯学習センター		
	ポスター会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場
	小ホール	中ホール	多目的ホール	セミナー室A	セミナー室C	視聴覚室	大研修室	中研修室
9	9:30～ 受付							
10								
11	ポスターセッション	10:30 開会式 学会賞講演						
12	コアタイム (偶数) 昼休憩							
13								
14	13:30 特別講演							
15	ポスターセッション	企画 「火山活動に伴う土砂災害対策の現状と課題」	テーマ別(1) 「複合災害に対する減災対策」	流砂及び土石流(1)	流砂及び土石流(2)	構造物(1)	テーマ別(2) 「砂防分野における3次元データの活用と課題」	
16		休憩	休憩	休憩	休憩		休憩	休憩
17		企画 「火山活動に伴う土砂災害対策の現状と課題」	土砂流出・流木(1)	斜面崩壊・水文(1)	生態系の保全及び創出	構造物(2)	テーマ別(2) 「砂防分野における3次元データの活用と課題」	
18	19:00～ 意見交換会 (ホテルグリーンパーク津 6階)							

5月14日(木)

	文化会館		男女共同参画センター「フレンテみえ」			生涯学習センター		
	ポスター会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場
	小ホール	中ホール	多目的ホール	セミナー室A	セミナー室C	視聴覚室	大研修室	中研修室
9								
10	ポスターセッション	流砂及び土石流(3)	構造物(3)	地すべり	警戒・避難(1)	土砂流出・流木(2)	管理・計測(1)	火山砂防(1)
		休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
11		流砂及び土石流(4)	構造物(4)	斜面崩壊・水文(2)	警戒・避難(2)	土砂流出・流木(3)	管理・計測(2)	火山砂防(2)
12	コアタイム(奇数)	昼休憩						
13								
14	ポスターセッション	流砂及び土石流(5)	構造物(5)	斜面崩壊・水文(3)	警戒・避難(3)	土砂流出・流木(4)	管理・計測(3)	火山砂防(3)
		休憩	休憩	休憩	休憩	休憩		
15		流砂及び土石流(6)	構造物(6)	斜面崩壊・水文(4)	警戒・避難(4)	土砂流出・流木(5)		
16	休憩							
17		16:30 閉会式						

IX. 口頭・ポスター発表プログラム

企画セッション 第1会場（中ホール）

「火山活動に伴う土砂災害対策の現状と課題」

5月13日（水）14:30-18:00 コーディネーター：堀田 紀文（東京大学）

論文番号	タイトル	著者名	ページ
S1-1	火山活動に伴う現象	○吉本充宏	1
S1-2	火山活動や地域性の違いを踏まえた火山砂防計画と対策の現状	○厚井高志, 藤沢康弘	3
S1-3	降灰観測の気象依存性が火山砂防対策に与える影響	○小尾 亮, 鴨志田毅, 片嶋啓介, 家田泰弘, 内柴良和, 河野 元, 伊藤 巧, 矢作和樹, 山里 平	5
S1-4	降灰予報を用いた噴火初期における降灰堆積厚の推定手法の提案	○梅谷 涼太, 伊藤 誠記	7
S1-5	無人降灰厚計測デバイスの試験運用と今後の課題—2026年6月新燃岳噴火における検証事例—	○金井啓通, 皆川 淳, 三浦元気, 島田 徹, 羽田靖史, 永谷圭司, 厚井高志	9
S1-6	鉛直1次元透水試験による湿潤なシルト質細砂層下の層状空隙空間が透水係数へ与える影響：草本層や落葉層上の降灰を想定して	○清水武志, 梅谷涼太, 伊藤誠記	11
S1-7	溶岩流の特徴とその対策	○藤田英輔	13
S1-8	火砕流の発生・流動・堆積・停止に対する観測・実験的事実および数値モデルのレビュー：モデル予測結果の信頼性はいかに担保されるべきか？	○志水宏行	15
S1-9	融雪型火山泥流発生機構への熱水関与についての実験的検討	○山岸希々実, 堤 大三, 福山泰治郎, 高山翔揮	17
S1-10	数値計算による融雪型火山泥流の災害シナリオ検討	○酒井佑一, 志水宏行, 堀田紀文	19
S1-11	UAV 搭載スペクトルカメラによる火山地域の地表面センシング	○小野秀史, 藤原康正	21

テーマ別セッション1 第2会場（多目的ホール）

「複合災害に対する減災対策」

5月13日（水）14:30-16:15 コーディネーター：堤 大三（信州大学）

論文番号	タイトル	著者名	ページ
T1-1	能登半島地震・豪雨による斜面崩壊の発生場の特性について	○権田 豊, 堤 大三, 堀田紀文, ゴメス クリストファー, 堀大一郎, 對馬美紗, 星野慎司, 小更 亨, 宮田直樹, 屋木わか	23
T1-2	令和6年奥能登地方における地震と豪雨が斜面崩壊の発生場所に及ぼした影響の評価	○河合建祐, 堤 大三, 福山泰治郎	25
T1-3	警戒避難を支援する統合型土砂災害監視システムの開発—輪島市市ノ瀬町での事例—	○田中康博, 梅田ハルミ, 本田正和, 能見忠歳, 鈴木 健, 村田康一	27
T1-4	鈴鹿山脈の藤原岳における地震後の土石流の豪雨要因に関する一考察	○須田明弘, 牧野裕至, 須田明弘, 松井潤一, 松井潤一, 高田 望, 因幡直希, 内田太郎	29
T1-5	地震後に発生する降雨を誘因とした複合災害シナリオ下での大規模土砂災害に備えた学習型防災訓練の効果と設計に関する留意点について	○向井友亮, 佐光洋一	31
T1-6	SAR 衛星画像を用いた深層学習による土砂移動域の自動検出と密度分布評価	○平川泰之, 山下久美子, 日高直哉, 元村和史, 山本 督, 堤 大地	33
T1-7	柳川流域における土砂・洪水氾濫対策としての砂防施設配置計画の検討	○高橋 憧, 橋本幸久, 関口定男, 徳間達也, 高橋麻里	35

テーマ別セッション2 第6会場（大研修室）

「砂防分野における3次元データの活用と課題」

5月13日（水）14:30-18:00 コーディネーター：坂井 佑介（土木研究所）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
T2-1	三次元点群データを用いた土石流の流量推定	○金澤 瑛, 清水武志, 梅谷涼太, 伊藤誠記	37
T2-2	高性能レーザ計測機器を搭載した UAV による砂防事業 DX の可能性その2 施設点検等における超高密度点群の活用	○吉川卓郎, 堀大一郎, 玉川絢登, 横山暢広, 舟生健太郎, 瀬口栄作, 武山泰之, 角ヶ谷秀幸, 村上康司, 佐久間嶺央, 阪上雅之	39
T2-3	LiDAR センサー搭載ドローンを用いた現地調査の高度化	○須永颯太, 菅原圭吾, 森 克味, 木村啓祐, 加賀 清, 柴崎 誠, 山口雄大	41
T2-4	空間 ID と AI を活用した3次元管内図による点検業務効率化	○戸田光洋, 宮本 翔, 最上谷真仁, 山本享弘	43
T2-5	大規模災害発生に備えた3次元モデル内製化の試みと品質確保の検討	○玉川絢登, 島田 徹, 林 大貴, 土屋 奏, 大和田彬, 横山暢広, 大見明弘, 太田克久	45
T2-6	衛星通信を活用した長距離遠隔操縦 UAV による広域レーザ計測の取組—亜熱帯密林流域における微地形・砂防施設の可視化—	○阪上雅之, 岡野雅樹, 伊藤菜太, 藤野 剛, 瀬口栄作, 矢嶋 準, 横山洋祐	47
T2-7	オン/オフグリッド型ドローンポートシステムの連携における電力収支評価と広域河床変動把握に資する実験的検討	○倉上 健, 古木宏和, 中村佳晴, 皆川正昭, 前田卓余, 田村正義, 高木 優	49
T2-8	大規模災害直後の崩壊地・湛水池における UAV-LP と UAV-SfM の適用性の比較	○水野裕斗, 早川智也, 林 聖也, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙	51
T2-9	回転翼航空レーザ計測による高密度点群データを用いた浦川大規模崩壊地の地形変化解析	○深澤 浩, 亀江幸二, 今井一之, 木場隆生, 新名将士, 妻藤希実子, 磯谷和也	53
T2-10	ヒル谷試験堰堤からの排砂に伴う小規模河床変動把握に向けた UAV-SfM の現地実験	○高木 優, 倉上 健, 古木宏和, 保谷智之, 渡部春樹, 長山孝彦, 伊藤隆郭, 池田暁彦, 高山翔揮, 宮田秀介, 藤田正治	55
T2-11	UAV 高密度点群データを用いた広葉樹林のデジタルツインモデルの構築事例 —斜面崩壊予測への活用をめざして—	○初見 慧, 笠原拓造, 小泉和也, 西方大翔, 鳥居宣之, 玉利正人	57
T2-12	LiDAR 搭載 VTOL 固定翼 UAV による長距離飛行 3D 計測の有効性評価と砂防分野での DX 活用	○村上泰啓, 寺林 修, 藤原 卓, 森田直樹, 小宮光裕, 熊倉 清, 宮川 潔, 早川智也, 山田 孝, 厚井 高志	59

* 表右のページは WEB 公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

■ 口頭発表 第1会場（文化会館・中ホール）

流砂及び土石流(3)

5月14日（木）9:30-10:30 座長：鈴木拓郎（森林総合研究所）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R1-1	長期流砂観測が継続される魚野川流域における簡易的な流砂観測の試み	○笠原菜月，窪寺洋介，伊藤隆郭，古谷智彦，藤田正治，宮田秀介，山野井一輝，鷺尾洋一，小野正博，辰 裕矢，吉崎 壮	61
R1-2	4D-LiDAR 観測に基づく土砂濃度・土砂流出量の推定	○金子竜己，今泉文寿，Raffaele Spielmann，Dahal Samikshya，高山翔揮	63
R1-3	Documentation and Geospatial Characterization of the June 28, 2024 Debris Flow in the Abshyr-Say	○Murzabek Ysmanov，Uchida Taro	65
R1-4	透明粒子を用いた土砂流動構造の可視化	○松田達也，内藤直人，安部 萌，濱野真伍	67

流砂及び土石流(4)

5月14日（木）10:45-12:00 座長：伊藤隆郭（日本工営株式会社）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R1-5	UAV photogrammetry and deep learning-based grain size distribution analysis in a debris flow channel	○Samikshya Dahal，Fumitoshi Imaizumi，Tomoya Osada，Saleh Yousefi	69
R1-6	勾配急減点における土石流の堆積メカニズムの実験的検討	○岩田晋之介，酒井佑一，堀田紀文	71
R1-7	固液相間の相対運動を考慮した土石流の侵食速度式の検討	○足立一雲，堀田紀文，酒井佑一	73
R1-8	MPS-DF 法における摩擦力方向モデルの改良による高濃度土石流の流動性評価	○鈴木拓郎，経隆悠	75
R1-9	基礎調査で想定される土石流の規模と土石流災害における流出土砂量の関係に関する分析	○丹羽諭，高橋洋介，ウィンティリマウン，寺田秀樹，赤澤史顕，小林正直，鈴木啓介，瀧口茂隆	77

流砂及び土石流(5)

5月14日（木）13:30-14:30 座長：丹羽諭（国土防災技術株式会社）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R1-10	山地渓流での河床変動を扱う際の実用モデルと試行例（3）－細粒成分土砂の取り扱い－	○伊藤隆郭，長山孝彦，渡部春樹，山崎祐介，藤田正治	79
R1-11	本川からの影響を考慮した支川合流の浅水流モデルによる1次元水面形計算に関する検討	○嶋 大尚，青木尊之，藤田正治，Marlon Arce Acuna	81
R1-12	常願寺川における長期間の流砂・水文観測の活用方法と課題	○寺本圭吾，長山孝彦，古谷智彦，松田 悟，伊藤隆郭，藤田正治，小竹利明，村元陽介	83
R1-13	2) 常願寺川中流域における直接・全流砂計測の試行	○長山孝彦，寺本圭吾，古谷智彦，松田 悟，伊藤隆郭，藤田正治，小竹利明，村元陽介	85

流砂及び土石流(6)

5月14日（木）15:00-15:45 座長：長山孝彦（日本工営株式会社）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R1-14	定常等流条件下の土石流・土砂流モデルにおけるフェーズシフト効果の解析的評価	○三崎太一，志水宏行，吉田真也	87
R1-15	大規模崩壊地における土砂量算出のための簡易的 UAV 計測の試み	○橋本憲二，大浦二郎，松若昭雄，小林幸博，森 隆彰，朝原康貴，伊藤隆郭，藤田正治，堤 大三，内田太郎，宮田秀介	89
R1-16	固定横棧式シャッター砂防堰堤の効果的な土砂調節のための横棧配置に関する水理模型実験	○渡部春樹，林 真一郎，小口貴雄，梶本陽介，石島正暉，長山孝彦，松田悟，橋本憲二，伊藤隆郭，藤田正治，堤 大三	91

* 表右のページは WEB 公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

■ 口頭発表 第2会場（男女共同参画センター「フレンテみえ」・多目的ホール）

土砂流出・流木(1)

5月13日（水）16:30-17:45 座長：権田豊（新潟大学）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R2-1	常願寺川流域における単位河道モデルを用いた平時・異常時の土砂流出と下流へのインパクト評価の試行 その3	○山崎祐介, 藤田正治, 堤 大三, 久加朋子, 山野井一輝, 池田暁彦, 長山孝彦, 伊藤隆郭	93
R2-2	関東大震災による山地崩壊の酒匂川中下流への影響	○西本晴男	95
R2-3	築山を用いた野外実験に基づく地表面侵食過程の解析	○普神紗良, 小杉賢一朗	97
R2-4	Canopy Elevation Controls Soil Erosion under Natural and Simulated Rainfall: Field and Rainfall Simu	○HAQDAD Khwaja Mir Tamim, Yoshifumi SATOFUKA, Masamitsu FUJIMOTO, Masahiro MURATA	99
R2-5	紀伊山地における数値シミュレーションを用いた天然ダム決壊に伴う被災範囲評価方法の検討	○河恩勁, 丹羽 諭, 横山修, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙, 内田太郎, 里深好文	101

構造物(3)

5月14日（木）9:30-10:30 座長：高山翔揮（京都大学）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R2-6	衝撃荷重を受ける鋼管継手の損傷に関する解析的研究	○別府万寿博, 國領ひろし, チンミンチエン	103
R2-7	材質の異なる鋼管部材の耐荷性能に関する解析的検討	○國領ひろし, 笠原 啓, 石垣拓也	105
R2-8	剛・柔構造の境界条件に着目した土石流対策構造物の設計荷重の考え方	○堀口俊行, 井上隆太	107
R2-9	落石防護工への落石衝突によって生じる衝撃力特性に関する数値解析的検討	○岸 徳光, 小室雅人, 瓦井智貴, 鈴木利治, 奥田 峻, 木村佳嗣	109

構造物(4)

5月14日（木）10:45-12:00 座長：堀口俊行（防衛大学校）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R2-10	堰堤に直付けした流木捕捉工の流木捕捉機能に関する実験的検討	○石垣拓也, 國領ひろし, 笠原 啓	111
R2-11	船底谷川第2砂防堰堤における土石流・流木の捕捉と除石事例について	○山口大輝, 吉田一雄, 草野慎一, 宮地 勝, 染原昭仁	113
R2-12	柔構造物による土砂対策の設計手法	○宇野友稀, 梅沢広幸, 鈴木利治, 奥田 峻	115
R2-13	張出タイプ流木捕捉工の設置事例について	○松元志津佳, 吉田一雄, 山口聖勝, 草野慎一	117
R2-14	柔構造物による土石の捕捉と補修事例	○玉井章裕, 田中 康, 川島健治, 井田源太郎	119

構造物(5)

5月14日（木）13:15-14:30 座長：河合政岐（日本工営株式会社）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R2-15	ブロック堰堤に作用する土石流荷重の基礎実験	○齋藤和樹, 堀口俊行	121
R2-16	コンクリートブロック堰堤の礫衝突安定性に関する個別要素法による検討	○井上隆太, 香月智, 梶田幸秀	123
R2-17	純曲げを受ける鋳鋼製リブありフランジ継手の耐荷性能に関する実験的検討	○笠原啓, 國領ひろし, 大隅 久, 山下 良	125
R2-18	礫を対象とした砂防ソイルセメント流動タイプの配合方法に関する一考察	○小布施 栄	127
R2-19	国内初 AI を活用した配合試験について	○菅野由人, 森 和繁, 菅野由人, 秋山祥克, 門分良太, 小林瑞穂, 宮木康二	129

* 表右のページは WEB 公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

構造物(6)

5月14日(木) 15:00-16:15 座長：井上隆太(砂防・地すべり技術センター)

論文番号	タイトル	著者名	ページ
R2-20	3次元設計に向けた協調領域(その1): 砂防事業における3次元設計の導入と活用に関する協調領域の取り組み	○飛岡啓之, 菊池将人, 井川 忠, 奥野敏也, 河合政岐, 矢野孝樹	131
R2-21	3次元設計に向けた協調領域(その2): 3次元設計導入に伴う検討プロセスの変化と協調領域	○矢野孝樹, 飛岡啓之, 河合政岐, 井川 忠, 奥野敏也, 菊池将人	133
R2-22	3次元設計に向けた協調領域(その3): 砂防堰堤パラメトリックモデルの活用に向けた検討と課題	○河合政岐, 萱島洋子, 山田憲治, 飛岡啓之, 菊池将人, 井川 忠, 奥野敏也, 矢野孝樹	135
R2-23	3次元設計に向けた協調領域(その4): 3次元手法を用いた堆砂量算出の有効性と課題	○菊池将人, 飛岡啓之, 上葛健太, 堂ノ脇将光, 井川 忠, 河合政岐, 奥野敏也, 矢野孝樹	137
R2-24	3次元設計に向けた協調領域(その5): 「砂防堰堤の3D施工計画に関する検討と課題」	○井川 忠, 松尾雅伸, 堀太成, 飛岡啓之, 菊池将人, 奥野敏也, 河合政岐, 矢野孝樹	139

* 表右のページはWEB公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

■ 口頭発表 第3会場（男女共同参画センター「フレンテみえ」・セミナー室A）

流砂及び土石流(1)

5月13日（水）14:30-16:00 座長：早川智也（日本工営株式会社）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R3-1	令和7年8月熊本県八代市龍峯地区における崩壊発生と土砂・洪水氾濫の再現	○藤本拓史，對馬美紗，中野陽子，佐原拓海，中田昇吾，瀧岡浩平，田中俊行，水野秀明，高橋 広	141
R3-2	流砂水文観測データを基とした流域の異常検知の試み	○朝原康貴，瀧口茂隆，岸本優輝，小林正直，松岡 暁，伊藤隆郭，古木宏和，倉上 健	143
R3-3	手取川上流域における流砂観測データに基づく流域内の土砂動態検討	○松田 悟，木佐洋志，松永一慶，大島温志，甚田隆光，杉崎亮太，中野 光	145
R3-4	プレート型ハイドロフォンによる掃流砂量のキャリブレーション式のための水路実験	○保谷智之，渡部春樹，橋本憲二，高木 優，松岡 暁，菅沼 健，伊藤隆郭，上原 舞，杉田 毅，熊木 正，小見一志	147
R3-5	ヒル谷試験堰堤の排砂操作に伴う濁水・掃流砂の伝搬特性	○木佐洋志，橋本憲二，保谷智之，渡部春樹，長山孝彦，伊藤隆郭，池田暁彦，高山翔揮，宮田秀介，水垣 滋，藤田正治	149
R3-6	別所十番砂留の嵩上げ年代と堆積土砂の特性	○樋口輝久，久都内 滉	151

斜面崩壊・水文(1)

5月13日（水）16:30-17:45 座長：藤本拓史（エアロトヨタ株式会社）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R3-7	北部九州、杷木花崗閃緑岩の風化と斜面崩壊	○濱野裕大，太田岳洋	153
R3-8	仁淀川流域を対象とした大規模地震に伴う河道閉塞の湛水特性と影響評価	○法利祐香，早川智也，網野功輔，中村佳菜絵，平澤良輔，向山正純，松岡高志，三野汰晟，宮崎巴葉	155
R3-9	那智川支川・金山谷での多点地下水計測データに着目した地下水上昇時の降雨応答解析	○早川智也，山崎祐介，長山孝彦，伊藤隆郭，伊東直哉，山田啄也，青野友哉，高原晃宙，藤田正治，宮田 秀介，山野井一輝	157
R3-10	降雨履歴の差が山地斜面の土壤透水性分布と斜面安定性に与える影響	○吉田朋偉，岩尾健司，柳井鴻太郎，正岡直也，小杉賢一朗，高原晃宙，青野友哉	159
R3-11	四万十川上流における明治23年（1890）の天然ダム形成、決壊について	○中根和彦，平澤良輔，向山正純，中山一馬，宮崎巴葉，今井一之，井上公夫，河合水城	161

地すべり

5月14日（木）9:30-10:30 座長：木佐洋志（日本工営株式会社）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R3-12	解析雨量に基づく48・72時間雨量確率年と深層崩壊発生の関係	○郷司航平，海原荘一，大西亀太，上田竹寛，上野諒平	163
R3-13	河川蛇行に伴う攻撃斜面が斜面変動の活動度・規模特性に及ぼす影響	○柿沼隼人，鄒 青穎，林 一成，高堂陶子，荻田 茂，阿部真郎	165
R3-14	紀伊山地における時系列InSAR（SBAS）による地表変動斜面の抽出	○小川内良人，白井彩香，岡本勝男，龍見栄臣，横山修，山田啄也，青野友哉，高原晃宙	167
R3-15	大規模崩壊跡地とその周辺における二次的土砂移動現象の解析	○加地慧一，小杉賢一朗	169

斜面崩壊・水文(2)

5月14日(木) 10:45-12:00 座長：小川内良人(国土防災技術株式会社)

論文番号	タイトル	著者名	ページ
R3-16	山地源流域におけるサーマルイメージングによる湧水点の特定と流出量縦断分布の把握	○山岡祐登, 五味高志, 小谷亜由美, 猪越翔大	171
R3-17	マツ枯れ被害木根系の土壌緊縛力の経年変化	○橋爪義典, 福山泰治郎, 堤大三, 小山泰弘, 柳澤賢一	173
R3-18	根系成長過程の簡易的なモデル化による斜面安定性評価手法の構築	○石原龍太, 堤大三	175
R3-19	山地斜面における水みち分布が降雨浸透過程に及ぼす影響の解明	○岩尾健司, 柳井鴻太郎, 正岡直也, 小杉賢一朗	177
R3-20	山地河川における CCTV 画像を用いた流量観測と水文動態の把握	○羽鹿孝文, 内田太郎	179

斜面崩壊・水文(3)

5月14日(木) 13:15-14:30 座長：梁偉立(国立台湾大学)

論文番号	タイトル	著者名	ページ
R3-21	地形・森林・水文のカップリングモデルを用いた将来降雨条件下における生産土砂量の変化予測	○蔭山星, 花田良太, 飛岡啓之, 菊池美帆, 吉武央気, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙, 松四雄騎	181
R3-22	土層厚の現地実測と地形解析に基づく土層発達シミュレーション：流紋岩質凝灰岩地域での適用例	○菊池美帆, 蔭山星, 江川千洋, 柴野暉崇, 飛岡啓之, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙, 松四雄騎	183
R3-23	放射性炭素年代をキャリブレーターとした土層の生成・輸送速度の推定	○柴野暉崇, 江川千洋, 菊池美帆, 蔭山星, 船山淳, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙, 松四雄騎	185
R3-24	機械学習を用いた崩壊判定と崩壊体積予測	○木戸理歩, 井上卓也, 山野井一輝	187

斜面崩壊・水文(4)

5月14日(木) 15:00-16:00 座長：蔭山星(オリエンタルコンサルタンツ株式会社)

論文番号	タイトル	著者名	ページ
R3-25	表層崩壊が基岩面飽和帯に与える影響：崩壊前後の現地比較	○梁偉立	189
R3-26	現地計測に基づく斜面の降雨浸透特性と表層崩壊の発生場の考察	○竹田拓己, 太田岳洋, 黒木貴一, 宮本新平	191
R3-27	堆積岩山地源流域を対象としたマルチトレーサによる流出把握	○鯉江知樹, 猪越翔大, 五味高志, 大西健夫, 吉岡有美, 浅井和由, 栗田直幸, 小谷亜由美, 根津涼	193
R3-28	白山砂防管内における斜面崩壊の3次元安定解析による斜面安定性評価	○阿部淳一, 田中康博, 基田隆光, 杉崎亮太	195
R3-29	地震性崩壊土塊の移動・流下形態 -石川論文データに基づく実態の関係性-	○林拙郎	197

■ 口頭発表 第4会場（男女共同参画センター「フレンテみえ」・セミナー室C）

流砂及び土石流(2)

5月13日（水）14:30-15:30 座長：吉田真也（砂防・地すべり技術センター）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R4-1	粒子の移動速度と体積濃度分布に注目した bed material load の統一評価の試み	○奥村響祐, 森 彩葉, 峰村諒太郎, 西岡佳太, 関根正人	199
R4-2	掃流砂として移動する砂礫が粘土河床の変動に及ぼす影響	○有坂真生子, 廣瀬 隼, 関根正人	201
R4-3	地形変化を適切に表現できる数値解析手法と堆積侵食効果に関する考察	○吉田真也, 志水宏行, 青木尊之, 藤田正治	203
R4-4	赤外線カメラを用いた表面流抽出のための基礎実験	○森田 宙, 大嶋 陸, 生出将士, 羽田靖史, 白木克繁, 厚井高志, 金井啓通, 皆川 淳, 島田 徹	205

生態系の保全及び創出

5月13日（水）16:30-17:45 座長：安田陽一（日本大学）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R4-5	柏木堰堤に適用した石組み斜路	○安田陽一	207
R4-6	既設砂防堰堤を活用した小水力発電の推進に向けた取り組みについて	○渡邊 尚, 山本悟, 植野利康, 村上治, 竹内智志	209
R4-7	天竜川上流におけるシカによる土砂流出への影響調査	○花岡正明, 福山泰治郎, 堤 大三, 林 泰也, 吉田桂治	211
R4-8	脱炭素化に資する砂防技術を定量的に評価する方法に関する一考察	○佐々木司, 三上幸三, 富田陽子	213
R4-9	六甲山系グリーンベルト整備事業における植栽後 25 年以上経過した整備箇所植生の現状	○藤井 禎浩, 岸本昌之, 小林英彦, 谷河 滯, 吉岡憲成, 岸田洋弥, 宇田友紀子, 松本泰輝, 服部 保	215

警戒・避難(1)

5月14日（木）9:30-10:30 座長：海原荘一（株式会社エイト日本技術開発）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R4-10	三重県の土砂災害の歴史	○今村隆正, 森本優也, 今村智美	217
R4-11	モンゴル危機管理庁での試行を通じた防災訓練の効果向上方策の考察	○千葉 幹, 内田太郎, 工藤 優葵, 森 芽為, GAN-ERDENE Gan-Ulzii	219
R4-12	東京都八丈町におけるリアルタイム土砂災害危険度可視化システムの試行	○秋山怜子, 高橋大地, 木村美瑛子	221
R4-13	東京都における土砂災害警戒区域等を示した標識設置検討 2	○ニッ寺隆宏, 北浦芳郎, 平井清史, 山本航, 大村さつき	223

警戒・避難(2)

5月14日（木）10:45-12:00 座長：千葉 幹（砂防フロンティア整備推進機構）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R4-14	アンサンブル降雨予測を用いた土砂災害発生危険度評価ー前線性降雨での検討ー	○河本崇志, 宮田秀介, 内田良始, 川本一樹, 渡邊良美, 小杉賢一郎	225
R4-15	Probabilistic Assessment of Large Dam Breach Hazard	○Hiromi D. Fontanilla, Taro Uchida	227
R4-16	毎 30 分値による CL 対象災害の評価について	○笹山 隆, 澤端秀隆, 中田雄太, 柳崎 剛, 中西宏彰, 速見 智, 小林優太	229
R4-17	2024 年における全国の土砂災害警戒情報の基準雨量の超過状況	○海原荘一, 只熊典子, 水谷圭太郎, 小島原和典, 三浦義己, 瀧口茂隆, 岸本優輝	231
R4-18	四国山地における降雨並びに土砂災害警戒情報に係る予測システムの適用性の検証と課題	○鈴木浩生, 平澤良輔, 向山正純, 松岡高志, 野村康裕, 藤田 暁, 石塚忠範, 高田 望, 吉田 翔, 因幡直希, 三浦悠	233

* 表右のページは WEB 公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

警戒・避難(3)**5月14日(木) 13:30-14:30 座長：西村直記(アジア航測株式会社)**

論文番号	タイトル	著者名	ページ
R4-19	繰り返し発生する土石流に対する警戒・避難手法 未経験降雨指数を用いた藤原岳土石流の解析事例	○小杉賢一朗, 万田純菜	235
R4-20	地域防災力向上支援ツールとしてのMASを活用した警戒・避難シミュレーションの提案	○鳥居直之, 光同寺太朗, 中山優衣, 野並賢	237
R4-21	土砂災害に備える地区防災計画に盛り込むマルチ避難シナリオ	○田中隆文	239
R4-22	住民個人のための土砂災害タイムライン作成支援に向けて - 地区防災計画およびタイムライン取組状況調査 3	○大村さつき	241

警戒・避難(4)**5月14日(木) 15:00-15:45 座長：小杉賢一朗(京都大学)**

論文番号	タイトル	著者名	ページ
R4-23	砂防関係事業評価における応急仮設住宅建設費用の貨幣換算化の検討	○宮瀬将之, 富田陽子, 小山内信智, 後藤 健, 沖中健起, 野原正嗣	243
R4-24	小学生対象のどぼく模型を用いた防災授業カリキュラムに関する考察 - 児童のアンケートを踏まえた防災授業のポイント -	○岩佐直人, 藤井俊逸, 杉原正樹, 松本一郎, 打田七星	245
R4-25	災害初動期におけるヘリコプターからの河道閉塞調査手法の検証	○西村直記, 梅田ハルミ, 四十谷朋子, 高原晃宙, 山口柊生, 佐光洋一, 井上淳平, 山口 悠, 三浦俊介, 藤目直也, 佐々木 寿	247

■ 口頭発表 第5会場（生涯学習センター・視聴覚室）

構造物(1)

5月13日（水）14:30-16:00 座長：池田暁彦（砂防・地すべり技術センター）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R5-1	地震動及び地盤特性を踏まえた令和6年能登半島地震の急傾斜地崩壊対策施設の被災傾向分析	○小原大輔, 村岡純奈, 杉崎友是, 岡崎 丈, 西口尚希, 瀧口茂隆, 岸本優輝, 小林正直	249
R5-2	ネット系砂防構造物の長期供用実態に関する基礎的研究	○杉山貴徳, 井上隆太, 後藤智和	251
R5-3	粘性土層の圧密強度増加を考慮した二重式鋼矢板基礎の検討	○西川祥, 時任基弘, 鴻上宏子	253
R5-4	支柱強化型崩壊土砂防護柵の実験による性能検証	○奥田 峻, 梅沢広幸, 鈴木利治, 宇野友稀	255
R5-5	大船渡市林野火災における応急土砂災害対策（応急土石流ガード）の効果事例について	○加藤雅也, 吉田一雄, 草野慎一	257
R5-6	令和6年能登半島地震等の地震を誘因とした急傾斜地崩壊対策施設の被災に関する多項ロジスティック回帰モデルによる傾向分析	○岡崎 丈, 西口尚希, 杉崎友是, 小原大輔, 村岡純奈, 瀧口茂隆, 岸本優輝, 小林正直	259

構造物(2)

5月13日（水）16:30-18:00 座長：小原大輔（日本工営株式会社）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R5-7	土石流堆積区間における連続する鋼製透過型砂防堰堤の透過部間隔設定の一考察	○今井健太, 吉田圭佐, 古山 剛, 奥野敏也, 岸根泰三, 柳崎 剛, 木下篤彦, 土田元気, 穂田雄高, 江口彰友, 松下勇也	261
R5-8	既設砂防堰堤を活用したチロル式取水施設の設計手法の検討	○秦野拓見, 秦野拓見, 小森谷哲夫, 植村 正, 上葛健太	263
R5-9	水平河床長が砂防構造物への作用荷重に及ぼす低減効果の検討	○宮原邑太, 堀口俊行	265
R5-10	コンクリートスリット砂防堰堤の本副間距離検討の一考察	○吉田圭佐, 村元陽介, 高村直幸, 井手ノ瀬 稜, 金野崇史, 古山 剛, 川俣英之, 今井健太, 川瀬樹一, 川崎 巧	267
R5-11	施設効果を反映した砂防堰堤水通し幅の解析決定	○西岡孝尚, 川嶋浩一, 佐々木健一, 高橋正信, 西脇彩人, 中澤圭一, 安田真悟, 阿部達也, 水村祐紀, 南部啓太	269
R5-12	大規模斜面崩壊・河道閉塞に対する効果的な対策手法に関する考察	○池田暁彦, 田村 毅, 宮城昭博, 高橋和樹, 三崎太一, 竹下 航, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙	271

土砂流出・流木(2)

5月14日（木）9:30-10:30 座長：河合水城（砂防フロンティア整備推進機構）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R5-13	流域スケールの流木生産・滞留・流出プロセス評価：森林の「質」と水文地形の相互作用	○五味高志, 中島啓太, 赤羽澄香	273
R5-14	空隙率を考慮した堆積流木群の計測	○由永尚暉, 鈴木啓介, 赤澤史顕, 西尾陽介, 宮田直樹, 辻本和紀, 宮本冬馬	275
R5-15	山地クリティカルゾーンの決定論的モデリングと土砂・流木生産量の確率論的評価	○松四雄騎	277
R5-16	山林火災後の流出土砂量予測に向けた海外手法の適用 一平成6年8月広島県竹原市で発生した火災事例を対象として一	○齋藤慎之佑, 近本捺姫, 木村詩, 廣田清治	279

土砂流出・流木(3)

5月14日(木) 10:45-12:00 座長：五味高志(名古屋大学)			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R5-17	流木による橋梁閉塞を防止する構造体に関する研究	○三橋和紗, 堤大三, 福山泰治郎	281
R5-18	流木の自由落下実験と水路模型実験の衝突荷重に関する検討	○竜川太志, 堀口俊行	283
R5-19	流木による橋梁での河川氾濫の大規模3次元シミュレーション	○青木尊之, 坂根慎治, 渡辺勢也	285
R5-20	土石流に伴い流下する流木における堆積に関する水理模型実験	○高木将行, 田中真子, 伊藤誠記	287
R5-21	土砂災害時に発生する流木の処理・活用について	○河合水城, 蒲原潤一, 中根和彦, 大木鉄夫, 竹下一路, 園田明花里	289

土砂流出・流木(4)

5月14日(木) 13:30-14:30 座長：山野井一輝(京都大学)			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R5-22	山地流域を対象とした流木流下過程の試行解析	○伊東直哉, 伊藤隆郭, 山崎祐介, 長山孝彦, 早川智也, 水野裕斗, 平澤良輔, 向山正純, 松岡高志, 三野汰晟, 宮崎巴葉	291
R5-23	山地溪流における流木の堆積に影響する要因の分析	○田中真子, 染谷哲久, 高木将行, 伊藤誠記	293
R5-24	山地大流域における支流単位での土砂流出寄与率推定手法の提案	○宮田秀介, 田中 碧, 水垣 滋, 小杉賢一朗	295
R5-25	H23 紀伊半島大水害後の中長期土砂流出を対象とした降雨規模と土砂流出規模の関係分析	○大盛泰我, 赤澤史顕, 鈴木啓介	297

土砂流出・流木(5)

5月14日(木) 15:00-16:00 座長：宮田秀介(京都大学)			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R5-26	柔構造物による溪流での土石捕捉実績	○木村佳嗣, 田邊梨沙, 杉木 雅	299
R5-27	流域土砂動態シミュレーションにおける不確かさ伝播に関する研究	○山野井一輝, 岩井智哉, 宮田秀介, 高山翔揮	301
R5-28	近年の土砂・洪水氾濫事例を踏まえた氾濫開始点や氾濫範囲の傾向分析	○西内卓也, 田村 毅, 宮城昭博, 中家健吾	303
R5-29	富士山南西野溪における中長期の土砂災害の可能性について	○篠原雄人, 光永健男, 土屋郁夫, 加藤隼平, 前田和祐, 船橋良太, 目 晋一, 高瀬 蔵	305

■ 口頭発表 第6会場（生涯学習センター・大研修室）

管理・計測(1)

5月14日（木）9:30-10:30 座長：安海高明（エアロトヨタ株式会社）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R6-1	砂防設備の維持管理における安全管理の事例について	○村上 治, 渡邊 尚, 山本 悟, 山田祐司, 吉田拓海	307
R6-2	住宅位置座標および建物形状データを利用した土砂災害警戒区域における人口推定	○伊藤誠記	309
R6-3	河床変動実績を用いた流域監視タイミングの目安設定について	○目 晋一, 亀江幸二, 渡邊 尚, 山田泰弘	311
R6-4	少数データ環境下における GPR 検出精度向上に関する研究	○李 銘	313

管理・計測(2)

5月14日（木）10:45-12:00 座長：村上 治（砂防フロンティア整備推進機構）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R6-5	熱赤外線カメラを搭載した UAV による吹付工法面の調査	○山梨太郎	315
R6-6	砂防環堤の点検に向けた UAV 映像の自動検出手法の提案	○榊原颯輝, 水尾祐介, 高木将行, 伊藤誠記	317
R6-7	小型ミュオン検出器を用いた地すべり排水トンネル内での計測	○太田敬一, 草谷恭行, 山本亨輔, Ahmed Ashou	319
R6-8	河道閉塞（天然ダム）湛水位観測の手法について	○嶺岸紀美彦, 河合水城, 村上 遼, 大出宙斗, 齋藤仁哉	321
R6-9	航空レーザ反射強度情報を用いた林野火災による流域内焼損範囲の推定について	○安海高明, 齋藤はるか, 對馬美紗, 角埜高文, 佐藤匠, 牧谷雄大, 森晴香, 近藤佳乃子, 高貫潤一	323

管理・計測(3)

5月14日（木）13:30-14:00 座長：太田敬一（日本工営株式会社）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R6-10	スコリアを用いた砂防ソイルセメントにおける砕石スラッジによる単位体積重量の調整効果	○長野英次, 秋山祥克, 菅野由人, 織戸周一郎, 上田寛紀, 脇坂宗孝, 山本大介	325
R6-11	砂防関係発生土の効率的な利活用に向けた動向調査について	○竹内智志, 森下 淳, 蒲原潤一, 阿部征輝, 江頭 勲	327

■ 口頭発表 第7会場（生涯学習センター・中研修室）

火山砂防(1)

5月14日（木）9:45-10:30 座長：酒井佑一（宇都宮大学）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R7-1	新燃岳 2025 年噴火による火山灰の堆積特性からみた降灰後土石流の発生リスクの考察	○藤沢康弘, 岩淵由佳, 皆川 淳, 金井啓通, 厚井高志, 時任勝宏, 黒木 隆, 中島万依	329
R7-2	ハンディ LiDAR による火山性渓谷の三次元地形解析 ― 雲仙岳 炭酸谷の事例 ―	○大海陸人, Christopher Gomez, 篠原慶規, 堀田紀文	331
R7-3	炭酸谷と極楽谷ガリー拡幅と火山ドーム岩塊分布:短期的土石流と土砂移動への制御	○ゴメス・クリストファー, 大海陸人, 堀田紀文, 篠原慶規	333

火山砂防(2)

5月14日（木）10:45-11:45 座長：ゴメス・クリストファー（神戸大学）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R7-4	無人化に向けた小型現場透水試験装置の評価実験	○大嶋 陸, 森田 宙, 生出将士, 羽田靖史, 白木克繁, 厚井高志, 金井啓通, 皆川 淳, 島田 徹	335
R7-5	深層学習を用いた空中写真からラプラシアン値の予測	○藤田達大, 矢野敦久, 井上 遥, 木下 響, 倉上 健, 古木宏和, 田方 智, 荒木光一	337
R7-6	火山噴火緊急減災対策において無人化施工計画を検討する上での留意点（倶多楽の事例）	○中家健吾, 栢木敏仁, 木原早紀, 岩淵由佳, 星井篤郎, 佐藤大介, 東田祐介, 北原成郎, 天下井哲生, 畑本浩伸, 竹下嘉人	339
R7-7	火山噴火緊急時の安全かつ迅速な現地把握のための四足歩行ロボット活用の実証実験	○有間 航, 植 弘隆, 平川泰之, 光永海斗, 矢渡 岳, 矢野敦久, 中村良一, 中水流晃, 井上 遥	341

火山砂防(3)

5月14日（木）13:30-14:15 座長：藤沢康弘（砂防・地すべり技術センター）			
論文番号	タイトル	著者名	ページ
R7-8	島原大変（1792）を描いた絵図と文書（真田宝物館と佐久市五郎兵衛記念館）の詳細検討	○井上公夫, 山浦直人	343
R7-9	無人化施工に用いるコンクリートブロック把持装置の改良検討	○光永海斗, 植 弘隆, 平川泰之, 有間 航, 矢渡 岳, 矢野敦久, 中村良一, 中水流晃, 井上 遥, 中濃耕司	345
R7-10	長期設置された鋼製砂防構造物の現地調査結果に関する一考察	○後藤智和, 井上隆太, 杉山貴徳	347

ポスター発表（文化会館 小ホール／第1リハーサル室）

企画セッション「火山活動に伴う土砂災害対策の現状と課題」

コアタイム：5月13日（水）12:00～13:30（偶数）

5月14日（木）12:00～13:30（奇数）

論文番号	タイトル	著者名	ページ
P-1	Effects of Soil Nails on Vegetated Slope During Rainfall-Induced Shallow Failures: Flume Experiment	○Gumbert Maylda Pratama, Takashi Gomi, Naoto Iwasa, Norihiro Ohtaka	349
P-2	衛星通信併用型小型無人ヘリによる長距離・目視外火山観測の実証：-樽前山域での多目的調査-	○田中 佑, 増田健太, 吉井祥真, 岩田清徳, 栗原章成, 上原玲音, 齋藤学斗	351

火山砂防

コアタイム：5月13日（水）12:00～13:30（偶数）

5月14日（木）12:00～13:30（奇数）

論文番号	タイトル	著者名	ページ
P-3	衛星 SAR 多時期解析による桜島黒神川流域の土砂移動特性把握に関する基礎的検討	○福井健太郎, 野正博之, 安養寺信夫, 宮崎勝巳, 尾崎順一, 兼富宗威, 力丸 厚	353
P-4	メキシコ・ポポカテペトル火山で発生した土石流の特徴と防災対策	○中谷加奈, 木次貫太, 鹿島歌乃, 中野元太, Alicia Martínez Bringas, Ángel Gómez Vázquez, Sergio Valderrama Membrillo	355
P-5	基本対策施設施工中における岩手山火山噴火緊急減災対策の段階的対応計画	○花田良太, 小林秀人, 佐藤佳之, 田川 学, 澤田悦史, 黒川祐梨, 八十川伊織, 相馬竜司	357
P-6	降灰厚が最終浸透能に与える影響	○高山翔揮, 平田有星, 藤本将光, 林 祐妃, 福山泰治郎, 中谷加奈	359
P-7	視認条件による降灰観測精度低下の実態把握	○伊藤 巧, 鴨志田毅, 小尾 亮, 矢作和樹, 矢野雅昭, 佐藤大介	361
P-8	2025年9月雌阿寒岳噴火における対応事例の報告	○木原早紀, 小野寺智久, 藤沢康弘, 高橋健太, 佐藤初洋, 岩淵由佳	363
P-9	火山噴火時の立入困難区域の降灰厚調査技術に関する現地検証—桜島における検証事例—	○三浦元気, 皆川 淳, 島田 徹, 永田直己, 金井啓通, 羽田靖史, 永谷圭司, 厚井高志, 白木克繁	365
P-10	赤外線カメラを用いた火山地域での調査手法の高度化の取組	○田中利昌, 長坂正敏, 楢本陽介, 古畑 樹, 西村直記, 山口 悠, 江川 香, 廣谷志穂, 杉下七海, 藤原季路	367
P-11	噴火時の立入規制区域における UAV 運搬型降灰・浸透状況調査ユニットの実地運用と体制構築	○清水万莉子, 矢野敦久, 井上 遥, 家田泰弘, 近藤圭悟, 藤井朗汰, 大坪隆三, 轉 秀明, 馬庭慎吾	369
P-12	白山噴火時における UAV を用いた降灰調査手法の検討	○新蔵千沙都, 田方 智, 甚田隆光, 杉崎亮太, 中野 光	371
P-13	降灰後の土石流の発生・流出特性について	○片山小裕美, 池田暁彦, 藤沢康弘, 佐藤初洋	373
P-14	立入困難区域内の調査技術に関する統合現地検証—浅間山における検証事例—	○鈴野愛斗, 皆川 淳, 島田 徹, 永田直己, 金井啓通, 金崎裕之, 三浦元気, 羽田靖史, 厚井高志, 白木克繁, 永谷圭司	375
P-15	新燃岳噴火における合成開口レーダ（SAR）の散乱変化事例	○相馬竜司, 柴野暉崇, 木村香帆, 柳町年輝, 飛岡啓之, 澤田悦史, 小澤 剛	377
P-16	移動床におけるブロック堰堤の安定性能向上に向けた実験的検討	○日浦啓太, 牧輝磨, 原田紹臣, 藤本将光, 里深好文, 神野忠広, 佐藤哲也, 平澤 健	379
P-17	UAV 動画撮影データを用いた礫径調査の一考察	○角 主輝	381
P-18	地表面の状態に着目した火山灰の堆積状況の可視化	○佐藤初洋, 藤沢康弘, 柘木敏仁, 池田暁彦, 地頭園隆	383
P-19	火山防災計画を検討するにあたっての降灰シミュレーション結果の表現方法	○仲田光輝, 藤沢康弘, 佐藤初洋, 永田直己, 金井啓通	385
P-20	新燃岳 2025 年噴火による火山灰の堆積範囲の推定	○岩淵由佳, 藤沢康弘, 皆川 淳, 金井啓通, 厚井高志	387
P-21	火山堆積物および降雪が卓越する大山西麓地域における降雨流出特性	○松本渉吾, 和田孝志, 梶川勇樹, 三輪 浩	389
P-22	火山地域（樽前山）における緊急減災ハード対策の効果検証	○山口天斗, 岩田清徳, 栗原章成, 上原玲音, 齋藤学斗, 堀口俊行, 宮原邑太, 亀川太志, 池田暁彦, 藤沢康弘, 高橋健太, 片山小裕美	391
P-23	火山地域における GPS センサー・SfM 解析等を活用した土石流調査手法の開発	○轉 秀明, 矢野敦久, 井上 遥, 家田泰弘, 清水万莉子, 近藤圭悟, 藤井朗汰, 大坪隆三	393

* 表右のページは WEB 公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

テーマ別セッション2「砂防分野における3次元データの活用と課題」

コアタイム：5月13日（水）12:00～13:30（偶数）

5月14日（木）12:00～13:30（奇数）

論文番号	タイトル	著者名	ページ
P-24	2024年能登半島地震の初動対応から考える広域災害時の即時把握	○高野正範, 高橋 弘, 星野慎司, 木場隆生, 千田良道	395
P-25	河道閉塞初動期の緊急調査を支援する災害情報共有3次元プラットフォームの構築	○小林実和, 島田 徹, 永谷圭司, 全 邦釘	397
P-26	画像AIを用いた2時期のUAV画像の差分検知による砂防施設の変状自動抽出	○江口友章, 佐藤厚慈, 神馬和歌子, 服部聡子, 新井瑞穂, 影山高史, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙	399
P-27	荒砥沢地すべり移動体におけるLiDAR-SLAMによる3次元点群データを用いた微地形及び植生変状の解析	○小野貴稔, 山本敦也, Serenee Osman, 宮城豊彦, 佐藤 英和, 原田拓也, 河合貴之	401
P-28	表層崩壊予測モデルを用いた森林の崩壊抑制機能評価の試みー広葉樹林のデジタルツインモデルの活用事例ー	○笠原拓造, 小泉和也, 西方大翔, 初見 慧, 鳥居宣之, 玉利正人	403
P-29	袖折れ形状の砂防堰堤設計におけるパラメトリックモデルの活用と今後の展望	○杉田貴志, 望月浩白, 司城 叶, 増井莉子, 中居暁	405
P-30	多時期航空レーザ測量データを用いた地すべり性変動の3次元挙動解析	○小出哲也, 小野貴稔, 秦野輝義, 星野慎司, 加藤あゆみ, 川本晃治	407
P-31	LPデータを用いた砂防堰堤の堆積物表面形状に着目した出水時の砂防堰堤周辺における土砂動態の把握	○藤田一颯, 内田太郎, 澤村朱美	409
P-32	空間IDとAIを活用した3次元管内図による点検業務効率化	○宮本 翔, 戸田光洋, 最上谷真仁, 山本享弘	411
P-33	AI技術を活用した崩壊地抽出の検討	○星野慎司, 外山康彦, 高野正範, 猿渡辰也, 山口 温, 川本晃治, 沖 智紀	413
P-34	高性能レーザ計測機器を搭載したUAVによる砂防事業DXの可能性その3 緊急点検での点群活用	○田中友公, 島田 徹, 水流竜馬, 三浦元気, 吉川卓郎, 舟生健太郎, 瀬口栄作, 角ヶ谷秀幸, 村上康司, 佐久間嶺央, 阪上雅之	415

管理・計測

コアタイム：5月13日（水）12:00～13:30（偶数）

5月14日（木）12:00～13:30（奇数）

論文番号	タイトル	著者名	ページ
P-35	UAVと目視を併用した砂防施設の点検評価事例	○横尾公博, 岩田清徳, 栗原章成, 上原玲音, 齋藤学斗, 宮原海, 本屋敷涼, 西ヶ谷友美, 山田創太, 花田隆元	417
P-36	AI画像解析を用いた砂防堰堤堆砂域の変化箇所自動抽出に向けた取り組み	○本多泰章, 大浦二郎, 松若昭雄, 小林幸博, 前野 涼, 森 隆彰, 板野友和, 島崎康信, 富田 茂, 花田大輝, 坂本良祐	419
P-37	ドローンポートを用いた法枠工の遠隔3次元計測	○藤田 哲, 山梨太郎, 蔵谷 樹, 伊藤奈津記	421
P-38	四国山地砂防管内におけるUAVを活用した遠望点検の試行	○吉安征香, 平澤良輔, 向山正純, 松岡高志, 三野汰昆, 宮崎巴葉, 岡野和行, 井元成治, シャヘイコウ, 鈴木 心	423
P-39	流域単位の効率的な除石計画策定手法の検討	○長塚結花, 岸本昌之, 福富章弘, 宮田直樹, 西ヶ谷友美, 小林泰士, 佐藤和歌子	425
P-40	複数地点に設置したインターバルカメラ画像による流域内の水と土砂の流出実態の把握	○滝澤雅之, 岡野和行, 谷口由河, 井元成治, 吉安征香, 木下篤彦, 土田元気, 穂田雄高, 江口彰友, 松下勇也	427
P-41	ドローンとCar-SAT等を組合せた大規模崩壊地の変状把握のための訓練	○河井恵美, 荒木義則, 村上智哉, 傳明地隆志, 安井ゆりか, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙	429
P-42	AI解析による衛星画像技術を用いた基礎調査について	○寺山祐司, 西真佐人, 千葉 幹, 山田 晃, 長田裕司, 屋木わかな, 久原悦子, 橋本侑弥	431
P-43	UAVを用いた湛水池水位計測のための投下型水位計の投下訓練	○荒木義則, 河井恵美, 村上智哉, 中西まどか, 久家政治, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙	433
P-44	UAVグリーンレーザおよび水中ドローンを用いた砂防堰堤水叩き部の洗掘調査手法に関する検討	○水流竜馬, 佐野聖岳, 渡辺隆吉, 佐藤義晴	435
P-45	砂防堰堤における耐酸性対策の劣化について	○尾崎順一, 石田孝司, 木暮一也, 柳田聡, 西村沙知, 稲垣偉流, 坂本知隆, 宮崎勝巳	437
P-46	UAVで取得した写真の土砂災害調査への適用に関する検討	○宮城昭博, 小林拓也, 中家健吾, 後藤 健, 沖中健起, 川人義功, 和田敏彦	439

* 表右のページはWEB公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

P-47	中継機 UAV の活用と高高度飛行による電波不感地帯における砂防施設点検の実施	○熊倉 歩, 木村修一, 佐々木瞭, 西村直記, 千葉一博, 古賀勇輝, 中島 秀	441
P-48	長野県における砂防施設点検の効率化に向けた取り組み（その3）－ 現地点検を主眼とした AI 等の DX ツールの実装と検証－	○中西宏彰, 家田泰弘, 古山 剛, 清水万莉子, 小林哲也, 山田 晃, 長田裕司	443
P-49	三次元砂防管内図に搭載する地上レーザを用いた現地調査手法の検討	○植野 惣, 松尾雅伸, 堀 太成	445
P-50	強度差分 SAR 画像を用いた土砂移動範囲推定手法の精度向上に向けた試み	○吉田 巧, 廣澤元彦, 和泉美智子, 奥野誠一朗, 平田育士, 柴山卓史	447
P-51	SAR 衛星を活用した土砂移動箇所抽出における観測特性を考慮した精度向上手法	○河野孝俊, 瀧口茂隆, 岸本優輝	449
P-52	河道閉塞湛水部の湛水位監視に向けたブイの現地実証試験	○田方 智, 矢野敦久, 井上 遥, 木下 響, 立石葉香, 新蔵千沙都	451
P-53	歩行型レーザスキャナを用いたグリーンベルト内の樹林解析	○湯川（恩藤）典子, 熊澤至朗, 丹羽隆志, 小島慎也, 金井宏樹, 若杉糸絵, 恩藤 真, 高田雄介, 金井亮介	453
P-54	UAV を活用した降灰観測施設の自動点検	○新田寛野, 大木鉄夫, 竹下一路, 園田明花里, 佐藤厚慈, 鳥田英司, 滝澤雅之	455
P-55	流砂水文観測による土砂流出状況の変化の分析	○井内拓馬, 日名純也, 近藤圭悟, 村井田成, 家田泰弘, 清水万莉子, 藤井朗汰, 草野恭真, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙	457
P-56	UAV を利用した土砂災害防止法基礎調査（見直し調査）の効率化に関する検討	○木村凜太郎, 鶴澤光佑, 西村智博, 井上巨樹, 小野勇人, 浅野修成	459
P-57	災害時のインフラ被災環境を想定したドローンポート遠隔操作による溪流調査手法の検討	○松永一慶, 梅田ハルミ, 四十谷朋子, 寺本圭吾, 倉上 健, 渡部春樹, 三池 力, 武井 傑, 多田井健人, 奥雄大郎	461
P-58	災害時における水空合体ドローンを用いた水底地形把握	○本間文徳, 平澤良輔, 向山正純, 松岡高志, 三野汰晟, 宮崎巴葉, 鈴木 心, 上杉温子, 新井瑞穂, 戸村健太郎, 長野博之	463
P-59	砂防施設点検の高度化に向けた3次元計測手法の検討事例	○宮原 海, 岩田清徳, 栗原章成, 上原玲音, 齋藤学斗, 横尾公博, 本屋敷涼, 西ヶ谷友美, 山田創太, 花田隆元	465
P-60	川辺川流域における衛星通信を活用した無人ヘリによる溪流・砂防施設点検の実証実験	○大屋俊祐, 下窪和洋, 遠藤亮子, 水谷 佑, 片山和紬	467
P-61	砂防施設点検における UAV 活用の検討	○山田 晃, 長田裕司, 小林星哉, 小柄洞彩音, 内村幸太郎	469
P-62	砂防堰堤における洗掘詳細調査への水中ドローン活用検討	○鈴木 心, 平澤良輔, 向山正純, 松岡高志, 三野汰晟, 宮崎巴葉, 本間文徳, 上杉温子, 新井瑞穂, 太井正史, 高橋正起	471
P-63	AI 画像解析による水位・流砂量の推定手法の検討	○近藤圭悟, 吉田桂治, 岡本 明, 小澤朋晃, 室井亮人, 井内拓馬, 家田泰弘, 清野真義, 中西宏彰, 吉村暢也, 遠藤哲雄	473
P-64	新庄河川事務所管内における UAV 自律飛行点検手法について	○矢作和樹, 村上 遼, 大出宙斗, 齋藤仁哉, 片嶋啓介, 河野 元, 伊藤大悟, 青柳寛太郎	475
P-65	架空光ファイバを用いた土石流の DAS 観測特性	○八木笙太	477
P-66	斜面形状がロープネットロックボルト併用工法の支圧板密着性に及ぼす影響の分析	○池田智博, 山田 剛, 有働 真, 鏡原聖史, 塩谷嘉宏, 山口奨之, 岡崎敬祐, 伊東陽希	479
P-67	臨時点検を想定した車載型ドローンポートによる飛行試験について	○辻原 諒, 吉野弘祐, 梶原あずさ, 大橋一智, 菊地慎太郎, 富田康裕, 恩藤（湯川）典子, 内藤直司, 滝川正則	481
P-68	桜島における UAV 健全度評価手法の適用性検証と高度化への取り組み	○中西まどか, 有嶋哲朗, 下田勝典, 田知行志保, 河井恵美, 高橋源貴, 安井ゆりか, 稲岡 諄	483
P-69	土砂・洪水氾濫業務における AI 技術を活用した河床材料調査の効率化に関する試み	○吉田拓海, 中村 晋, 上野俊幸, 山田祐司, 関英理香, 境 史晶, 佐藤 有	485
P-70	レベル 3.5 飛行等による砂防施設点検の高度化の取組	○廣谷志穂, 長坂正敏, 楢本陽介, 古畑 樹, 西村直記, 山口 悠, 杉下七海, 田中利昌, 江川 香, 若松 海, 川原彬人	487
P-71	LTE 通信を活用したレベル 3.5 飛行による UAV 溪流点検	○鳥田英司, 大木鉄夫, 竹下一路, 園田明花里, 佐藤厚慈, 滝澤雅之, 新田寛野	489
P-72	SAR 衛星の観測上の特性と土砂移動の素因・誘因を考慮した土砂移動箇所調査手法	○岸本優輝, 瀧口茂隆, 河野孝俊, 橋本裕紀, 平田育士, 柴山卓史	491

* 表右のページは WEB 公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

P-73	砂防施設点検効率化ツールの開発（その3）	○小林哲也, 野坂隆幸, 丑山善雄, 松本堯大, 片嶋啓介, 家田泰弘, 中西宏彰, 近藤圭悟, 浦長瀬大世, 伊藤大悟, 河原達哉	493
P-74	野尻川における土石流イベントのDAS観測事例にかかる考察	○海老原友基, 赤澤史顕, 鈴木啓介	495
P-75	大沢扇状地における発生土利活用の検討	○浦原潤一, 光永健男, 加藤隼平, 前田和祐, 船橋良太, 竹内智志, 嶺岸紀美彦, 谷知幸, 矢野孝樹, 山川夏美, 青木一真	497
P-76	広島西部山系におけるレベル3.5飛行によるUAV点検の実証とその有用性	○安井ゆりか, 柴田俊, 柳川航輝, 天野茉那, 河井恵美, 中西まどか, 青田凌昌, 久家政治	499
P-77	既設砂防堰堤における実効性の高い除石管理計画の検討	○佐藤和歌子, 岸本昌之, 福富章弘, 宮田直樹, 長塚結花, 西ヶ谷友美, 小林泰士	501
P-78	レベル3.5飛行による長時間無人航空機を用いた施設巡視・点検の実装検討	○深谷建夫, 辰巳哲, 若林稔幸, 小島光平, 加山 齊, 杉本勇介, 村井 涉	503
P-79	UAV調査結果活用を想定した災害対応訓練の実施	○青野友哉, 山田啄也, 高原晃宙, 荒木義則, 河井恵美, 村上智哉, 中西まどか, 久家政治	505
P-80	UAVを用いた砂防関係施設点検および点検データ管理省力化に向けた取り組み	○山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙, 佐藤厚慈, 江口友章, 上杉温子, 吉安征香, 影山高史, 鈴木心, 神馬和歌子, 橋本侑弥	507
P-81	六甲山系におけるUAV自律飛行による砂防施設点検の実証	○村山有祈, 野村康裕, 川原崎智也, 山下牧子, 河井恵美, 中西まどか, 安井ゆりか, 青田凌昌	509
P-82	4D-LiDARを用いたヒル谷試験堰堤排砂時の流況・河床変動観測	○澤田尚毅, 望月優生, 澤田尚毅, 越智尊晴, 菅原圭吾, 谷口 柊, 佐藤 晶, 宮田秀介, 高山翔揮	511
P-83	落雷を原因とした芦沼床固工の損傷メカニズムについて	○高濱洋介, 阿部征輝, 諏訪園胡楠, 佐々木達生, 永野賢司, 木下篤彦, 廣井幸治, 秋元 裕, 上原浩明, 金井駿杜	513
P-84	UAVによる多時期・多角撮影画像の管理型砂防施設点検支援ビューアの開発	○田中星矢, 高市善幸, 木澤恵一, 中川諒穂, 三浦 樹, 豊田颯太	515
P-85	山岳地域でのUAV飛行におけるリスクと対応策	○小川達則, 澤田悦史, 江藤稚佳子, 柳町年輝, 木下篤彦, 廣井幸治, 土田元気, 江口彰友	517
P-86	UAV-SfMに基づく河床材料粒径分布推定式の適用性の検証	○伊波賢功, 山野井一輝, 中谷加奈, 高山翔揮	519
P-87	土砂災害防止法に基づく基礎調査（急傾斜地の崩壊）の効率化—モバイル端末を用いた座標取得手法の取り組み—	○苗木春奈, 木村濃太郎, 齋藤 愛, 朝間一允, 富田裕翔, 鈴木 篤	521
P-88	銅山川流域におけるUAVレベル3.5飛行による砂防施設点検の実証試験事例	○佐原拓海, 村上 遼, 大出宙斗, 齋藤仁哉, 笹山 隆, 片嶋啓介, 河野 元, 藤本拓史, 中野陽子, 櫻井尚輝, 岩佐優一	523
P-89	現場条件に応じた砂防堰堤の基礎洗掘調査手法の検討事例	○石井哲也, 櫻野 誠, 川地淳司, 中村英利, 篠田修司, 小栗奨也, 古山 剛, 宇野澤剛, 今井健太	525
P-90	可搬型VRS測量機器の現場における活用事例と機種毎の適用性評価	○松田 賢, 佐原拓海, 牧谷雄大, 吉田 慎, 中野陽子, 藤本拓史	527
P-91	インターバルカメラ画像を用いた土砂流出把握に向けた深層学習手法およびRGB解析手法の提案	○谷口宙河, 岡野和行, 西村直記, 川原彬人, 滝澤雅之, 木下篤彦, 土田元気, 鶴田雄高, 江口彰友, 松下勇也	529
P-92	地すべり排水トンネルの維持管理に係るハンドヘルドレーザ計測を用いた壁面性状把握と崩落リスク評価手法の検討	○高仲貴志, 秦野輝義, 城下 奨, 大崎裕司, 圓井悠平	531
P-93	中分解能光学衛星GRUSによる土砂移動箇所の抽出に関する基礎検討	○佐々木 央	533
P-94	VTOL機搭載LiDARによる広域地形計測と砂防設備点検への応用	○田中俊宏, 笹山 隆, 内柴良和, 杉山孝聡, 佐部浩太郎, 今井清貴, 小畑すみれ, 甚田隆光, 杉崎亮太, 中野 光	535
P-95	土砂法に基づく基礎調査の品質確保（土石流編）	○瀬戸康平, 前田知行, 渡辺 智, 鈴木 篤, 齋藤 愛, 木村濃太郎	537

警戒・避難

コアタイム：5月13日（水）12:00～13:30（偶数）

5月14日（木）12:00～13:30（奇数）

論文番号	タイトル	著者名	ページ
P-96	広島県における災害教訓及び地域の自主防災活動のネットワーク化と次世代への継承に向けた取り組み	○石田 響, 桑田志保, 海堀正博, 脇田知茂, 今谷幸生, 酒井元樹, 松井 憲, 宗貞孝太郎, 狩野涼介, 古川真也, 大迫雅俊	539
P-97	砂防分野の技術伝承に向けたゲーム型学習手法の整理と適用可能性	○山口善臣	541
P-98	CL 設定における応答曲面の調整方法に関する試行的検討	○池田寛, 瀧口茂隆, 岸本優輝, 小林正直, 秦 雅之, 村上智哉, 竹田梨夏	543
P-99	MEPS（メソアンサンプル予測システム）の予測雨量を用いた土砂災害警戒情報への適用可能性の検討	○潮見礼也, 瀧口茂隆, 岸本優輝, 中島奈桜	545
P-100	地区防災計画（土砂災害）策定に向けた砂防ボランティア活用の検討	○町田尚久, 赤沼隼一, 井良沢道也, 玉木賢治	547
P-101	降雨データ期間の違いが土砂災害警戒情報の CL 設定に与える影響	○瀧口茂隆, 岸本優輝, 小林正直, 秦雅之, 池田 寛, 村上智哉, 竹田梨夏	549
P-102	土砂災害に関する地区防災計画の策定に向けての現状と課題	○井良沢道也, 赤沼隼一, 町田尚久, 玉木賢治, 緒統英章	551
P-103	土砂災害発生の予測精度向上に資する地形解析に基づいた斜面ユニット抽出手法の検討	○根本信行, 鳥居宣之, 濱本拓志, 鏡原聖史, 笠原拓造, 中川 涉, 窪田安打	553
P-104	履歴順位の算定期間を2005年以前まで延伸した場合の土砂災害発生危険基準線の精度について	○後根祐樹, 竹本大昭, 竹田海渡, 田村英之, 坂根 羽, 角田博幸, 平井康夫	555
P-105	土砂災害予報サービスの提供に向けた確率的発生予測基準の構築とシステム実装への展開	○杉原成満, 桑田志保, 藤原涼太郎	557
P-106	砂防を発信するカード類についての実態と有用性向上に向けた一考察	○谷知幸, 蒲原潤一, 井上公夫, 中根和彦, 眞木 涉, 森みちる, 松本美善	559
P-107	地すべり地集落における地区防災計画策定の検討（愛媛県大洲市をモデル地区とした事例）	○堀 喬紀, 今井一之, 佐光洋一, 平澤良輔, 向山正純, 中山一馬, 宮崎巴葉, 松本光希, 小泉貴司, 城戸愛香	561
P-108	土砂災害警戒情報発表基準（CL）の高度化事例（第2報）	○真庭志歩, 曾我智彦, 岩間翔平, 小泉和也, 松井愛海, 三浦元気, 西方大翔, 渡辺 智	563
P-109	流域雨量指数と観測流量を用いた河道閉塞検知手法の適用性	○小林正直, 瀧口茂隆, 岸本優輝, 高田隆行	565
P-110	一次元河床変動計算による土石流基準地点の検討と現地比較	○香西武蔵, 坂田 剛, 原田 駿介, 石川勝章, 川上誠博, 富安 蓮	567
P-111	CL 超過降雨のパターン分類による土砂災害発生リスク評価の試み	○村上智哉, 杉原成満, 秦 雅之, 池田 寛, 竹田梨夏	569
P-112	令和6年9月能登半島豪雨における土砂災害危険情報サービスによる判定状況	○五十嵐孝浩, 竹林洋史, 浜田裕貴, 平野竜貴	571

構造物

コアタイム：5月13日（水）12:00～13:30（偶数）

5月14日（木）12:00～13:30（奇数）

論文番号	タイトル	著者名	ページ
P-113	サザンロック・ブロックを用いた砂防堰堤の安定性評価手法の開発	○水野秀明, 相田和也, 山本浩喜, 吉村俊一, 俵熊公子	573
P-114	既存砂防堰堤の補強事例と設計時における留意点について	○森川 智, 野村雅俊	575
P-115	砂防工事の生産性向上と省人化を目的とした砂防構造物への現場打コンクリートブロックの活用に関する試行	○五十嵐勇氣, 林真一郎, 谷保和則, 柳沢信繁, 菊井稔宏, 小野寺智久	577
P-116	石積み堰堤を対象とした砂防堰堤の改築設計事例	○高橋源貴, 中西まどか, 濱田隆敬, 來須洋二, 河井恵美, 佐藤 正, 山口浩司	579
P-117	支持力公式の違いによる砂防堰堤基礎地盤の改良深度の比較	○金澤牧子, 高木将行, 伊藤誠記	581
P-118	道路防災事業における土石流・流木対策施設の検討事例	○清水泰有, 村松広久, 西陽太郎, 川原慎一郎	583
P-119	能登半島のスレーキング土砂におけるソイルセメント適用性評価と改良材混合の効果	○上葛健太, 伊藤力生, 飛岡啓之, 堂ノ脇将光, 今井健太郎, 前田憲紀, 秋山剛志, 江刈直嗣, 山根恭子, 富田楓真	585
P-120	砂防施設における水叩きの摩耗過程とその要因の一考察	○松永隆正, 菅野拓矢, 高木将行, 伊藤誠記	587
P-121	酸性急流河川（ヌッカクシフラノ川）における護床ブロックの変状についての考察	○深見文哉, 五十嵐勇氣, 香月 智, 今井明宏, 後藤智和, 杉山貴徳, 菊地 敏, 斎藤通, 小林悠里	589

* 表右のページは WEB 公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

P-122	青森県における3次元パラメトリック設計による施設配置への取組事例	○片岡宏介, 齋藤 新	591
P-123	富山県営立山砂防施設群に関する調査	○松本直樹, 八木隆夫, 河上岳史, 岩田和久, 竹内智志, 村上 治, 渡邊 尚	593
P-124	網状鉄筋挿入工の設置条件の違いが鉛直耐荷性能に与える影響に関する実験的検討	○細江勇介, 藤本将光, 鈴木大愛, 原田紹臣, 小西成治, 芦田智至, 里深好文	595
P-125	満砂した不透過型砂防堰堤下流における河床低下実態調査	○菅野拓矢, 松永隆正, 高木将行, 伊藤誠記	597
P-126	酸性急流河川(ヌッカクシフラノ川)における護床ブロックの連結金具についての考察	○今井陽宏, 五十嵐勇気, 香月 智, 深見文哉, 後藤智和, 杉山貴徳, 菊地 敏, 斎藤 通, 小林悠里	599
P-127	小型模型を用いた耐越水性能向上のための堤防舗装工法に関する実験的検証	○幅 亮輔, 鮫島隆貴, 増田佐代子, 原田紹臣, 里深好文, 藤本将光, 久保田純司, 野本真兵	601
P-128	大型模型を用いた堤防舗装の越流水に対する耐浸食性に関する実験的検証	○増田佐代子, 鮫島隆貴, 幅亮輔, 原田紹臣, 里深好文, 藤本将光, 久保田純司, 野本真兵	603
P-129	砂防堰堤の3次元設計に向けたツール等の開発	○萱島洋子, 河合政岐, 山田憲治, 林 聖也, 田淵陽介, 宮本祐成	605
P-130	ため池の多目的利用に関する研究	○小森園旺彦	607

地すべり

コアタイム：5月13日(水) 12:00～13:30 (偶数)

5月14日(木) 12:00～13:30 (奇数)

論文番号	タイトル	著者名	ページ
P-131	集水井工及び横ボーリング工の集水管の変状レベル評価基準の事例	○山本 望, 瀬戸秀治	609
P-132	地すべり地における地下水排除工検討事例	○伊東陽希, 名畑昌昭, 松下和敬, 鏡原聖史, 山口奨之, 岡崎敬祐, 池田智博, 塩谷嘉宏	611
P-133	地すべり発生年代の復元に向けた樹木根系の組織変化と見出された課題	○川上礼央奈, 鄒 青穎, 石川幸男, 本多和茂, 荻田 茂, 林 一成, 栗山大助, 伊藤啓太	613

斜面崩壊・水文

コアタイム：5月13日(水) 12:00～13:30 (偶数)

5月14日(木) 12:00～13:30 (奇数)

論文番号	タイトル	著者名	ページ
P-134	鉄根打設工法(NETIS番号HK-250006) 渓流斜面で使える経済的で環境負荷の低い工法	○下河敏彦	615
P-135	表面流出を考慮した浸透流解析と斜面安定解析による崩壊土砂の流動化に関する考察	○岡野和行, 森 泰樹, 深野雄三, 杉山友康, 戸村健太郎, 太井正史	617
P-136	山体基岩層内の水文過程を考慮した単純な降雨流出モデルの検討	○正岡直也, 小杉賢一郎	619
P-137	自然斜面に施工された旧タイプグラウンドアンカー工の点検事例と荷重低下メカニズムの推察	○岡崎敬祐, 山田剛, 藏野和範, 鏡原聖史, 塩谷嘉宏, 山口奨之, 伊東陽希, 池田智博, 谷崎優也	621
P-138	貯水式IoT雨量計の実証実験	○糸数 哲, 古田兼三, 高田忠司, 勝村英則	623
P-139	表層崩壊する土層の特徴と検土杖及び簡易貫入試験結果に基づいた土層の設定方法	○江川千洋, 鈴木啓介, 田中健貴, 木下英樹, 蔭山 星, 菊池美帆, 船山淳, 小嶋孝徳	625
P-140	森林斜面における土壌透水性分布を考慮した降雨流出の解析	○柳井鴻太郎, 岩尾健司, 正岡直也, 小杉賢一郎	627
P-141	令和6年奥能登豪雨で発生した崩壊の特徴について	○南 優希, 梅田ハルミ, 四十谷朋子, 安田有里, 柏原佳明, 吉野弘祐, 梶原あずさ	629
P-142	画像解析による土壌水分特性曲線の取得における顕微鏡倍率の影響	○林祐妃	631
P-143	2011年に深層崩壊が発生した和歌山県田辺市熊野地区における地下水位変動特性に関する考察	○竹下 航, 内田太郎, 山川陽祐	633
P-144	空中電磁探査(ヘリコプター)を用いた深層崩壊素因平面図の検討	○奥村 稔, 馬場敬之, 金丸諒太郎, 東 篤義, 野崎勇佑, 竹下 航, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙	635
P-145	CS立体図を用いた微地形区分図作成方法の改良	○大西剛史, 鳥居宣之	637
P-146	令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨を受けた地山補強土工の健全性診断	○鏡原聖史, 寺岡克己, 川上博士, 村上恭通, 杉田光央, 岡崎敬祐, 片岡 誠	639

* 表右のページはWEB公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

P-147	火山灰の堆積厚および下層材料の違いが表面流出に及ぼす影響に関する実験的研究	○吉野孝彦, 金澤 瑛, 伊藤誠記	641
P-148	空中電磁探査による2時期の比抵抗変化とポーリングデータの対比ー鹿児島県南大隅町船石川周辺の火砕流台地斜面における検討事例ー	○金山健太郎, 河戸克志, 奥村 稔	643
P-149	大起伏の中規模流域における出水イベントへの貯留関数法の適用性	○山川陽祐, 内田太郎, 北本 楽	645
P-150	降雨を誘因とする表層崩壊に森林が与える影響ー林齢構成の異なる2時期の崩壊を対象とした検討ー	○井浦礼生, 権田 豊	647
P-151	樹木根系による付加的粘着力のモデル化とその表層崩壊防止効果の評価: 花崗岩と流紋岩地域の比較	○八十川伊織, 花田良太, 菊池美帆, 蔭山 星, 大木正美, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙, 松四雄騎	649
P-152	スラッシュ雪崩の発生機構に関する研究	○佐野友洋	651
P-153	九州大学宮崎演習林の崩壊跡地における植生回復を決定づける要因の解明	○菱田尚樹, 諫山佑汰, 佐藤忠道, 執印康裕, 久米朋宣, 篠原慶規	653
P-154	先行降雨と地盤条件の違いが斜面崩壊現象に及ぼす影響に関する実験的研究	○川島美乃里, 藤本将光, 森 健朗, 石坂陽太, 野口稜太, 里深好文	655
P-155	花崗岩山地小流域におけるタンクモデルを用いた基岩湧水量の再現	○田邊 涼, 桂真也	657
P-156	台風等の気象状況からみた小丸川流域の崩壊発生特性の考察	○松下隆史, 黒木正志, 立元孝幸, 吉田正紀, 樋口 誠, 西川大亮, 藤井陽子, 小嶋竜太郎, 野中琢磨	659
P-157	地震による崩壊の危険度評価式作成のための基礎研究ー統計的解析を用いた地震による崩壊の特性解析ー	○山崎 翼, 権田 豊	661
P-158	自然斜面崩壊予防工のロープネットによる土砂流出抑制について	○村上恭通, 寺岡克己, 川上博士, 鏡原聖史, 岡崎敬佑, 藤本和明, 小西成治, 杉田光央	663
P-159	SfMによる点群データを用いた樹木根系調査手法の有効性	○佐藤貴紀, 小番柚輝, 大野千星織, 橋 隆一	665
P-160	清水寺境内における実効雨量に基づく湧水発生条件の検討	○疋田桜士郎, 藤本将光, 鹿島翔太, 青木陽音, 宇次原雅之, 藤田 哲, 里深好文, 深川良一	667
P-161	実効雨量を用いた清水寺境内における地下水位の変動特性に関する検討	○青木陽音, 藤本将光, 鹿島翔太, 疋田桜士郎, 宇次原雅之, 藤田 哲, 里深好文, 深川良一	669
P-162	DEMベースのストリームチューブ分割手法の構築と斜面崩壊解析への応用	○今峰祥暉, 山野井一輝, 堤 大三, 福山泰治郎	671
P-163	根系の発達に土壌水分特性に及ぼす影響の実験的検討	○大矢場健留, 正岡直也, 小杉賢一朗	673
P-164	簡便な音量指標を用いた山地溪流の流音モニタリングと流量評価指標の提案	○鈴木真由, 五味高志, 小谷亜由美, 鯉江知樹, 山岡祐登	675
P-165	岩盤層の亀裂の分布と幅に着目した降雨流出過程に関する実験的研究	○安藤 麦, 佐竹寅次郎, 堤 大三, 福山泰治郎	677
P-166	森林の成長に伴う荷重増加が斜面安定に与える影響	○山本覚樹, 前田瑳月, 船越達也, 三好岩生	679
P-167	簡易貫入試験による推定土層厚のばらつきの大きさと分布-広島県 広島花崗岩分布域のケース-	○木下英樹, 田中健貴, 鈴木啓介	681
P-168	広島県高田流紋岩類斜面における風化と土層構造の関係および地形発達	○橋本将弥, 太田岳洋	683
P-169	赤石山脈南部の大規模崩壊地における土砂生産プロセス	○蓮容龍信, 今泉文寿	685
P-170	東京農業大学奥多摩演習林狩倉沢流域における土層-基岩境界面の地下水動態の把握	○日高太一, 北條萌梨, 滝口慶人, 佐藤貴紀, 橋 隆一	687
P-171	2025年今治林野火災後の山地斜面における浸透能の時間変化	○近本捺姫, 齋藤慎之佑, 竹田悠真, 木村 誇, 廣田清治	689
P-172	令和6年能登半島地震および奥能登豪雨による森林災害	○浅井 空, 三好岩生	691
P-173	令和6年能登半島地震で形成された河道閉塞の決壊実績に基づいた閉塞部を構成していた粒径の推定	○山口柊生, 高原晃宙, 鈴木啓介	693
P-174	河道閉塞応急対策施設の被災事例収集に基づく損傷要因分析	○高原晃宙, 山口柊生, 海原荘一, 郷司航平, 鈴木啓介, 桜井 亘, 判田乾一	695

* 表右のページはWEB公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

生態系の保全及び創出

コアタイム：5月13日（水）12:00～13:30（偶数）

5月14日（木）12:00～13:30（奇数）

論文番号	タイトル	著者名	ページ
P-175	日光砂防事務所管内での工事発生土砂の活用事例の紹介	○木下篤彦, 宮本幸太, 道田 豊, 廣井幸治, 秋元 裕, 熊田泰幸, 土田元気	697
P-176	絶滅危惧種が生息・生育する溪流における土石流対策の設計事例	○大塚啓一, 菊池英明, 中戸川達矢, 重松克弥, 市川結菜, 速水七海, 横田ありさ	699
P-177	急峻な山地における山林火災跡の森林整備計画 一植栽工と航空空播の併用 山口県山口市梅ノ木峠山を事例として一	○西川友章, 土出崇仁, 小川夏帆	701

土砂流出・流木

コアタイム：5月13日（水）12:00～13:30（偶数）

5月14日（木）12:00～13:30（奇数）

論文番号	タイトル	著者名	ページ
P-178	木曾川水系中津川における昭和32年災害の再現性検証について	○小室知栄, 宮田直樹, 西尾陽介, 佐藤敏明	703
P-179	片貝川・早月川における土砂・洪水氾濫対策計画の検討	○濱原能成, 林真一郎, 松本直樹, 八木隆夫, 荒井隆志, 濱浦泰成, 小池 護, 山田理沙, 奥山遼佑, 井上雄登	705
P-180	栃木県における土砂・洪水氾濫により大きな被害のおそれのある流域の優先度検討の試み	○松野千華, 飯野修昭, 白井祐太, 松岡暁, 松井 昭, 手塚咲子, 阿部 翼	707
P-181	木曾川上流域における中長期の土砂動態について	○佐藤敏明, 熊澤至朗, 丹羽隆志, 小島慎也, 西條裕道, 宮田直樹, 西尾陽介, 小室知栄	709
P-182	姫川流域における土砂・洪水氾濫対策計画の検討	○菊井稔宏, 林真一郎, 谷保和則, 小口貴雄, 樺本陽介, 石畠正暉, 小林拓也, 宮瀬将之, 西内卓也, 宮城昭博, 高橋和樹	711
P-183	近年発生した土砂・洪水氾濫における降雨と出水時の氾濫状況の分析	○速見 智, 鈴木啓介, 田中健貴, 日名純也, 清水万莉子, 井上雄登, 片岡秀太, 岡寄進也	713
P-184	既存盛土を崩壊させる降雨規模と氾濫範囲の検討	○坂田 剛, 香西武蔵, 原田駿介, 川上誠博, 富安 蓮	715
P-185	LP 測量成果を用いた発生流量量の推定と経年変化	○山田創太, 平澤良輔, 向山正純, 松岡高志, 三野汰晟, 宮崎巴葉, 横尾公博, 児玉龍朋	717
P-186	機械学習を活用した日本列島全域における土砂流出リスクの確率的評価	○秋田寛己, 遊佐 暁, 横山 仁, 佐野浩彬, 川崎正貴, 上田啓瑚, 白田裕一郎	719
P-187	山地河川の合流点における河床変動の時空間特性に着目した水路実験と一次元河床変動計算モデルの適用性の検討	○日名純也, 村上正人, 西尾潤太, 藤井朗汰, 草野恭真, 中西千鳥, 井内拓馬, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙, 里深好文	721
P-188	もみ殻灰を用いた赤土の改良による強度変化に関する実験的検討	○藤本将光, LI YU, 中村晏人, 糸数 哲, 里深好文	723
P-189	立木調査における3次元点群データの活用方法検討	○辻本和紀, 鈴木啓介, 赤澤史顕, 西尾陽介, 宮田直樹, 由永尚暉, 宮本冬馬	725
P-190	橋梁への流木集積による洪水氾濫特性	○澤田悦史, 片岡宏介, 鎌田直樹, 花田良太, 蔭山 星, 飛岡啓之, 竹林洋史, 桑原正人	727
P-191	橋梁地点での河道閉塞に伴う氾濫流と流木の挙動に関する室内実験	○永野博之, 狩野 丞	729
P-192	砂防堰堤設計における対象土砂量算出手法及び結果の整理と考察	○武藤弘典, 山田祐司, 中川昌浩, 大角達夫, ニツ寺隆宏	731
P-193	揖斐川流域における大規模崩壊に伴う天然ダムの形成に関する解析的検討	○西尾潤太, 日名純也, 清水万莉子, 草野恭真, 飯田弘和, 松原智生, 榎野 誠, 川地淳司, 中村英利, 篠田修司, 小栗奨也	733
P-194	土砂・洪水氾濫が発生した流域における流出土砂量の簡易な算出方法および実績との比較	○田中健貴, 鈴木啓介, 速見 智, 日名純也, 清水万莉子, 井上雄登, 片岡秀太, 岡寄進也	735
P-195	一次元河床変動計算における砂防施設が下流への被害軽減に及ぼす影響への考察	○高橋和樹, 菊井稔宏	737
P-196	神通川水系や富山湾における流木の現状などについて	○小野寺智久, 石井 崇, 高橋功司, 真安智大, 宮瀬将之, 高橋健太	739
P-197	林野火災における延焼シミュレーション技術の砂防分野への適用性の検討	○村木昌弘, 清水幹輝, 河戸輝和, 安井裕直, 横田 諭	741

* 表右のページはWEB 公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

P-198	荒川流域における令和4年8月豪雨による大規模土砂生産後の中期土砂移動を対象としたタイムラプスカメラを用いた浮遊砂の観測方法の検討	○鈴木海里, 渡邊 剛, 目黒喜之, 石山 慧, 金野崇史, 池田幸太郎, 奥山遼佑, 石川深緒, 西原加織, 村上正人, 田中寿典	743
P-199	大規模土砂生産イベント後の土砂生産・流出状況の把握(令和元年東日本台風により生じた内川流域での事例より)	○栃山龍平, 鈴木清敬, 佐々木和宏, 鈴木英文, 仙北屋雄太郎, 三浦 努, 澤 隼斗	745
P-200	二次元流域土砂動態シミュレーションの山地流域への適用とLP差分データによる検証	○岩崎大和, 中谷加奈, 山野井一輝, 吳映昕	747
P-201	令和6年能登半島地震・豪雨災害時の流出流木の実態把握	○宮田直樹, 鈴木啓介, 赤澤史顕, 西尾陽介, 児玉龍朋, 大庭稜平, 由永尚暉	749
P-202	流木体積一定条件下における多様な流木形状を有する土石流の衝突荷重に関する研究	○正木宏幸, 島 俊郎, 中谷加奈, 正岡直也	751
P-203	土砂・洪水氾濫の区分、分類を考えていくための近年の土砂・洪水氾濫事例の整理(2)	○赤澤史顕, 鈴木啓介	753
P-204	AIによる光学衛星画像のみを用いた林相区分図の作成	○高橋大地, 秋山怜子, 黒澤裕也, 中谷圭吾	755
P-205	掃流区間における流木の挙動に関する水理模型実験の事例(その2)	○村上正人, 大坪隆三, 古山 剛, 川崎 巧, 高橋佑弥, 小林優太, 戸館 光, 日名純也, 西尾潤太, 山下伸太郎	757
P-206	八丈島における台風22号・23号による風倒木災害の実態と被災範囲の抽出	○阿部 翼, 西陽太郎, 三池 力, 岡田慎矢	759
P-207	阿蘇地域の事業連携による流域流木対策計画の検討事例	○三府範子, 尾崎順一, 大木鉄夫, 竹下一路, 園田明花里	761
P-208	阿武隈川水系内川における土砂移動モニタリングによる大規模土砂生産後の土砂流出実態の経年的変化について	○関根 峻, 小野寺智久, 三浦 努, 内田太郎, 澤村朱美, ANJOS TANAAMI EMILIA, FONTANILLA, HIROMI DAVID, YSMANOV Murzabek	763
P-209	和歌山県那智川支流における倒流木の堆積状況の推移	○森 芽為, Emilia Tanaami, 高原晃宙, 澤村朱美, 内田太郎	765
P-210	枝下高が地表面侵食に与える影響に関する研究	○村田匡優, 藤本将光, Khwaja Mir Tamim HAQDAD, 里深好文	767
P-211	富山県における土砂・洪水氾濫調査の一事例	○山本真央, 篠崎嗣浩, 江頭 勲, 松本直樹, 河上岳史, 岩田和久, 開井宏光, 佐々勇真	769
P-212	小丸川流域における土砂流出状況把握の試み	○西川大亮, 黒木正志, 立元孝幸, 吉田正紀, 樋口 誠, 小嶋竜太郎, 藤井陽子, 野中琢磨, 松下隆史	771
P-213	山地河川の合流点における画像解析を用いた流速計測結果に基づく粗度係数の推定および一次元不定流計算	○草野恭真, 家田康弘, 清水万莉子, 西尾潤太, 日名純也, 井内拓馬, 村井臣成, 近藤圭悟, 山田啄也, 青野友哉, 高原晃宙	773
P-214	立木による流木の捕捉を検討する水路実験	○岡田康彦, 長井 齋, 丸田龍一郎	775
P-215	南アルプスの雪崩跡地における倒木空間分布のリモートセンシングによる定量的把握	○小松崎隼, 福山泰治郎, 堤 大三	777
P-216	熱海市流域における土石流に関する数値解析	○古株俊輔, 里深好文, 藤本将光, 岩浪英二	779
P-217	橋脚のある橋梁が流木により閉塞する条件に関する水路実験	○石川深緒, 奥山遼佑, 西原加織, 中島奈桜, 金野崇史, 井上雄登, 木下篤彦, 土田元気, 橋田雄高, 江口彰友, 松下勇也	781
P-218	令和6年能登半島地震および令和6年奥能登豪雨における発生・流下流量量について	○堀江祐希, 梅田ハルミ, 四十谷朋子, 安田有里, 柏原佳明, 戸谷千鶴	783
P-219	トラブルスポットに到達する流量量の算定に関する一考察	○笹栗裕己, 石井 崇, 高橋功司, 真安智大, 小野寺智久, 宮瀬将之, 高橋健太	785
P-220	粒子パッキングシミュレーションを用いた土石流間隙流体密度の推定	○黒田康太郎, 堤 大三, 福山泰治郎	787
P-221	画像生成AIによる土砂氾濫範囲予測	○木次貫太, 中谷加奈	789
P-222	常願寺川の流域土砂動態シミュレーションにおけるパラメータ最適化に関する研究	○中川裕貴, 山野井一輝	791
P-223	CCTVを活用した夜間降雨時における濁度評価の検証	○五十嵐和秀, 大浦二郎, 松若昭雄, 小林幸博, 森隆彰, 松岡暁, 伊藤隆郭, 藤田正治, 堤 大三, 内田太郎, 宮田秀介	793
P-224	河床から土石流に取り込まれる大小砂礫の上昇速度差の把握	○和田孝志, 渡辺優太, 三輪 浩, 中井智也	795
P-225	天竜川上流域で実施した流砂量観測における工夫 一観測の長期安定化対応一	○吉村暢也, 吉田桂治, 岡本 明, 小澤朋晃, 室井亮人, 遠藤哲雄, 井内拓馬, 家田泰弘, 清野真義, 中西宏彰	797

* 表右のページはWEB公開している概要集のページです。本冊子のページではありません

P-226	侵食速度式を変えた急勾配区間での河床変動計算についての一考察	○高瀬 蔵, 光永健男, 加藤隼平, 前田和祐, 船橋良太, 目 晋一, 篠原雄人, 當仲花夏	799
P-227	多治見砂防国道事務所管内の上山沢シャッター砂防堰堤の効果計測事例	○流川遥平, 池島 剛, 川瀬遼太, 熊澤至朗, 丹羽隆志, 小島慎也, 西條裕道, 炭竈大輔	801
P-228	土石流等の流下・堆積に関する水路実験	○奥山遼佑, 赤澤史顕, 鈴木啓介, 石川深緒, 西原加織, 浦長瀬大世, 西口幸希, 松原智生, 井上雄登, 中島奈桜, 矢作和樹	803
P-229	土砂流中の細粒土砂に対する浮遊砂理論の適用性の検討	○佐藤光平, 内田太郎	805
P-230	流砂水文観測の長期安定化に向けた故障実態の分析と改善事例	○張 成美, 鈴木啓介, 赤澤史顕, 海老原友基, 吉村暢也	807
P-231	流域土砂動態シミュレーションに対する粒子フィルタを用いたデータ同化の導入	○岩井智哉, 山野井一輝, 宮田秀介, 高山翔揮, 中谷加奈	809
P-232	水路実験における AI を用いた土砂濃度推定手法の精度向上に関する検討	○浦長瀬大世, 赤澤史顕, 鈴木啓介, 奥山遼佑, 中西宏彰, 石川深緒, 西原加織, 高橋佑弥, 戸館 光	811
P-233	令和 5 年久留米市田主丸町竹野で発生した土石流の数値計算における再現性の向上	○高橋 広, 水野秀明	813
P-234	底面粗度の違いを考慮した土石流に関する実験および数値シミュレーション	○矢野むつみ, 木次貴太, 中谷加奈, 山野井一輝, 正岡直也, 畠 俊郎	815
P-235	溪床堆積物量が土石流発生降雨条件に及ぼす影響	○大沼恵季, 今泉文寿	817
P-236	河川合流点における本川・支川の支配領域を考慮した一次元河床変動モデルに関する検討	○白石安優夢, 里深好文, 藤本将光, 岡野和行	819
P-237	側岸侵食を考慮した一次元河床変動計算における土砂供給条件の検討 -2016 年北海道十勝地方における土砂・洪水氾濫河川を事例として-	○西田凌吾, 有賀 誠, 野村圭司, 酒谷幸彦, 福津向基, 宮崎知与	821
P-238	砂防堰堤の堆砂の変化を用いた六甲山系の土砂移動状況の検討	○永田葉子	823
P-239	鉄道に対する土石流災害危険度調査の効率的手法の検討	○梶田太陽, 神田一宏, 大村さつき, 吉田拓海, 喜 里美, 小谷健太, 小西 魁, 山根佑太	825
P-240	土石流対策として道路用地内に設置する土のう積層体の一体化による効果向上	○國田章真, 畠 俊郎, 中山遼哉	827
P-241	電極板を用いた非接触型土砂移動計測における精度向上のための補正手法に関する検討	○河合 鈴, 早川 碧, 堤 大三, 福山泰治郎	829
P-242	1 次元解析モデルを用いた堆積土砂濃度が土石流の堆積現象に及ぼす影響に関する数値実験	○小島隆太郎, 内田太郎	831
P-243	微細土砂を用いた循環実験における土石流の堆積発生メカニズムに関する検討	○小林拓琉, 堀田紀文, 酒井佑一	833
P-244	新庄河川事務所管内における流砂観測に基づく土砂動態の分析と観測高度化に向けた取組	○鎌田直樹, 藤山 星, 花田良太, 川俣秀樹, 片岡宏介, 村上 遼, 大出宙斗, 齋藤仁哉	835
P-245	土石流扇状地上での勾配の空間分布と土石流の侵食・堆積特性	○本谷公輝, Dahal Samikshya, 今泉文寿	837
P-246	土石流扇状地における河床堆積物内部の水分動態観測および土石流との関係性について	○田中聖哉, 高山翔揮, 今泉文寿, 堀江優介, 山本幸成	839
P-247	4D-LiDAR による土石流の流速と径深の時系列変化の把握	○鈴江純矢, 金子竜己, 今泉文寿, 長田知也	841
P-248	手取川上流域における透過型砂防堰堤の流出流砂量に及ぼす堆砂形状の影響	○大島温志, 木佐洋志, 松田悟, 松永一慶, 甚田隆光, 杉崎亮太, 中野 光	843
P-249	混合粒形土石流の間隙流体相密度の推定手法	○加藤寿隆, 三好岩生	845
P-250	IRIC を用いた天ヶ瀬ダムの令和 5 年度の堆砂増加予測とその妥当性の検討	○柴 裕之, 里深好文, 藤本将光	847

X. 現地研修会

1 研修会日程

現地研修会実施日 令和8年5月15日（金）

2 研修会コース

(1) 大台・伊勢コース（大規模崩壊の治山対策と伊勢神宮周辺の砂防施設）

8：10 JR 津駅東口→9：40 東又谷治山事業→11：30 昼食会場（奥伊勢フォレストピア）
→13：00 長谷砂防事業↓14：10 五十鈴川砂防施設・伊勢神宮内宮周辺（自由時間）↓
15：40 近鉄五十鈴川駅↓16：40 JR 津駅東口

※東又谷治山事業については、天候状況により屋内施設での説明となることもありますので
ご了承下さい。

【雨天時】

8：10 JR 津駅東口→9：10 長谷砂防事業→10：10 道の駅奥伊勢おおだい（休憩）→
10：50 東又谷治山事業（屋内にて説明）→11：30 昼食会場（奥伊勢フォレストピア）
→13：20 五十鈴川砂防施設・伊勢神宮内宮周辺（自由時間）→14：50 近鉄五十鈴川駅
→15：50 JR 津駅東口

(2) 藤原コース（藤原岳周辺における土石流対策）

8：50 JR 津駅東口→10：10 小滝川砂防事業→10：50 西之貝戸川砂防事業↓11：50
昼食会場（イオンモール東員で各自手配）→13：20 藤原岳の自然について（座学）→
15：00 埋縄谷川砂防事業→16：00 近鉄桑名駅西口↓17：00 JR 津駅東口

(3) 越美コース（越美山系における直轄砂防事業）

8：00 JR 大垣駅南口→8：45 越美山系砂防事務所→10：00 ナンノ谷崩壊地及び砂防
堰堤→10：55 道の駅ふじはし（休憩）→11：30 大蔵谷第1砂防堰堤→12：25 昼食
（谷汲山華厳寺参道）→14：00 根尾谷断層観察館→14：50 宇津志谷砂防堰堤→
15：45 道の駅もとす→17：05 JR 岐阜駅北口→18：00 JR 大垣駅南口

※越美コースはヘルメット不要です。

3 集合時刻・集合場所

	参加者集合		参加者解散	
	時刻	場所	時刻	場所
大台・伊勢コース	8時00分	JR津駅東口 ローソン津駅前店付近	(雨天以外) 15時40分	近鉄五十鈴川駅
			(雨天以外) 16時40分	JR津駅東口
			(雨天) 14時50分	近鉄五十鈴川駅
			(雨天) 15時50分	JR津駅東口
藤原コース	8時40分	JR津駅東口 ローソン津駅前店付近	16時00分	近鉄桑名駅西口
			17時00分	JR津駅東口
越美コース	7時50分	JR大垣駅南口 交番前付近	17時05分	JR岐阜駅北口
			18時00分	JR大垣駅南口

※各コースの出発時間になっても集合されない場合は辞退とみなします。その場合、参加費の返却はいたしません。天候、道路の混雑状況により、到着時刻が予定と異なる可能性があります。帰りの電車の時刻は、余裕をもってください。

集合場所位置図

＜集合場所 1＞（大台・伊勢コース／藤原コース）

JR 津東口（ローソン津駅前店付近）



＜集合場所 2＞（越美コース）

JR 大垣駅南口（交番前付近）



4 研修中の注意事項

現場では、添乗員、現地説明者等の誘導、指示に従って行動してください。

バス乗車時に現地研修会用の名札ケースをお渡しします。名刺等を入れていただき、研修会中、着用していただくようお願いします。

熊が出没する可能性のある現地研修会場がありますので、熊除けの鈴等をご準備ください。

各自で適宜、水分補給等の熱中症対策をお願いします。体調が悪くなったときは、添乗員にお知らせください。

バス乗車時刻の順守等、円滑な行程管理にご協力ください。

5 服装

工事現場などを見学し、徒歩移動もありますので、各自、適切な服装、靴等でご参加ください。各自、雨具をご準備ください。天候により、気温の低下も考えられますので、各自、防寒着の携行をお願いします。

工事現場における参加者用のヘルメットは、各自で準備をお願いします。なお、越美コースはヘルメット不要です。

6 雨天の対応

雨天等により当日中止となった場合、集合場所で連絡します。この場合の参加費の払い戻し等については、後日、学会事務局よりご登録のメールアドレスに連絡します。

7 手荷物

乗車バスは、マイクロバスのため、トランクルームがありません。現地研修会中は、各自、膝の上や足元における程度の手荷物としてください。貴重品の管理は各自でお願いします。

8 CPD

CPD受講証明書は、現地研修会終了時に配布いたします。CPD単位は、(1)大台・伊勢コース 1.66、(2)藤原コース 2.66、(3)越美コース 1.58 です。

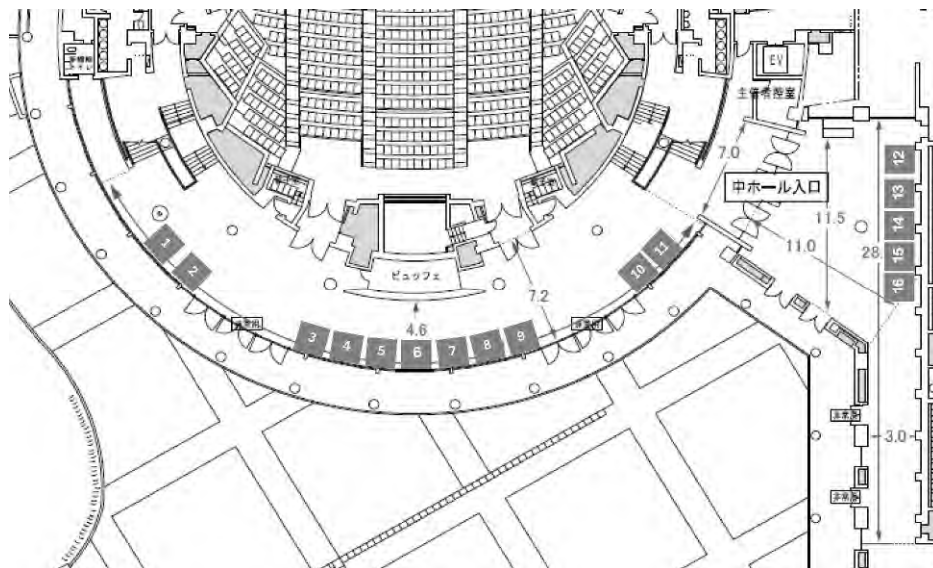
9 保険

国内旅行傷害保険に加入します。

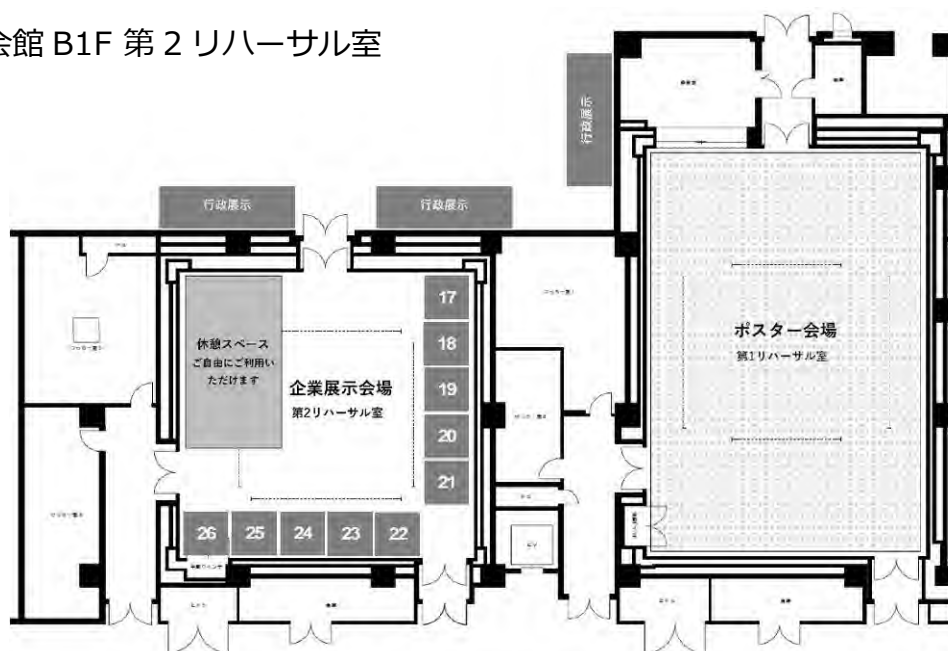
XI. 企業展示会場および出展リスト

展示会場：文化会館 1F 中ホールホワイエ/B1F 第2リハーサル室

文化会館 1F 中ホールホワイエ



文化会館 B1F 第2リハーサル室



- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| ① シバタ工業 株式会社 | ⑬ 株式会社 建設技術研究所 |
| ② 日建工学 株式会社 | ⑭ NV5 Geospatial 株式会社 |
| ③/④ 国土防災技術 株式会社/
サンスイ・ナビコ 株式会社 | ⑮ 株式会社 コア |
| ⑤ 株式会社 エスイー | ⑯ 株式会社 共生 |
| ⑥ レフィクシア 株式会社 | ⑰ 北陽建設 株式会社 |
| ⑦ 中日本航空 株式会社 | ⑱ 共和コンクリート工業 株式会社 |
| ⑧ アジア航測 株式会社 | ⑲ 国際航業 株式会社 |
| ⑨ 株式会社 パスコ | ⑳ 明治コンサルタント 株式会社 |
| ⑩ 日本工営 株式会社 | ㉑/㉒ エアロセンス 株式会社 |
| ⑪ 日本工営 株式会社/
株式会社 日健総本社 | ㉓ 株式会社 ハイドロテック |
| ⑫ 五大開発 株式会社 | ㉔ VIBRES コンソーシアム |
| | ㉕ 柔構造物工法研究会 |
| | ㉖ 大日本ダイヤコンサルタント 株式会社 |

① **シバタ工業株式会社**

展示物・配布物：流木スクリーン模型、モニター、ポスター

問合せ先：建設土木営業部

〒104-0061 東京都中央区銀座三丁目 15-10 JRE 銀座三丁目ビル

TEL 03-6859-1166

② **日建工学株式会社**

展示物・配布物：模型（消しゴム）展示、製品カタログ、モニター

問合せ先：消波根固事業部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-10-1 日土地西新宿ビル 17F

TEL 03-3344-6811

③ ④ **国土防災技術株式会社／サンスイ・ナビコ株式会社**

展示物・配布物：パネル、アンカー模型、資材サンプル、モニター、チラシ・パンフレット、ノベルティ、不織布バッグ

問合せ先：営業本部 法人営業部 企画広報課

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3 丁目 18 番 5 号 青葉ビル

TEL 03-3432-3656

⑤ **株式会社エスイー**

展示物・配布物：ポスター、模型

問合せ先：環境防災部

〒163-1342 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー42F

TEL 03-5321-6515

⑥ **レフィクシア株式会社**

展示物・配布物：LRTK Phone、LRTK Phone チラシ

問合せ先：総務部

〒106-0032 東京都港区六本木 5-17-6 オークヒルアパートメント 403 号室

TEL 03-6456-4323

⑦ **中日本航空株式会社**

展示物・配布物：デモ用 PC 及びモニター、企業パンフレット、商品パネル

問合せ先：調査測量事業本部 コンサルタント統括

〒480-0202 愛知県西春日井郡豊山町豊場若宮 17-1

TEL 0568-28-4861

⑧ アジア航測株式会社

展示物・配布物：PC モニターによる映像等展示、ポスター

問合せ先：国土保全技術部 S A B O課

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-2-2 新百合 21 ビル

TEL 044-967-6230

⑨ 株式会社パスコ

展示物・配布物：ノート PC、モニター、パネル、パンフレット

問合せ先：中央事業部防災技術部

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-7-1 パスコ目黒さくらビル 3F

TEL 03-5435-3616

⑩ 日本工営株式会社

展示物・配布物：PC、モニター、パネル

問合せ先：国土保全事業部砂防部

〒102-8539 東京都千代田区麴町 5-4

TEL 03-3238-8011

⑪ 日本工営株式会社／株式会社日健総本社

展示物・配布物：PC、モニター、パネル、製品サンプル

問合せ先：国土保全事業部砂防部

〒102-8539 東京都千代田区麴町 5-4

TEL 03-3238-8011

⑫ 五大開発株式会社

展示物・配布物：ポスター、PC、チラシ等

問合せ先：企画営業部

〒921-8051 石川県金沢市黒田 1 丁目 35 番地

TEL 076-240-9587

⑬ 株式会社建設技術研究所

展示物・配布物：UAV による計測に関する展示（実機、ポスター・PC 画面表示）

問合せ先：東京本社砂防部

〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町 3-21-1 日本橋浜町 F タワー

TEL 03-3668-1073

⑭ **NV5 Geospatial 株式会社**

展示物・配布物：衛星データ解析用ソフトウェアの紹介、ノート PC、プロジェクタ

問合せ先：大阪オフィス

〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-1-23 コウダイ肥後橋ビル 5F

TEL 06-6441-0019

⑮ **株式会社コア**

展示物・配布物：ノート PC、ディスプレイ

問合せ先：宇宙テックソリューションビジネスセンター

〒215-0034 神奈川県川崎市麻生区南黒川 11-1 コア R&D センター

TEL 044-989-5115

⑯ **株式会社 共生**

展示物・配布物：鋼製砂防ソイルセメント模型・写真等パネル、擁壁構造物パンフレット・リーフレット

問合せ先：技術開発室

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-23-1 THE PORTAL 新宿御苑

TEL 03-3354-2554

⑰ **北陽建設株式会社**

展示物・配布物：ハザード・アイ

問合せ先：地質コンサルタント部

〒398-0003 長野県大町市社 5377

TEL 0261-22-1170

⑱ **共和コンクリート工業株式会社**

展示物・配布物：タペストリー、製品模型、カタログ、チラシ、販促品

問合せ先：東京営業本部

170-0005 東京都豊島区南大塚 3-10-10 いちご南大塚ビル 3 階

TEL 03-6907-3724

⑲ **国際航業株式会社**

展示物・配布物：デモ用 PC 及びモニター、企業パンフレット、商品パネル

問合せ先：事業統括本部 国土保全部 砂防グループ

〒183-0057 東京都府中市晴見町 2-24-1

TEL 042-307-7460

⑳ **明治コンサルタント株式会社**

展示物・配布物：Area net 傾斜計、拡散レーザ変位計、パイプ傾斜計、展示機器パンフレット、計測機器パンフレット、会社案内

問合せ先：西日本技術部 防災設計課

〒570-0083 大阪府守口市京阪本通 1-3-7

TEL 06-7525-4171

㉑ ㉒ **エアロセンス株式会社**

展示物・配布物：VTOL 型ドローンモックアップ、パネル、カタログ

問合せ先：企画・設計部

〒114-0012 東京都北区田端新町 1-1-14 東京フェライトビル

TEL 03-3868-2551

㉓ **株式会社ハイドロテック**

展示物・配布物：ハイドロフォン、濁度計

〒529-1642 滋賀県蒲生郡日野町大字上野田 876

TEL 0748-52-1748

㉔ **VIBRES コンソーシアム**

展示物・配布物：：パネル、測定器、模型、ノート PC、パンフレット

問合せ先：応用地質株式会社 防災・インフラ本部

〒331-8688 埼玉県さいたま市北区土呂町 2-61-5

TEL 070-2499-2680

㉕ **柔構造物工法研究会**

展示物・配布物：パネル、カタログ、説明資料、説明モニター

問合せ先：技術委員会

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10-3 TMS ビル

TEL 03-3355-4837

㉖ **大日本ダイヤコンサルタント株式会社**

展示物・配布物：ポスター、技術資料、PC モニター

問合せ先：関東支社技術部砂防計画室

〒330-6011 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2

TEL 048-600-6698

XII. 協賛企業・団体

研究発表会「三重大会」に冊子広告、バナー広告のご協賛いただきありがとうございます。ご協賛企業・団体は以下の通りです。

- 1 日建工学株式会社（冊子・バナー広告）
- 2 国土防災技術株式会社（冊子・バナー広告）
- 3 サンスイ・ナビコ株式会社（冊子・バナー広告）
- 4 株式会社建設技術研究所（冊子・バナー広告）
- 5 一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構（冊子広告）
- 6 応用地質株式会社（冊子・バナー広告）
- 7 松本技術コンサルタント株式会社（バナー広告）
- 8 株式会社共生（冊子・バナー広告）
- 9 中電技術コンサルタント株式会社（冊子・バナー広告）
- 10 アジア航測株式会社（冊子・バナー広告）
- 11 VIBRES コンソーシアム（冊子・バナー広告）
- 12 Nix JAPAN 株式会社（冊子・バナー広告）
- 13 吉川建設株式会社（冊子広告）
- 14 一般社団法人斜面防災対策技術協会（冊子広告）
- 15 八千代エンジニアリング株式会社（冊子・バナー広告）
- 16 株式会社パスコ（冊子・バナー広告）
- 17 日本工営株式会社（冊子・バナー広告）
- 18 大日本ダイヤコンサルタント株式会社（冊子・バナー広告）
- 19 SB ウォール工法研究会（共和コンクリート工業株式会社）（冊子広告）
- 20 株式会社プロテックエンジニアリング（冊子・バナー広告）
- 21 中日本航空株式会社（冊子・バナー広告）
- 22 株式会社エイト日本技術開発（冊子・バナー広告）
- 23 エアロトヨタ株式会社（冊子・バナー広告）
- 24 構営技術コンサルタント株式会社（冊子・バナー広告）
- 25 JFE 建材株式会社（冊子広告）
- 26 一般社団法人三重県社会基盤整備協会（バナー広告）
- 27 協和設計株式会社（冊子・バナー広告）
- 28 ヒロセ補強土株式会社（バナー広告）
- 29 国際航業株式会社（冊子・バナー広告）
- 30 明治コンサルタント株式会社（冊子・バナー広告）
- 31 パシフィックコンサルタンツ株式会社（冊子・バナー広告）
- 32 一般財団法人砂防・地すべり技術センター（冊子・バナー広告）
- 33 シバタ工業株式会社（冊子・バナー広告）

（受付順に掲載しています）

XIII. 企業広告（プログラム抄録 協賛企業）

日建工学株式会社	1
国土防災技術株式会社	2
サンスイ・ナビコ株式会社	3
株式会社建設技術研究所	4
一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構	5
応用地質株式会社	6
株式会社共生	7
中電技術コンサルタント株式会社	8
アジア航測株式会社	9
VIBRES コンソーシアム	10
Nix JAPAN 株式会社	11
吉川建設株式会社	12
一般社団法人斜面防災対策技術協会	13
八千代エンジニアリング株式会社	14
株式会社パスコ	15
日本工営株式会社	16
大日本ダイヤコンサルタント株式会社	17
SB ウォール工法研究会（共和コンクリート工業株式会社）	18
株式会社プロテックエンジニアリング	19
中日本航空株式会社	20
株式会社エイト日本技術開発	21
エアロトヨタ株式会社	22
構営技術コンサルタント株式会社	23
JFE 建材株式会社	24
協和設計株式会社	25
国際航業株式会社	26
明治コンサルタント株式会社	27
パシフィックコンサルタンツ株式会社	28
一般財団法人砂防・地すべり技術センター	29
シバタ工業株式会社	30

無人化施工対応

3連ブロック



ブロックのかみ合わせが良く屈撓性に富むため、地盤の洗掘や沈下に対して追従します。
 使用場所・用途：ブロック堰堤・導流堤、護床工、床固工、流路工、災害・防災用備蓄材

NETIS 番号：KK-190031-A

無人化施工対応

レクタガード



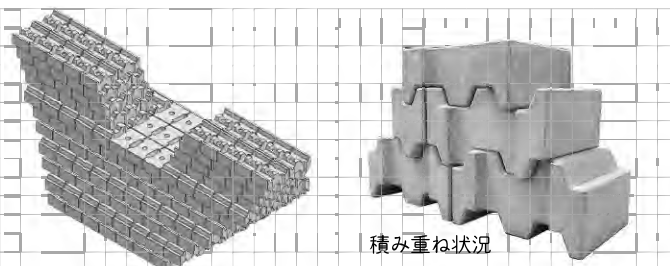
ブロック上下の大小4つの突起が上下左右にかみ合い一体化する形状で、多用途に使用できる平型層積みブロックです。

使用場所・用途：ブロック堰堤・導流堤、護床工、床固工、護岸工、土留工、流路工、災害・防災用備蓄材

NETIS 番号：QS-240012-A

無人化施工対応

サザンロック



積み重ね状況

鋼材連結無しでも上下左右の凹凸でかみ合わせ配列が可能で、より強固にブロック全体を一体化し、粘り強い構造の堰堤が構築可能な砂防堰堤用平型層積みブロックです。

使用場所・用途：ブロック堰堤・導流堤、護床工、床固工、護岸工、土留工、流路工、災害・防災用備蓄材



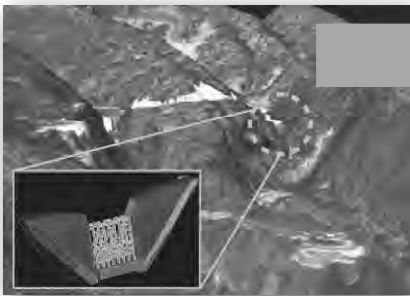
防砂ブロック

流れ方向に長く脚部がそれぞれ上下左右にかみ合う形状で、砂防堰堤の設置地盤の変位に対応する屈撓性や、透水性に優れた構造が可能で堤体の安定性を高めます。

使用場所・用途：ブロック堰堤・導流堤、護床工、床固工、護岸工、土留工、流路工



土と水と緑に関する優れた技術を追求し、
住みよい国土の建設と国民の福祉に貢献します。

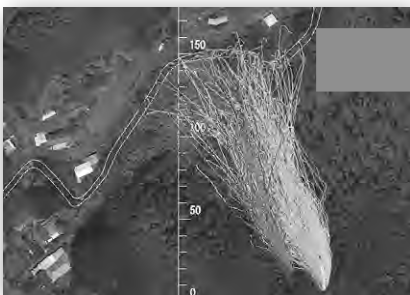


コンサルティング事業

斜面防災 / 治山・林道 / 河川・砂防・海岸
地盤環境 / 環境・緑化

インフラ整備・メンテナンス

地すべり防止工事 / 斜面・のり面工事 / インフラメンテナンス



研究開発

InSAR / BIM・CIM
シミュレーション技術 / 空間情報技術



国土防災技術株式会社

■本社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18番5号 TEL: 03-3436-3673 (代表) / FAX: 03-3432-3787

■支社: 東北 / 関東 / 関西 / 九州

■支店: 青森 / 盛岡 / 仙台 / 秋田 / 山形 / 福島 / 宇都宮 / 水戸 / 前橋 / 千葉 / 東京 / 新潟 / 山形 / 長野 / 静岡 / 福井 / 名古屋 / 大阪 / 神戸 / 四国 / 松山 / 高知 / 熊本 / 福岡 / 佐賀 / 大分

■営業所: 神奈川 / 南信 / 石川 / 岐阜 / 京都 / 奈良 / 和歌山 / 鳥取 / 広島 / 高松 / 宮崎

■事業所: 高田 / 浜松 / 但馬



会社 HP

URL: <https://www.jce.co.jp/>

E-mail: sinki@jce.co.jp

優れた維持管理性能と長期定着特性!

フィクサ
Fixrグラウンドアンカー

建設技術審査証明(砂防技術)技審証第1801号 | 特許:第6037253号 | NETIS登録No:OK-170003-A

Fixrグラウンドアンカー工法は、高耐食・高耐力な機能を搭載した画期的な工法です。

01 **トータルコスト**

SUS材、ECF鋼線など耐食性材料のみを使用
補修サイクル**50年程度**
50年間のトータルコスト比**0.86**

02 **引抜き抵抗**

スパイラル筋で補強しているため、付着強度大!

03 **荷重調整機能**

インナーネジを採用することで、**過緊張時の除荷も容易!**

04 **点検**

キャップレス仕様で定着具の目視点検が容易!

ダムでの施工例



サンスイ・ナビコ 株式会社

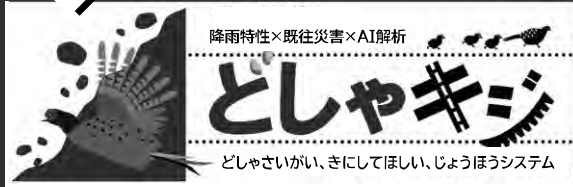
【本社】〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-7-1 2F
【TEL】(03) 5623-3600 (代)
【FAX】(03) 5623-5554
【URL】 <https://www.sansui-n.com>



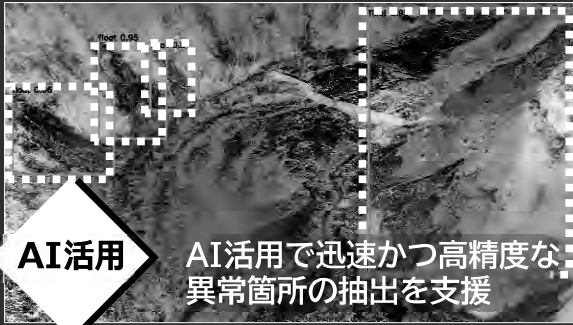
会社HP

土砂災害
避難支援

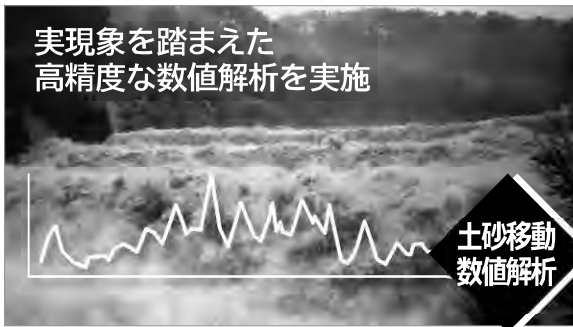
様々な場所の
土砂災害の切迫性を可視化



すべり面、地下水面の3次元化による
効果的な対策工の設置・設計



砂防の現場から 未来につづく 安全・安心を



CTI 株式会社 建設技術研究所

本社／東京本社砂防部／地すべり室◆〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町 3-21-1(日本橋浜町 Fタワー) TEL. 03-3668-0451
大阪本社砂防部◆〒541-0045 大阪市中央区道修町 1-6-7(JMF ビル北浜 01) TEL. 06-6206-5555

砂防フロンティア

時代に対応した砂防フロントの整備にまい進します



国土強靱化に向けて地域の安全度向上と活性化を目指します

大規模土砂災害に係る危機管理体制構築の支援

深層崩壊渓流レベル評価マップ情報やシミュレーション技術等を活用して具体的な大規模土砂災害を検討し、**危機管理計画**や関係機関合同で実施する**防災訓練**等の大規模土砂災害に関する危機管理体制をより強化するための方策を提案します。また、**地区防災計画**に関連する技術的支援を行います。



防災訓練

土砂災害危機管理

砂防指定地・砂防関係施設の保全整備と管理の支援

砂防関係施設の**点検手法**(UAV含む)、健全度の**評価手法**、対策の**優先度と対策工法**、管理型砂防えん堤・管理用道路・現行不適合砂防施設の**管理方策**について取り組んでいます。また、**砂防DX**や**歴史的砂防施設**、**歴史的土砂災害調査**にも取り組んでいます。



施設維持管理

砂防歴史調査

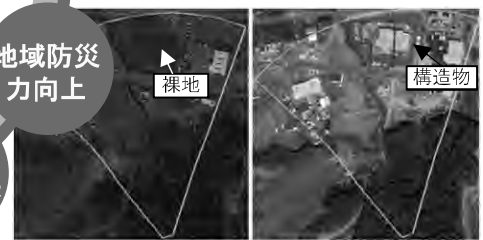
砂防指定地等とその周辺の保全整備と管理を提案します

基礎調査結果管理

区域設定支援

ハザードマップ表示

地域防災力向上



土砂災害警戒区域等の設定作業に関連する基盤図の精度管理を行うとともに、土石流、急傾斜地の崩壊、地すべりの現象毎の**区域等設定支援システム**の提供、作成したデータの**管理システム**への登録等の支援を行っています。

土砂災害警戒区域等設定の支援

砂防指定地の管理や、土砂災害防止法に基づく基礎調査において**土地利用状況の変化**を効率的に把握するための手法として、異なる時期の**衛星画像**の比較にAIを活用し、**一定規模で土地改変された区域**を広域にわたり精度よく抽出する技術開発を進めています。

衛星画像とAIを活用した土地改変区域の抽出



一般財団法人

砂防フロンティア整備推進機構

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館6F

TEL(代):03-5216-5871 FAX:03-3262-2201 HP:http://www.sff.or.jp/



OYO

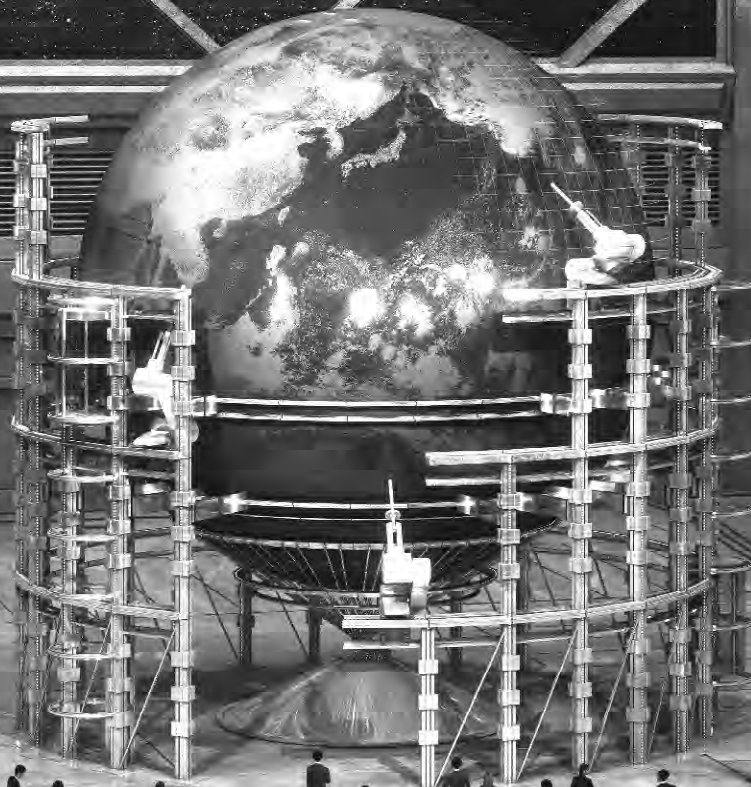
応用地質

人と地球の未来にベストアンサーを。

穏やかな海、木々の間にそよぐ風、そして人と人の暮らしを支える大地...。
人々に恵みをもたらす自然は傷つきやすく、それでいて時に災いを招きます。

私たちはもっと、地球のことを知らなければなりません。

応用地質は、地球科学に関わる深い知見と豊富な技術、
さらにはデジタル技術のイノベーションを通じて、自然の本質に迫ります。
安全で安心な社会を築くソリューションを、導くために。



応用地質株式会社

TEL: 03-5577-4501 (代表) <https://www.oyo.co.jp/>



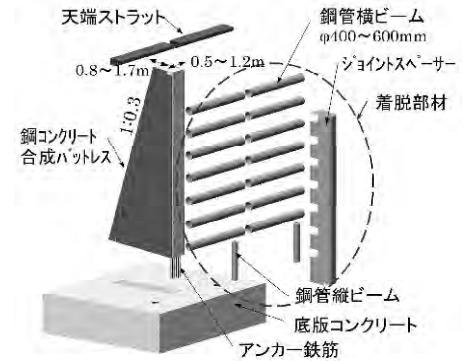
ハイブリッド構造による砂防堰堤の強靱化

① HBBO⁺型(横ビーム式バットレス型)



特長

- ハイブリッド構造による合理性
- 合成構造によるバットレスの強靱性
- 単純支承による横ビームの強靱性
- 単純構造による迅速な施工性とコスト縮減
- 着脱式横ビームによる除石の容易性
- 豊富な施工実績による確実な機能性



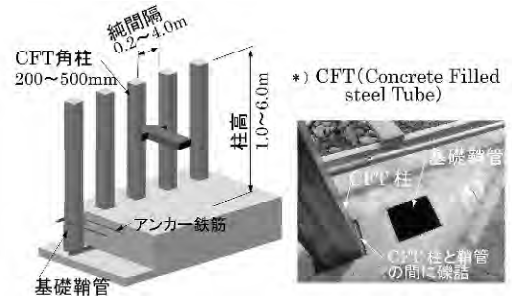
審査証明更新(令和4年10月)
新編鋼製砂防構造物設計便覧対応

② VCCO 型(縦ビーム式逆T型)



特長

- CFT 柱の曲げに対する強靱性
- 底板への縦ビーム挿入ですむ工期短縮
- 流通性資材の無加工によるコスト縮減
- 着脱式 CFT 柱による除木等の容易性
- 着脱式 CFT 柱の転用・保管の容易性

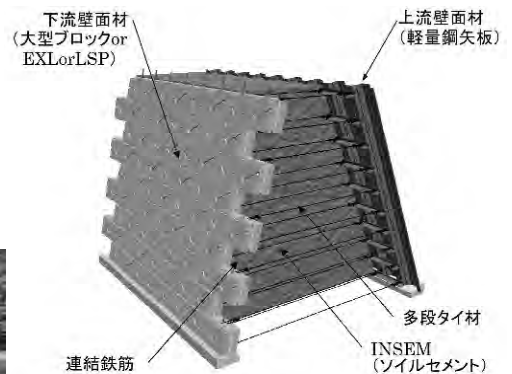


③ INSEM-DW(ソイルセメント DW)



特長

- 多段タイ材による堤体の一体化・強靱化
- 低強度 INSEM でも十分な堤体強度
- 下流壁面大型積ブロックの確実な耐久性
- DW 構造ゆへの壁面際の十分な締固め
- 現地発生土のほぼ 100%有効活用
- セメント量極少化による CO₂ 削減



KYOSEI

株式会社 共生

<https://www.kyosei-kk.co.jp>

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-23-1 TEL:03-3354-2554

FAX:03-3354-2659



土石流数値シミュレーション



砂防堰堤の3D設計
(斜め写真と3次元モデルを合成)

[河川砂防部]

砂防に関する調査・計画・設計・維持管理

- 調査 ・災害調査、砂防基礎調査 等
- 計画 ・土石流および土砂・洪水氾濫対策計画、土砂災害警戒情報の発表基準検討 等
- 設計 ・砂防施設設計、急傾斜地対策施設設計、BIM/CIM活用 等
- 維持管理 ・UAVを用いた砂防施設調査・点検、長寿命化計画 等



ドローン等による溪流点検

人が中心、技術を追求、信頼を大切にする 「地域づくり実践企業」

河川・砂防分野をはじめ、関連する技術部門と連携し、調査・解析から計画・設計、維持管理までを担う技術者が活躍しています。

[ICTソリューション部]

防災情報システムの構築・運用・保守

■ 土砂防災システム

- ・GISを活用したわかりやすい防災情報の提供
⇒土砂災害危険度情報システムは全国シェアNo.1
- ・3DマップやARを活用した土砂災害警戒区域等の表示 等



3DGISで災害リスクを効果的に可視化



ARを活用した土砂災害警戒区域等の可視化



GISを活用したわかりやすい防災情報の提供

創立60周年 — 広島を、技術力で支えたい

私たち中電技術コンサルタントは 中国電力グループの一員として
地域社会の安全・安心・快適な暮らしの実現に取り組んでいます

土木・建築・電気・機械・環境・情報
多彩な専門力を結集し
総合建設コンサルタントならではの技術と経験で未来をつむぐ
—それが私たちの使命です

2027年春 広島駅北口へ本社移転
新たなステージから広島のみちづくりを
さらに力強く支えます



2027年春
新社屋完成イメージ図



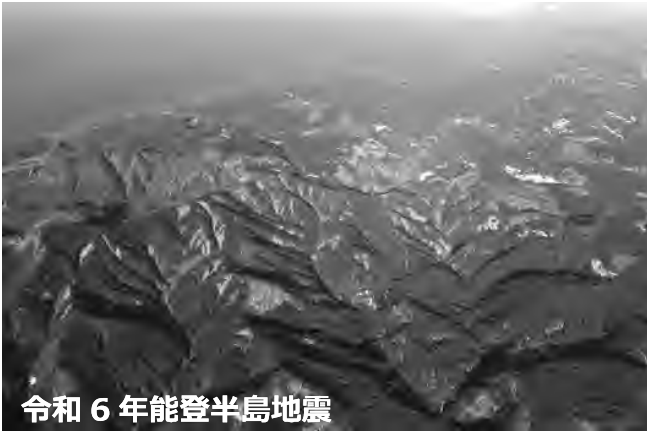
CCC 中電技術コンサルタント株式会社
Chuden Engineering Consultants

本社： 広島県広島市南区出汐二丁目3番30号



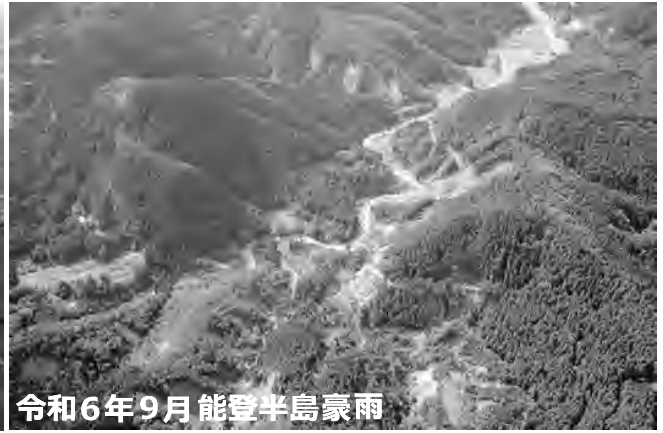
VISION2033

空間情報技術で社会をつなぎ
地球の未来を創造する



令和6年能登半島地震

撮影：アジア航測（株）・朝日航洋（株）



令和6年9月能登半島豪雨

撮影：アジア航測（株）・朝日航洋（株）



撮影：アジア航測（株）・朝日航洋（株）



撮影：アジア航測（株）・朝日航洋（株）



アジア航測株式会社

〒215-0004

神奈川県川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合トウエンティワン

TEL : 044-969-7230 E-Mail : service@ajiko.co.jp

URL : <https://www.ajiko.co.jp/>

Facebook : <https://www.facebook.com/AsiaAirSurvey>



空間情報コンサルタント

ISO9001 認定取得

ISO14001 認定取得

「エコ・ファースト制度」認定企業

NETIS登録番号 (CB-230025-A)



VIBRES[®] (ビブリス) システム

グラウンドアンカーの残存緊張力の振動方式測定システム

VIBRES[®] システムの特長・従来技術との比較

安全作業


載荷することなく測定できるので、
安全性を確保できます

コンパクト設計

持ち運びが容易な測定ユニットで、
施工性に優れます

低コスト

大掛かりな機材を必要としないため、
作業時間を短縮できます

	VIBRES [®] (ノンリフト試験)	従来技術 (リフトオフ試験)
測定効率	○ 従来技術の最大2倍程度 (最大50%程度のコスト縮減)	△ 油圧ジャッキが大型で、施工性が悪い(コスト高)
信頼性	○ リフトオフ試験との較差(最大±15%)	○ 信頼性が高い
	○ 過緊張アンカーも安全に測定可能	△ 過緊張アンカー測定困難 (0.9Tys(kN)以上)
適応範囲	△ ・適応範囲が限定的 ・テンドン自由長が明確であること	○ ・全規格のアンカーに適応可能 ・テンドン自由長が不明でも測定可能
作業性	○ 軽量の機材で、簡便に調査可能 	△ 重い機材、足場仮設の設置が必要 

VIBRESコンソーシアム

一般社団法人全国地質調査業協会連合会の新マーケット創出・提案型事業において、グラウンドアンカー残存緊張力の振動方式測定システムである「VIBRES[®]」の高い技術に注目が集まり、これを新規事業テーマとすることが決まりました。これを受けて設立されたのが「VIBRESコンソーシアム」です。現在コア企業会員14社(幹事会社2社含む)、オブザーバ企業5社の19社で、同技術の実証と普及を図り、社会の防災・減災に資することを目的に活動しています。

■ 会員企業 (50音順) (※参加企業を募集しています。詳しくはホームページをご参照ください。)

【コア企業会員(*幹事会社)】

応用地質株式会社* 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社*
アルスコンサルタンツ株式会社 東邦地水株式会社
株式会社エイト日本技術開発 株式会社日さく
川崎地質株式会社 株式会社日本海技術コンサルタンツ
基礎地盤コンサルタンツ株式会社 復建調査設計株式会社
島建コンサルタント株式会社 明治コンサルタント株式会社
大日本ダイヤコンサルタント株式会社 八洲開発株式会社

【オブザーバ企業会員】

株式会社アイコ
株式会社エスイー
技建開発株式会社
大日コンサルタント株式会社
有限会社丸重屋

VIBRESコンソーシアム

事務局(応用地質株式会社内)
〒331-8688 埼玉県さいたま市北区土呂町2-61-5
Tel 048-652-0651 Fax 048-652-4017
E-mail vibres_unei@oyonet.oyo.co.jp
(詳しくはホームページをご参照ください。)
<https://sites.google.com/view/vibres-consortium/>

vibres-consortium

YouTube



技術力 X 共感力で
DAYS

社会をデザインする。

インフラコンサルタントという貢献のカタチにとどまらず、
新しい暮らしやすさへ、斬新な視点を。
さらなる安全・安心へ、常識を超えていく。
実現のためには、一人一人の「X」が不可欠。

柔軟な発想と意欲的な行動で未来の社会をデザイン。
テクノロジーのイノベーションで新しい価値を生み出す。

その姿が「New infrastructure X」

「X」でまちを創造する。

「X」で社会を革新させる。

私たちの使命と実現力は、時代を超えていく。

SOCIAL DESIGN INNOVATOR

nix
NiX JAPAN GROUP

NiX JAPAN 株式会社

代表取締役社長 市森 友明

東京本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目5番12号
富山本社 〒930-0857 富山県富山市奥田新町1番23号

【国内】インフラ技術サービス事業/DXサービス事業/エネルギー事業
【海外】エネルギー事業/EV事業/投資事業



建設でミライを創る

リニア中央新幹線長野県駅（仮称）が誕生するまち、
飯田を本社に弊社は110余年の歴史を歩んでまいりました。
深い山々と急流が刻む南信州の大地は、豊かな自然の恵みとともに、
土砂災害の脅威と向き合い続けてきた土地でもあります。
長年にわたり積み重ねられてきた研究と技術の革新は、
そうした地域の安全を支える学術的な礎です。
弊社はこの地に根ざした企業として、険しい現場に挑み続け、
地域社会の安全・安心な未来へと、これからも邁進してまいります。

～越百川第3砂防堰堤～
長野県木曾郡大桑村須原地先
堤頂長149.0m 堤高26.5m
鋼管部高21.0m

天竜川水系兔洞沢砂防堰堤工事
飯田市南信濃本谷地先



会社HP

YOSHIKAWAKENSETSU

吉川建設株式会社

〒395-0086 長野県飯田市東和町二丁目35番地 丘の上結いスクエア4階
支店：飯田/名古屋/松本/長野/東京 TEL：0265-22-3400

これからも、まちの未来とともに

斜面災害から美しい国土と暮らしを守るために



一般社団法人

斜面防災対策技術協会

JASDiM Japan Association for Slope Disaster Management

協会の事業

- ① 斜面防災対策技術の進歩改善に関する調査及び研究
- ② 斜面防災対策業の発展と普及啓蒙のため、会誌「斜面防災技術」、技術図書その他印刷物の刊行
- ③ 斜面防災対策技術に関する研修会、講演会及び技術フォーラム等の開催
- ④ 国土交通大臣登録地すべり防止工事試験の実施、登録（地すべり防止工事士）及び証明に関する事業
- ⑤ 砂防学会その他本会の目的に適合する団体、国際会議への協力及び参加
- ⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

技術者資格登録（国土交通省）

地すべり防止工事士は平成27年1月及び28年2月に国土交通省の「公共事業に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格」に登録されています。

地すべり防止技術士の資格を対象とする業務区分は以下のとおりです。

施設分野	業務	知識・技術を求める者
地すべり防止施設	点検・診断	管理技術者
急傾斜地崩壊防止施設	点検・診断	管理技術者
地質・土質	調査	管理技術者又は主任技術者
地すべり対策	計画・調査・設計	管理技術者・照査技術者
急傾斜地崩壊等対策	計画・調査・設計	管理技術者・照査技術者

斜面防災工事に携わる技能者のための新たな資格を創設

斜面協会は、斜面防災に関する技術の普及と発展という理念に基づき、斜面防災関係事業に携わる技術者及び技能者のキャリアアップに取り組んでいます。昨年は、地すべり防止工事士資格に加え、技能者を対象に斜面防災主任技能者資格を創設しました。また、国土交通省が定めた斜面防災工事に携わる技能者（斜面防災技能者）の技能能力評価基準に基づき評価を実施しています。さらに、斜面防災技能者の能力評価レベルの最上位に位置付けられる登録斜面防災基幹技能者を認定する講習も実施しています。詳細は、協会ホームページでご確認下さい。

安心をつくる。



日本は国土の約7割を山が占めています。
加えて大雨や台風なども多く、土砂災害が起こりやすい地域です。
私たちは、皆様の命や財産を守る「砂防」に力を入れています。



インドネシア シナブン火山の噴火調査

砂防サービス内容

砂防調査・計画・設計 <ul style="list-style-type: none">・災害調査・計画・設計・土石流・流木対策計画・設計・土砂・洪水氾濫対策計画・砂防事業効果検討・深層崩壊対策計画・海外の砂防計画	火山砂防 <ul style="list-style-type: none">・火山砂防緊急減災対策・火山砂防施設計画・設計・火山噴火警戒避難対策計画・噴出物物性・堆積状況調査・インドネシアの火山砂防計画	警戒避難 <ul style="list-style-type: none">・土砂災害警戒情報発表基準の検証・見直し・土砂災害ハザードマップ作成・土砂災害防止法基礎調査・土砂災害危険箇所の新規抽出	各種解析 <ul style="list-style-type: none">・三次元流体解析・平衡・非平衡河床変動計算・流域土砂生産・流出計算・二次元氾濫シミュレーション・堤体のFEM解析・溶岩流解析
コスト縮減・施工 <ul style="list-style-type: none">・砂防ソイルセメントを用いた砂防設備の計画・設計・無人化施工計画・検討・地盤改良の計画・設計	維持管理 <ul style="list-style-type: none">・砂防施設点検・健全度評価・長寿命化計画・除石管理計画・修繕・改築計画と設計・流木捕捉機能の向上・改良型弾性波探査	DXに向けた取り組み <ul style="list-style-type: none">・3次元データの取得・利活用・BIM/CIM活用・AI技術（深層学習）の活用（施設劣化抽出、崩壊危険度判定等）・UAVによる調査（施設点検、流域調査）	品質・環境・情報に配慮 <p>JIS Q 9001:2025 認証番号MSA-QS-13（国内事業所にて取得）</p> <p>JIS Q 14001:2025 認証番号MSA-ES-28（国内事業所にて取得）</p>

yec 八千代エンジニアリング株式会社

八千代エンジニアリング  www.yachiyo-eng.co.jp

〒111-8648 東京都台東区浅草橋5-20-8 CSタワー TEL: 03-5822-2900 FAX: 03-5822-2785

取締役会長：出水 重光 代表取締役社長執行役員：高橋 努

支店：北日本／北陸／名古屋／大阪／広島／九州

センター：関東／横浜

営業所：北海道

事務所：北東北統括／青森／秋田／山形／福島／茨城／千葉／山梨／長野／石川／静岡／静岡東部／東三河／岐阜／三重／富山／福井／滋賀／兵庫／奈良／和歌山／四国統括／徳島／愛媛／高知／鳥取／島根／岡山／山口／大分／長崎／熊本／鹿児島／宮崎／佐賀／沖縄

海外事業所：ジャカルタ／ミャンマー／コルカタ／ナイジェリア／サンパウロ／ベトナム／ネパール／フィリピン

災害緊急撮影事例集『語りかける国土』WEBブックはこちら
<https://www.pasco.co.jp/ebook/kokudo/>



PASCO
Surveying the Earth to Create the Future



(左上) 航空機(固定翼)による写真撮影 鹿児島県霧島市で発生した斜面崩壊
(撮影日:2025.8.14 撮影:株式会社パスコ/国際航業株式会社)
(左下) 航空機(固定翼)による写真撮影 石川県輪島市で発生した大規模斜面崩壊
(撮影日:2024.9.24 撮影:株式会社パスコ/国際航業株式会社)

(右上) 高分解能光学衛星「Pléiades Neo」観測 東京都八丈町で発生した土石流
(撮影日:2025.10.17)
(右下) 高分解能光学衛星「Pléiades」観測 大船渡市
(観測日:2025.2.27)



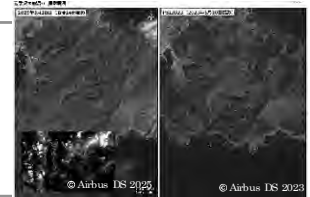
航空機(固定翼)による写真撮影
福岡県朝倉市杷木寒水で発生した氾濫

✓ 土砂・洪水氾濫調査、計画

豪雨等における土砂・洪水氾濫の発生等、土砂移動による諸問題に対し、測量およびGISをコアとしたシステム技術を用いてその実態を適格に把握。対策計画や流砂系全体の土砂管理をサポートします。

✓ 災害緊急撮影・計測

大規模災害発生時に迅速な被害状況の把握を目的とした航空機や人工衛星による緊急撮影や空中・地上からの各種計測を実施。被害情報を収集・解析し提供します。



中分解能衛星SPOTによる
山林火災の状況把握



砂防堰堤の3次元モデルを構築し、
3次元管内図や施設管理に活用

✓ 3次元空間情報の活用・DXの推進

航空レーザー計測結果などの複数の3次元空間情報をGISシステムにより一元管理。衛星コンステレーションやVR・MR技術等の活用により、事務所と工事現場の生産性向上、地域住民との明瞭な合意形成を促進します。

✓ 砂防施設等の状況把握 (UAV)

容易に立ち入りできない砂防堰堤の施設や堆砂域の状況をUAVによって把握し、緊急時の状況調査や緊急除石計画、平常時の施設点検など効率的な維持管理をサポートします。



砂防流域でのUAVを用いた砂防堰堤や
流域状況の点検調査

株式会社パスコ

<https://www.pasco.co.jp/>

〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-7-1 パスコ目黒さくらビル

正社員募集中!!

宇宙
から

光学・SAR衛星を活用した災害監視

毎日日本を撮影している衛星を活用し、大規模氾濫した区域の浸水状況の把握や地すべり・崩壊等の発生状況監視を行うことができます。

●衛星画像による浸水域把握

■浸水範囲

光学衛星



©2020 スカパー JSAT/Planet Labs Inc.

■浸水範囲

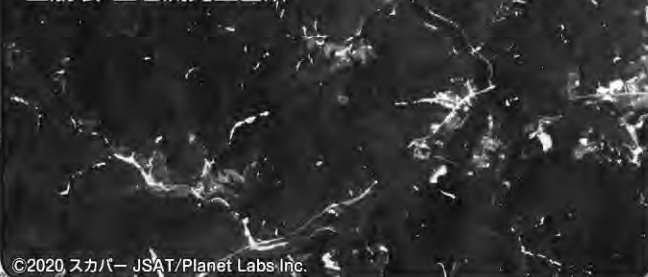
合成開口レーダ衛星



© Copernicus data 2019

●衛星画像による崩壊・土石流発生個所の把握

■崩壊・土石流発生箇所



©2020 スカパー JSAT/Planet Labs Inc.



宇宙から地表から

水災害・土砂災害に挑む

全国に展開する技術者の確かな目

地表
から

ID&E
A member of Tokio Marine Group

NIPPON KOEI

日本工営株式会社

<https://www.n-koei.co.jp/>



Japan.
Committed
to SDGs

土砂災害から人々の暮らしを守る



桑名建設事務所管内
砂出川遊砂地工

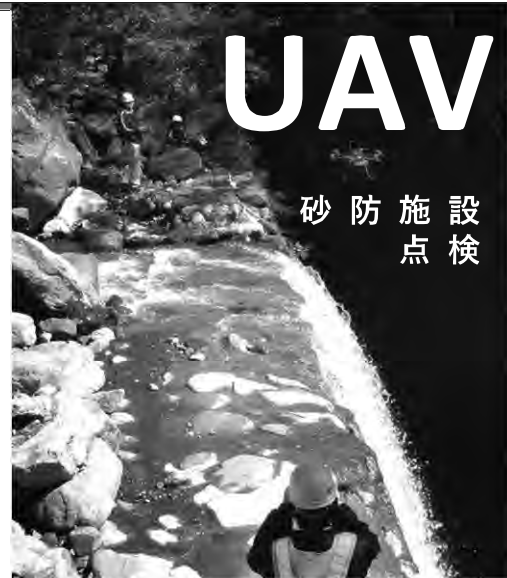


大日本ダイヤコンサルタント株式会社
Dia Nippon Engineering Consultants Co., Ltd.



UAV

砂防施設点検



空中電磁探査



現況



完成



BIM CIM

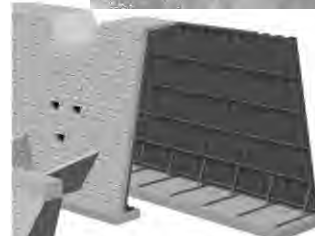
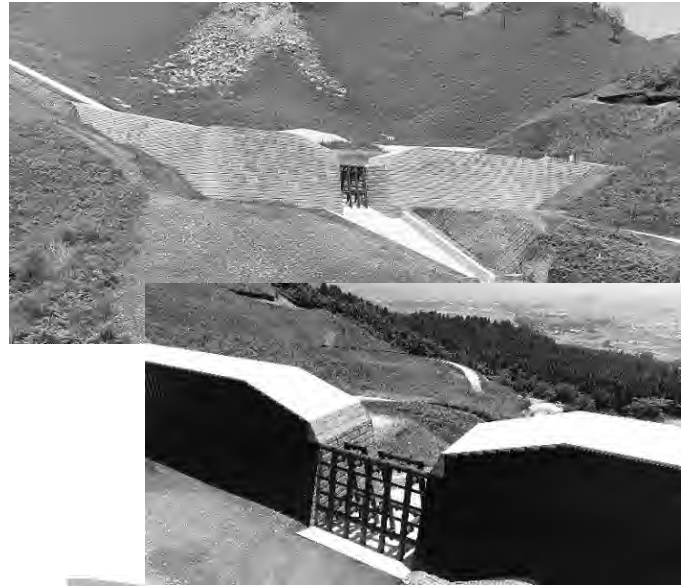
砂防施設設計

SBウォール工法

建設技術審査証明 砂防技術 / 0503 号

INSEM-SBウォール工法 NETIS登録番号:CG-050010-A

LUC-SBウォール工法 NETIS登録番号:CB-020051-A



【概要】

SBウォール(Steel wall or Concrete Block wall)工法は、砂防ソイルセメント工法により構築した堤体内部材を上下流の外部保護材(上流壁面材は軽量鋼矢板、下流壁面材はコンクリートブロック)で保護することにより土石流対策堰堤、砂防堰堤等に要求される耐摩耗性、耐衝撃性、耐久性及び景観性を向上させコスト縮減および現地発生土砂の有効活用による建設環境の向上を図り設計施工の合理化を図れる工法である。

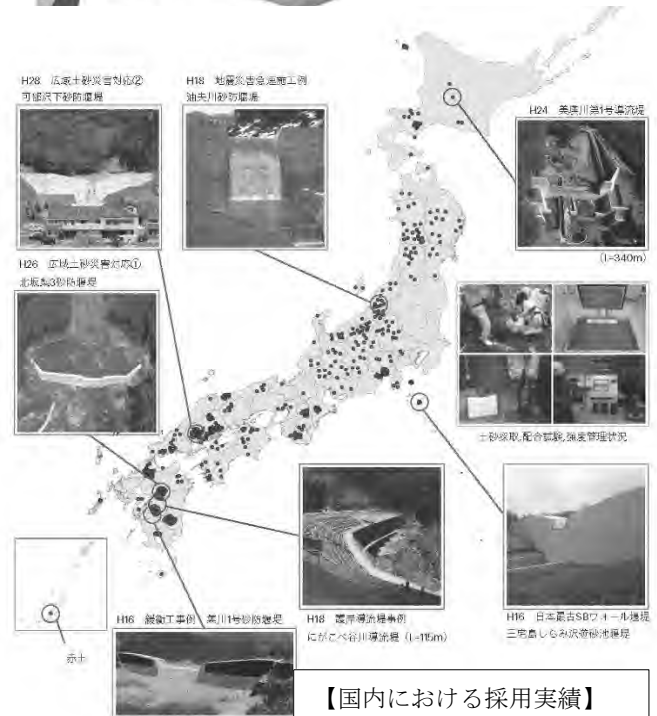
【現地土砂の有効活用】

現在注目されている砂防ソイルセメント工法は施工性が高く、コンクリート堰堤に比べ工期の短縮、コストの削減が図られる他、CO₂の削減や建設残土の撤廃など、環境にも優しい工法として注目されている。

【施工性の向上・工期の短縮】

内部材は、連続施工が可能で収縮目地が不要なほか、特殊な建設機械の導入を必要とせず施工が容易である。また、上下流の外部保護材は、内部材施工時の型枠を兼用すること、外部保護材の構築が内側から作業する構造であることから、足場を必要とせず省人化施工が可能となる。

特に、これらの外部保護材は砂防ソイルセメント工法の施工性を考慮した形状を有し、自立性を確保するとともに、アンカー材により内部材との一体化を図る構造であるため、外部保護材の設置、内部材の敷き均し、締め固めなど、一連の作業の連続性を損なう事なく、大幅な工期の短縮が図れる。



【国内における採用実績】
610基(令和7年8月現在)

SBウォール工法研究会

※SBウォール工法研究会の運営体制が変わりました。

SBウォール工法に関するお問い合わせはホームページおよび下記の2社にお願い致します。

URL : <http://www.sbwall.org/>

【資料請求先】

日鉄建材(株)

〒101-0021 東京都千代田区外神田 4丁目 14-1 秋葉原 UDX13F TEL. 03-6625-6630

共和コンクリート工業(株)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3丁目 10-10 いちご南大塚 3F TEL. 03-6907-3766

無流水溪流で発生する 土石流・流木対策に最適！



NETIS 登録番号 KT-210079-A

建設技術審査証明 第1901号

無流水溪流向け杭式
土石流・流木対策工

アーバンガード®



POINT 1

経済性に優れた 杭基礎構造

支柱基礎が杭基礎構造であるため、川床の地盤改変や掘削が最小限で、初期設置費用も縮減でき、短い工期と低コストを実現します。

POINT 2

維持管理と景観に 優れた対策工

シンプルかつ軽量な部材で構成されているため、除石、除木、部材の取り換えが容易に行なえます。また、透過性に優れており、周囲の景観に調和します。

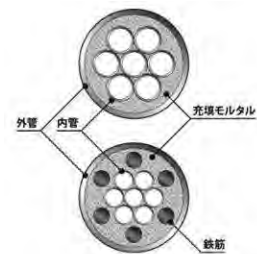
冗長性と高強度を実現した鋼製砂防構造物

中空鋼管と充填鋼管の長所を 兼ね備えた「LST支柱」

独自開発した外部鋼管の内部に小口径鋼管を束ねて配置し、隙間にモルタルを充填することで、剛性と靱性を向上させた支柱部材「LST支柱」を使用しています。優れた冗長性「ねばりの機能」があることを実物実験により確認しています。この「LST支柱」を構造部材、ワイヤロープを機能部材として使用している構造です。



支柱静的荷重実験



支柱断面図

アーバンガードは、一般財団法人 砂防・地すべり技術センターにて「建設技術審査証明」を取得しています。

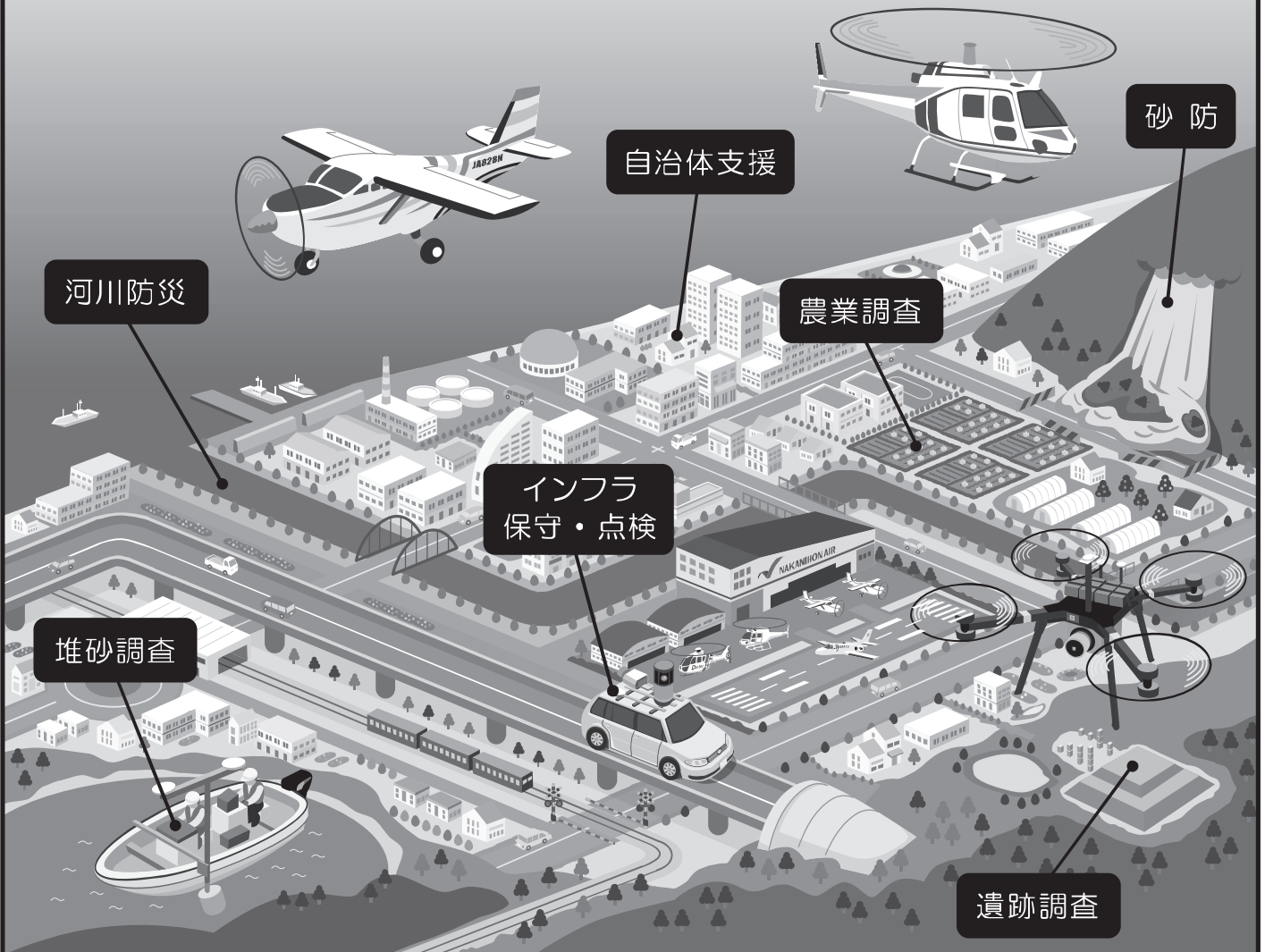




NAKANIHON AIR

「空」「水」「陸」から、 国土の安心・安全を守ります。

最先端の調査・測量技術を駆使して、環境・防災・
社会インフラ管理に必要な情報を提供しています。



NAKANIHON AIR

中日本航空株式会社



飛行機・ヘリコプターの総合航空会社として、ニーズに最適なサービスをご提供いたします
中日本航空は、チャーター飛行、物資輸送、航空撮影等の航空事業をはじめ、最先端機器による
空中写真測量や環境調査、地図作成、レーザ計測等に取り組んでいます

調査測量事業本部

〒480-0202 愛知県西春日井郡豊山町大字豊場字若宮17-1 Tel:0568-28-4851 Fax:0568-28-2193

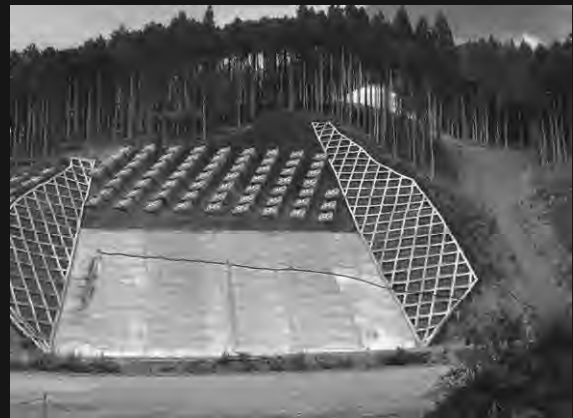
営業部

〒480-0202 愛知県西春日井郡豊山町大字豊場字殿釜2番地 Tel:0568-28-4852 Fax:0568-28-3577

東京支社

〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目7番5号 近鉄京橋スクエアビル7階 Tel:03-3567-6188 Fax:03-3567-6299

価値ある環境を未来に



 **EJEC** 株式会社
エイト日本技術開発

本店：〒700-8617 岡山市北区津島京町3-1-21 TEL. 086-252-8917 / FAX. 086-252-7509

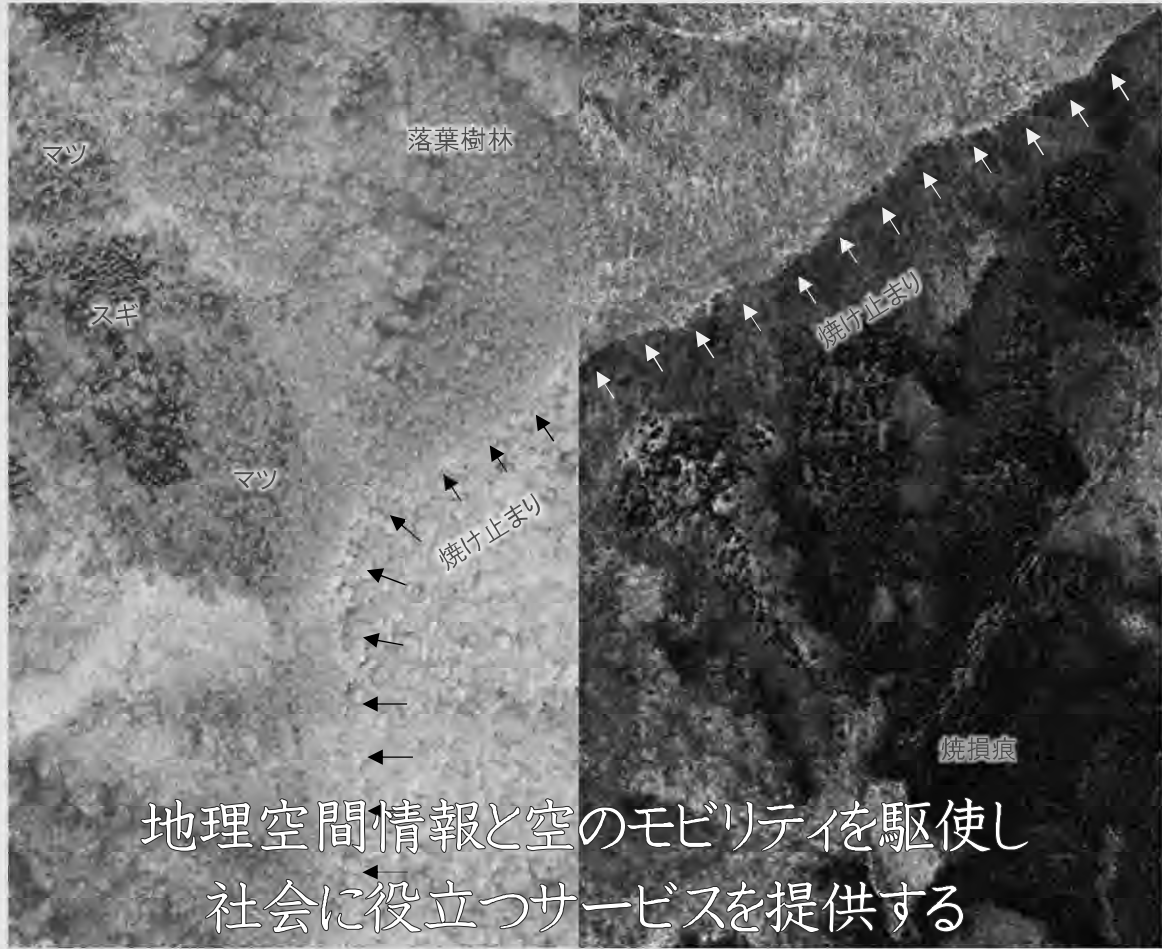
本社：〒164-8601 東京都中野区中野2-24-11 TEL. 03-5341-5152 / FAX. 03-5385-8500

<https://www.ejec.ej-hds.co.jp/>



可視画像 (RGB)

LP反射強度



地理空間情報と空のモビリティを駆使し
社会に役立つサービスを提供する

左：可視画像（垂直オルソ）では落葉樹林下の焼損状況を確認することはほぼできない
右：LP反射強度では焼損範囲や地表火レベルの焼け止まりを明瞭に捉えることができる

LP反射強度による焼損範囲の特定技術については特許出願中 出願番号:特願2025-084842



2025年7月1日より、朝日航洋株式会社は『エアロトヨタ株式会社』へ社名変更しました

災害調査支援

計測・撮影 斜め撮影、垂直撮影、航空レーザ測量（LP・ALB）、UAV
調査等支援 林野火災調査、崩壊状況・土砂移動状況の把握、堆積流木量の把握

調査・計画・設計

土砂・洪水氾濫ポテンシャル調査、施設点検（UAV含む）
土石流ポテンシャル解析（地形判読）・優先度評価
施設配置計画・設計、除石計画

DXに向けた取り組み

3次元点群を活用した砂防堰堤・林道設計
氾濫シミュレーション
空中写真（アナログ）活用による3D地形再現

空間情報事業本部 国土インフラ事業部 国土レジリエンス部
〒350-1165 埼玉県川越市南台3-14-4
TEL 049-244-4141 FAX 049-244-4154 HP <https://www.aerotoyota.co.jp/>



災害から命を守る

南海トラフ巨大地震やゲリラ豪雨などによる土砂災害、洪水災害等から地域住民の命、暮らしを守るために、私たちは、防災対策のエキスパートを目指します。



代表取締役会長 橋口 孝好
代表取締役社長 水野 隆之

〒780-0945 高知県高知市本宮町105-23

TEL (088) 850-0550

HP <http://www.koueiicon.co.jp/>

土砂・流木災害を止める。

#1 土石流捕捉工

鋼製透過型砂防堰堤
J-スリット

- リダンダンナーの高い立体フレーム構造
- 河川環境に優しい構造

#2 流木捕捉工

既設堰堤張出タイプ
J-HDスリット

- 既設不透過型砂防堰堤に流木捕捉機能を付加
- 優れた流木捕捉機能

JFE建材は、積み重ねた技術と防災への情熱で、皆様を、安全安心で包み込みます。



JFE 建材 株式会社

挑み続けるケンサイで、
安心と笑顔のあふれる未来を。

〒108-0075 東京都港区港南1丁目2番70号
品川シーズンテラス11階

防災商品営業部 TEL：03-5715-7640 FAX：03-5715-1035

<http://www.jfe-kenzai.co.jp/>





Dynamic Active Smart
新たな砂防を目指して



建設コンサルタント
協和設計株式会社

〒567-0877 大阪府茨木市丑寅 2-1-34
TEL: 072-627-9351
URL: <https://www.kyowask.co.jp>



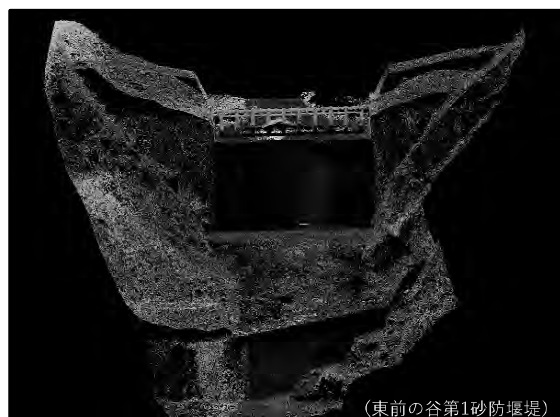
情報をつなげる力で、 人・社会・地球の未来をデザインする

～超高密度点群による維持管理・緊急調査の効率化・高度化（越美山系揖斐川流域）～

大型UAV機体による
広域の点群取得調査を実現

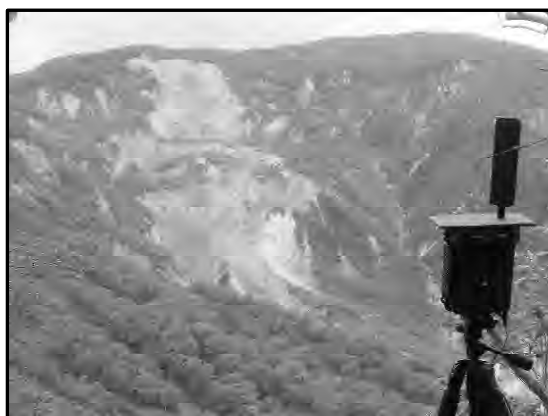


超高密度点群により、
植生下の施設および地形を把握



～インターバルカメラによる斜面変動のモニタリング（姫川水系浦川流域）～

インターバルカメラで画像を取得



画像解析により斜面変動の状況を把握



国際航業株式会社

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー
TEL:03-6362-5931 <https://www.kkc.co.jp/>

未来を守り、 未来へ繋ぐ。

明治コンサルタント砂防・治山グループでは、安全で安心な社会の実現を目指し、砂防事業と治山事業に取り組んでいます。

砂防事業では、土石流などの土砂災害を防ぐための砂防堰堤、治山事業では健全な森林育成や荒廃地の安定化を図る治山ダムに関する調査、計画、設計などを行っています。また、近年は施設の老朽化にも対応し、その長寿命化を図るための維持管理(点検、補修設計)も手がけています。



災害対応

災害発生後はいち早く現場に駆けつけます。早期の現状把握が重要なためです。



調査

森林から砂防調査までフィールドワークは全ての基本です。



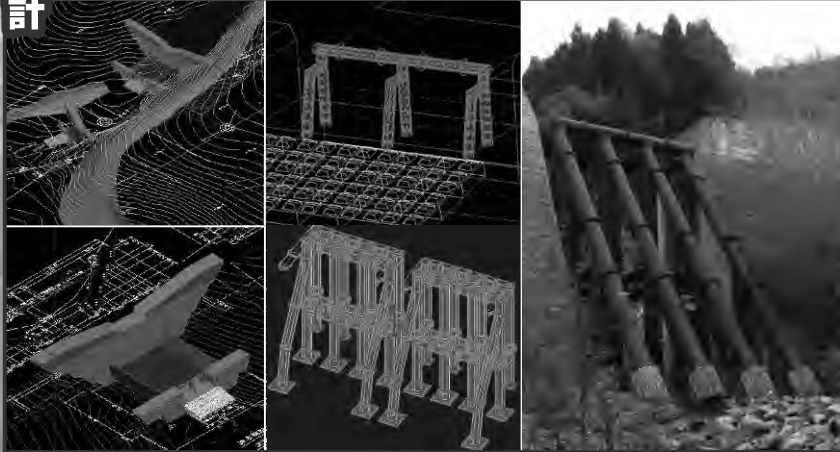
計画・解析

治山・砂防計画検討では、シミュレーションや大学と共同で水理模型実験を行うこともあります。



設計

調査・計画検討の結果を反映した施設の設計(砂防堰堤工・流木捕捉工・治山ダム)を行います。近年の設計は3D対応が必須となっています。



森林整備

林地を調査し、荒廃した森林の安定化を図ります。



維持管理

老朽化した施設を点検し、補修により長寿命化を図ります。



社会貢献

東日本大震災で被災、流出した防潮保安林にクロマツを植栽し、海岸林の再生を手伝いました。



Pacific
Consultants

Producing
The Future™

土砂災害リスク軽減への挑戦

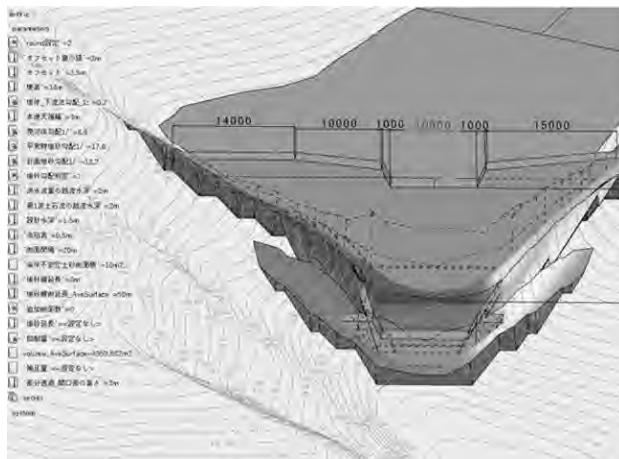
Innovative Developments:
Reducing Sediment Disaster Risks



写真:パシフィックコンサルタンツ株式会社 撮影

～土砂災害リスク軽減に向けた取り組み～

パラメトリックモデルを
活用した3次元設計プログラム



水理模型実験を
つかった技術開発

土砂災害危険情報サービス
「どしゃブル®」



パシフィックコンサルタンツ株式会社

国土基盤事業本部 流域計画部 / 流域構造部
〒101-8462 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地
TEL : 03-6777-1560

www.pacific.co.jp



STC 講演会

日時：R8.7.1 13:15~17:00
場所：砂防会館別館 1 F

募集中



第1部：複合災害

松本 浩司 前NHK解説委員（北海道大学広域複合災害研究センター客員教授）
山田 孝 北海道大学名誉教授・（一財）砂防・地すべり技術センター研究顧問
三池 力 日本工営（株）国土基盤整備事業本部砂防部 部長

第2部：大規模災害の影響

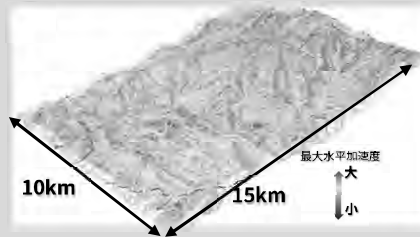
井上 寛康 兵庫県立大学教授
高荷 智也 備え・防災アドバイザー/BCP・危機管理アドバイザー

第3部：STCからの報告

後藤 智和 砂防技術総合研究所 技術開発部 鋼製構造物研究室 研究員
吉田 真也 砂防技術総合研究所 砂防システム研究室長

地震による地すべり発生リスクの評価

地震によって発生する地すべりに対し地震応答解析（数値計算）を行い、地震時において不安定化する斜面のリスク評価を実施。



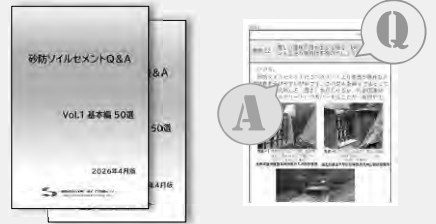
『FEMによる斜面の変位量解析』

【新刊】砂防ソイルセメントQ&A

発売中



基本編／活用・発展編で全100問。調査・計画から管理まで平易に解説。



- 各編定価（本体4,000円+税）
- 申込先は上記QRから

オープンカンパニー

日時：R8.9.28-9.29（2日間）
場所：砂防会館本館 5 F

募集中



一般財団法人としての業務内容や職場の雰囲気やグループワークなどを通して体験。

主なプログラム(予定)

- ・オリエンテーション
- ・オフィスツアー
- ・若手職員との座談会
- ・グループワーク
（砂防施設配置計画の立案）



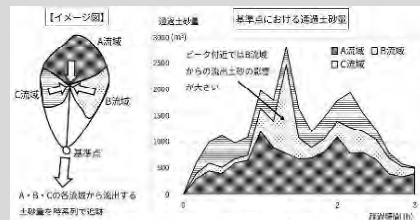
グループワーク

※交通費は、STCで負担します。



土砂・洪水氾濫計算開発の最近の取り組み

流域のどの支川からの土砂流出が多いのか、トレーサーのように追跡し、見える化する計算プログラムを開発中。見える化が進むと、より効率的な計画検討が可能。



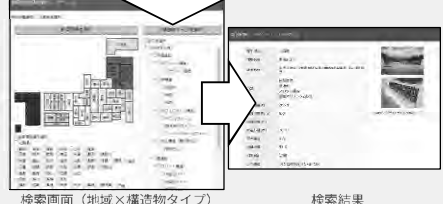
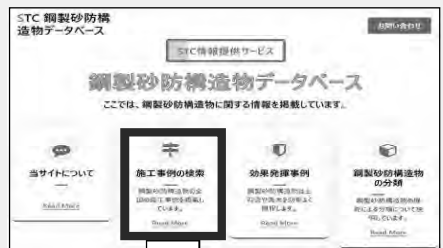
鋼製砂防構造物の取り組み

鋼製砂防構造物データベース

公開中



鋼製砂防構造物の施工事例や、土砂・流木の捕捉事例、各種構造物の概要を掲載。



検索画面（地域×構造物タイプ）

検索結果

土砂災害を防ぐために、土砂動態の探究と砂防構造物の進化にチャレンジしています



水通し部を確保して流木を捕捉

向山堰堤の流木捕捉状況
〔和歌山県有田川町沼谷川〕

張出しタイプ流木捕捉工設計の手引き[改定版]

発売中



土石流区間(直線配置)から掃流区間(凸型配置)まで網羅。



泊浦川堰堤流木捕捉工
（高知県大月町泊浦川）

【採用例】

岩手県大船渡市で発生した林野火災

2024年2月に岩手県大船渡市で発生した林野火災による災害関連緊急砂防事業でも採用



- 定価（本体6,364円+税）
- 申込先は上記QRから



一般財団法人
砂防・地すべり技術センター
<https://www.stc.or.jp>



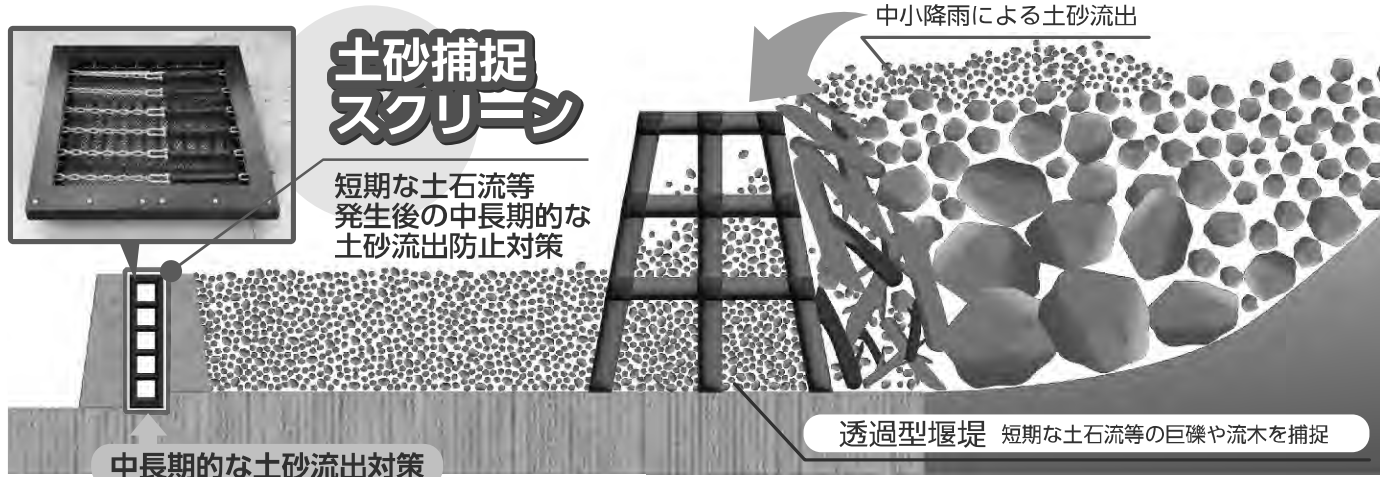
STCの研究・業務に関する中長期の計画



細粒土砂の流出による災害を防止 土砂捕捉スクリーン

簡易に設置が可能な新しい砂防施設

「土砂捕捉スクリーン」は中長期的な細粒土砂の流出による災害を防止すること、かつ簡易に設置が可能な新しい砂防施設として株式会社建設技術研究所とシバタ工業株式会社が共同で開発しました。特に、山地部に近い新興住宅地や山間地で流末水路が十分でない集落等において、豪雨災害後の土砂による氾濫被害を防止・軽減いたします。



中長期的な土砂流出対策

透過型堰堤 短期な土石流等の巨礫や流木を捕捉

フレキシブル構造

同構造の非越流部構造であれば、他の施設でも使用可能です。

取り外し可能

土砂捕捉スクリーンは取り外し、撤去可能なため、常時は設置せず保管（備蓄）し、必要に応じて設置することが可能です。

シャッター構造【部分開放可能】

スクリーン部は、人力で開放できる構造。ネットは取り外し可能。またネット下部を取り外し、上部に手繰り寄せることで、部分的な開放が可能です。

安心維持管理

土砂捕捉スクリーンや部材は撤去が可能なため、除石が容易、また損傷した部材のみ交換が可能のため維持管理しやすい構造です。

工場組立短期施工

土砂捕捉スクリーンは工場を組み立て出荷し、非越流部コンクリートの側壁掘り込み部に上部から挿入するだけの簡単、短期施工です。



流木スクリーン



土砂捕捉スクリーン

（一財）砂防・地すべり技術センター共同開発

渓流保全工に連続配置できる流木捕捉工

流木スクリーン

流木スクリーンは、掃流区間に適用できる流木捕捉工です。縦断方向に長い断面構造は、流木捕捉時の外力に対して、転倒に安定した構造で、捕捉面積が広く、かつ捕捉面が傾斜構造となっているため、流水と流木を分離しやすく、効率的に流木を捕捉します。



流木捕捉・連続配置について

流路工に設置する場合、1基で計画流木捕捉量を満足しない場合は、流下方向に連続設置することで計画流木捕捉量を満足することが可能です。

この場合、最下流の流木スクリーンは突起を設けますが、上流側の流木スクリーンには突起を設けない構造とすることで、分散して流木を捕捉します。

$$\text{計画捕捉流木量} = \text{水面面積} \times \text{流木の平均直径}$$



参考文献：新編・鋼製砂防構造物設計便覧、令和3年版、参考資料 P.47～P.49

